



令和3年度

決算に係る主要な施策の成果に関する報告書

館山市

## 目 次

令和3年度決算の概要	1 頁
一般会計決算状況の推移	4 頁
一般会計歳入の構成	5 頁
一般会計歳入歳出 款別決算の状況	7 頁
一般会計歳入 市税決算の状況	9 頁
一般会計歳出 性質別決算の状況	10 頁
特別会計決算状況	12 頁
経常収支比率及び健全化判断比率等の状況	13 頁
市債残高及び基金残高の状況	14 頁
各部門の事業概要（一般会計）	16 頁
各部門の事業概要（特別会計）	108 頁
定額運用基金の運用状況調書	114 頁
目的税（入湯税・都市計画税）の用途に関する説明書	115 頁
森林環境譲与税の用途に関する説明書	117 頁
消費税率引上げ分に係る地方消費税交付金の用途に関する説明書	118 頁
各部門の事業概要（下水道事業会計）	119 頁

# 令和3年度決算の概要

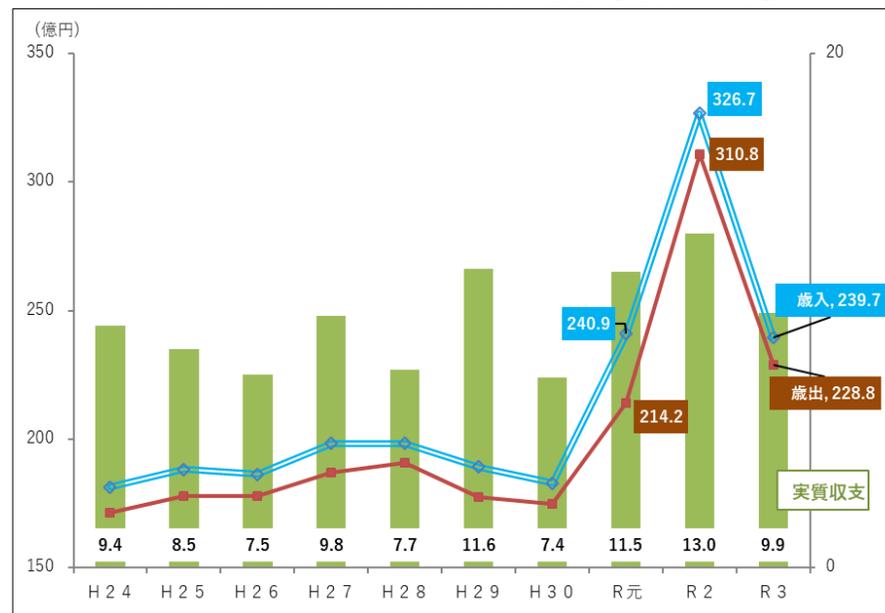
## 1 一般会計の状況

### (1) 決算規模及び収支の状況〔第1表〕

令和3年度における一般会計の決算規模は、歳入総額 239 億 7,287 万円（前年度比 86 億 9,904 万 7 千円、26.6%の減）、歳出総額 228 億 7,883 万 5 千円（前年度比 82 億 78 万 1 千円、26.4%の減）となり、歳入歳出差引額は 10 億 9,403 万 5 千円で、翌年度への繰越財源 1 億 503 万 3 千円を差し引いた実質収支は 9 億 8,900 万 2 千円（前年度比 3 億 1,105 万 1 千円、23.9%の減）となりました。

昨年度は、令和元年房総半島台風等からの復旧・復興費用と新型コロナウイルス感染症対策費用（特別定額給付金など）で 90 億円を超える支出があったことから、決算規模は前年度比で大きく減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策が継続していることなどから、200 億円を超える決算となりました。

一般会計歳入歳出決算額及び実質収支の推移【過去10年】



### (2) 令和元年房総半島台風等にかかる決算状況（令和3年度末時点）

令和元年房総半島台風等による災害に伴う令和3年度の決算額は、右記のとおり 10 億 7,082 万 6 千円（前年度比 21 億 1,248 万 3 千円、66.4%の減）となりました。

決算額の主な内容は、被災住家支援費 5,509 万 9 千円（3 款民生費）、農業用施設再建補助費 7 億 5,818 万 3 千円（6 款農林水産業費）などとなっています。

年度	決算額	財源内訳 (単位:千円)			
		国県支出金	市債	その他	一般財源
令和元年度	1,235,661	768,003	123,600	112,895	231,163
令和2年度	3,183,309	1,728,689	1,125,500	50,611	278,509
<b>令和3年度</b>	<b>1,070,826</b>	<b>640,343</b>	<b>226,000</b>	<b>5,285</b>	<b>199,198</b>
合計	5,489,796	3,137,035	1,475,100	168,791	708,870

(3) 新型コロナウイルス感染症対応にかかる決算状況

新型コロナウイルス感染症対応に伴う令和3年度の決算額は、右記のとおり24億8,926万9千円（前年度比35億3,813万8千円、58.7%の減）となりました。

年 度	決算額	財源内訳 <small>(単位：千円)</small>			
		国県支出金	繰入金	その他	一般財源
令和2年度	6,027,407	5,565,103	140,500	296,800	25,004
<b>令和3年度</b>	<b>2,489,269</b>	<b>1,984,154</b>	<b>154,487</b>	<b>302,148</b>	<b>48,480</b>
合 計	8,516,676	7,549,257	294,987	598,948	73,484

決算額の主な内容は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金費5億8,799万3千円（3款民生費）や子育て世帯（ひとり親世帯分を含む）への臨時特別給付金費5億7,617万6千円（3款民生費）、新型コロナウイルスワクチン接種事業3億9,103万1千円（4款衛生費）、中小企業等への支援2億5,456万円（7款商工費）、プレミアム商品券事業費6,300万6千円（7款商工費）、キャッシュレスポイント還元事業費1,987万5千円（7款商工費）などとなっています。

(4) 歳入内訳〔第2表 第3表 第4表 図-1〕

歳入決算額の主な内容は、市税57億9,922万3千円（構成比24.2%、前年度比4,139万7千円、0.7%の減）、地方交付税48億7,824万円（構成比20.3%、前年度比5億5,230万1千円、12.8%の増）、国庫支出金44億442万2千円（構成比18.4%、前年度比40億6,176万3千円、48.0%の減）、県支出金18億3492万3千円（構成比7.7%、前年度比11億9,921万2千円、39.5%の減）等となっています。

前年度比では、地方交付税、諸収入、地方消費税交付金で増額となっています。主な要因として、地方交付税では、特例分として追加交付があったことなどによるものであり、諸収入では、新学校給食センターの通年稼働による学校給食費の増や、道路新設改良工事受託事業収入による増などによるものです。また、国庫支出金が大幅に減額となっていますが、前年度は、特別定額給付金の支給があったことによるものです。

なお、基幹収入である市税（現年課税分）のうち、市民税では、新型コロナウイルス感染症対策給付金などの影響により3,543万3千円の増、固定資産税では、評価替えの実施により、家屋の課税標準額が減少となったことや、特例措置による事業用家屋及び償却資産の減税などにより8,574万1千円の減となりました。

## (5) 歳出内訳〔第3表 第5表 図-Ⅱ〕

歳出決算額の主な内容として、目的別では、民生費 85 億 2,985 万円（構成比 37.3%、前年度比 42 億 2,864 万 1 千円、33.1%の減）、衛生費 29 億 4,315 万 1 千円（構成比 12.9%、前年度比 5 億 3,321 万 5 千円、15.3%の減）、総務費 25 億 1,475 万 6 千円（構成比 11.0%、前年度比 2 億 898 万 6 千円、9.1%の増）等となっています。

前年度比では、総務費、商工費で増額となっています。主な要因として、総務費では、地方交付税の追加交付に伴い実施した減債基金への積立による増、商工費では、事業継続支援給付金やプレミアム商品券、観光関連事業者等への支援など、新型コロナウイルス感染症対策事業の実施により増額となりました。一方、民生費では大幅な減となっていますが、前年度は特別定額給付金の支給などがあったことなどによるものです。

性質別では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が 103 億 9,381 万 1 千円（構成比 45.4%、前年度比 11 億 163 万 7 千円、11.9%の増）となりました。主な要因として、扶助費では、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や子育て世帯（ひとり親世帯分を含む）への臨時特別給付金などがあり、障害介護給付費や医療扶助費においても増額となっています。

一方、補助費等（構成比 15.2%、前年度比 41 億 5,741 万 1 千円、54.5%の減）の減は昨年度実施した特別定額給付金によるものであり、投資的経費（構成比 12.4%、前年度比 22 億 5,182 万 2 千円、44.3%の減）の減は、新学校給食センターの施設整備事業や被災住家及び農業者支援費などの減によるものです。

## 2 その他

- 特別会計の状況〔第6表〕
- 経常収支比率及び健全化判断比率等の状況〔図-Ⅲ 第7表〕
- 市債残高及び基金残高の状況〔図-Ⅳ 図-V〕

第1表 一般会計決算状況の推移

(単位：千円)

年 度	歳 入	歳 出	差 引 額	翌年度への繰越財源	実 質 収 支	単年度収支
平成14年度	17,546,821	17,127,238	419,583	26,973	392,610	△ 47,147
平成15年度	15,576,522	15,064,766	511,756	28,734	483,022	90,412
平成16年度	16,694,208	16,269,809	424,399	53,215	371,184	△ 111,838
平成17年度	15,444,530	15,002,237	442,293	86,256	356,037	△ 15,147
平成18年度	14,798,787	14,375,887	422,900	55,171	367,729	11,692
平成19年度	15,513,073	14,855,889	657,184	87,909	569,275	201,546
平成20年度	16,122,444	15,416,042	706,402	164,926	541,476	△ 27,799
平成21年度	17,843,557	17,169,219	674,338	153,406	520,932	△ 20,544
平成22年度	18,105,675	17,138,285	967,390	86,181	881,209	360,277
平成23年度	17,594,596	16,568,544	1,026,052	73,065	952,987	71,778
平成24年度	18,140,145	17,125,737	1,014,408	73,679	940,729	△ 12,258
平成25年度	18,828,557	17,788,308	1,040,249	186,399	853,850	△ 86,879
平成26年度	18,641,077	17,775,324	865,753	112,914	752,839	△ 101,011
平成27年度	19,834,185	18,712,222	1,121,963	140,350	981,613	228,774
平成28年度	19,834,136	19,056,677	777,459	2,807	774,652	△ 206,961
平成29年度	18,922,564	17,747,046	1,175,518	13,855	1,161,663	387,011
平成30年度	18,275,799	17,478,376	797,423	57,330	740,093	△ 421,570
令和元年度	24,085,660	21,418,571	2,667,089	1,512,991	1,154,098	414,005
令和2年度	32,671,916	31,079,616	1,592,300	292,248	1,300,052	145,954
令和3年度	23,972,870	22,878,835	1,094,035	105,033	989,002	△ 311,050

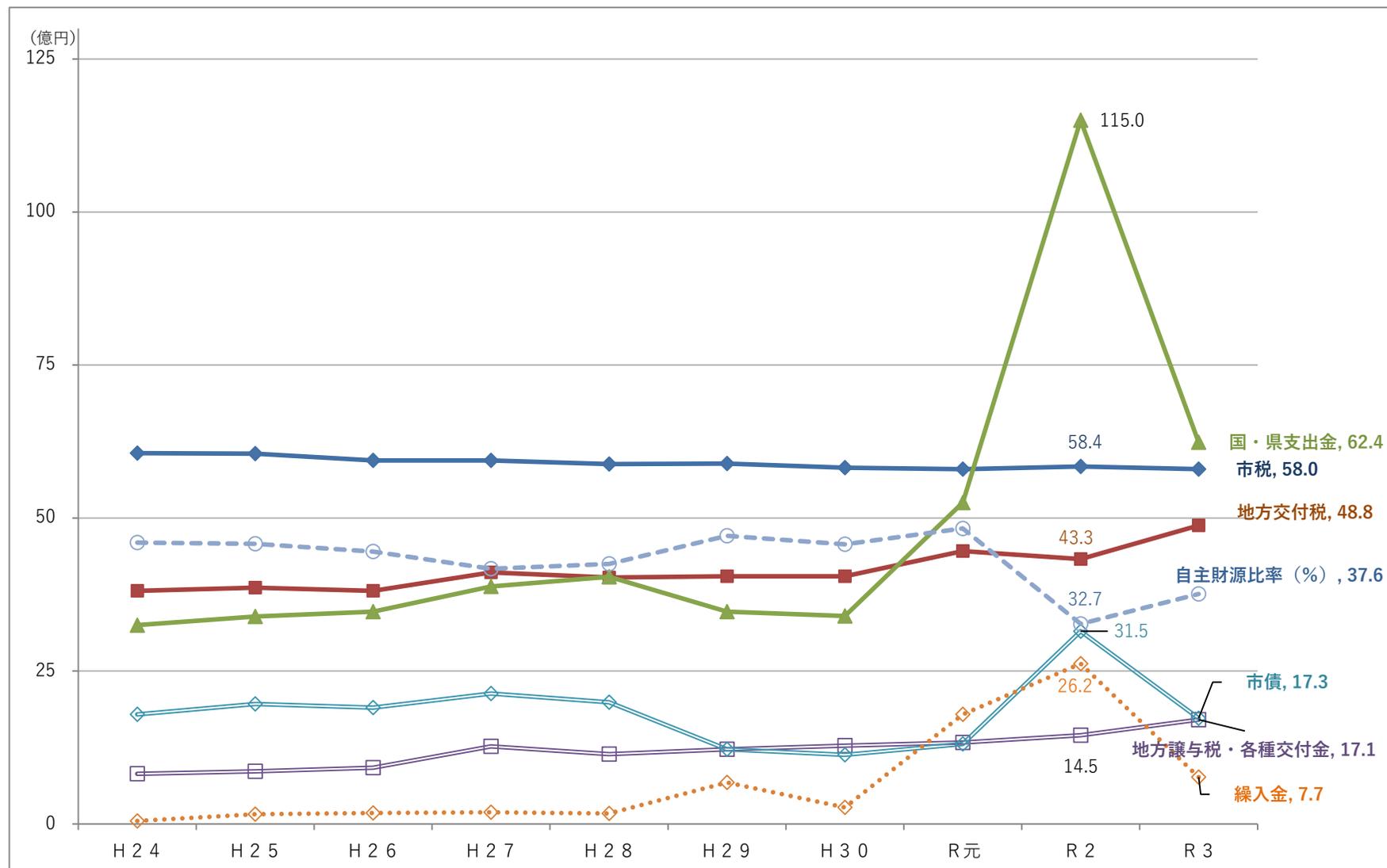
第2表 一般会計歳入の構成

(単位：千円)

区 分	令和3年度			令和2年度			
	決 算 額	構 成 比 %	対前年度比 %	決 算 額	構 成 比 %	対前年度比 %	
自主財源	市 税	5,799,223	24.2	99.3	5,840,620	17.9	100.7
	分 担 金 及 び 負 担 金	52,670	0.2	99.5	52,912	0.2	82.1
	使 用 料 及 び 手 数 料	523,000	2.2	97.3	537,412	1.6	88.5
	財 産 収 入	62,401	0.3	229.4	27,203	0.1	65.2
	寄 附 金	349,663	1.5	104.1	336,003	1.0	13.3
	繰 入 金	766,277	3.2	29.2	2,620,251	8.0	146.7
	繰 越 金	649,053	2.7	112.7	576,098	1.8	156.1
	諸 収 入	806,291	3.4	118.8	678,916	2.1	149.3
	小 計	9,008,578	37.6	84.4	10,669,415	32.7	91.6
依存財源	地 方 譲 与 税	127,361	0.5	101.4	125,604	0.4	101.4
	利 子 割 交 付 金	3,270	0.0	83.0	3,939	0.0	107.1
	配 当 割 交 付 金	33,651	0.1	142.8	23,557	0.1	92.2
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	42,338	0.2	148.0	28,600	0.1	170.6
	地 方 消 費 税 交 付 金	1,165,515	4.9	107.6	1,082,692	3.3	120.0
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	30,646	0.1	118.1	25,944	0.1	105.9
	法 人 事 業 税 交 付 金	65,295	0.3	289.8	22,528	0.1	皆増
	環 境 性 能 割 交 付 金	15,951	0.1	105.3	15,144	0.0	203.5
	国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	79,848	0.3	98.9	80,758	0.2	100.0
	地 方 特 例 交 付 金	134,819	0.6	369.5	36,491	0.1	31.5
	地 方 交 付 税	4,878,240	20.3	112.8	4,325,939	13.2	97.1
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,794	0.0	110.4	6,156	0.0	107.3
	国 庫 支 出 金	4,404,422	18.4	52.0	8,466,185	25.9	340.0
	県 支 出 金	1,834,923	7.7	60.5	3,034,135	9.3	110.0
	繰 越 金	292,248	1.2	19.3	1,512,991	4.6	2,639.1
	諸 収 入	119,571	0.5	182.7	65,438	0.2	174.6
市 債	1,729,400	7.2	55.0	3,146,400	9.6	239.7	
小 計	14,964,292	62.4	68.0	22,002,501	67.3	176.8	
合 計	23,972,870	100.0	73.4	32,671,916	100.0	135.6	

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。

図-I 歳入決算額の推移 (過去10年間/一般会計)



第3表 一般会計歳入歳出 款別決算の状況

1 歳入

(単位：千円)

款 別	予 算 現 額				令和3年度 収入済額 B	予算現額 対比増減 B - A	令和2年度 収入済額 C	前年度比較 B - C	対前年度比 B / C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事 業費繰越財源充当 額	計 A					
市 税	5,520,067	0	0	5,520,067	5,799,223	279,156	5,840,620	△ 41,397	99.3
地 方 譲 与 税	117,196	0	0	117,196	127,361	10,165	125,604	1,757	101.4
利 子 割 交 付 金	3,000	0	0	3,000	3,270	270	3,939	△ 669	83.0
配 当 割 交 付 金	25,000	0	0	25,000	33,651	8,651	23,557	10,094	142.8
株式等譲渡所得割交付金	23,000	0	0	23,000	42,338	19,338	28,600	13,738	148.0
地方消費税交付金	1,103,000	0	0	1,103,000	1,165,515	62,515	1,082,692	82,823	107.6
ゴルフ場利用税交付金	25,000	0	0	25,000	30,646	5,646	25,944	4,702	118.1
法人事業税交付金	34,000	11,000	0	45,000	65,295	20,295	22,528	42,767	289.8
環境性能割交付金	15,000	0	0	15,000	15,951	951	15,144	807	105.3
国有提供施設等 所在市町村助成交付金	80,000	0	0	80,000	79,848	△ 152	80,758	△ 910	98.9
地方特例交付金	86,500	0	0	86,500	134,819	48,319	36,491	98,328	369.5
地方交付税	4,400,000	471,025	0	4,871,025	4,878,240	7,215	4,325,939	552,301	112.8
交通安全対策特別交付金	5,900	0	0	5,900	6,794	894	6,156	638	110.4
分担金及び負担金	55,167	△ 2,031	0	53,136	52,670	△ 466	52,912	△ 242	99.5
使用料及び手数料	545,481	△ 23,040	0	522,441	523,000	559	537,412	△ 14,412	97.3
国庫支出金	2,770,572	2,163,051	124,563	5,058,186	4,404,422	△ 653,764	8,466,185	△ 4,061,763	52.0
県 支 出 金	1,507,791	△ 169,422	741,904	2,080,273	1,834,923	△ 245,350	3,034,135	△ 1,199,212	60.5
財 産 収 入	21,426	418	0	21,844	62,401	40,557	27,203	35,198	229.4
寄 附 金	340,000	17,510	0	357,510	349,663	△ 7,847	336,003	13,660	104.1
繰 入 金	1,129,313	△ 103,900	4,702	1,030,115	766,277	△ 263,838	2,620,251	△ 1,853,974	29.2
繰 越 金	300,000	349,052	292,248	941,300	941,301	1	2,089,090	△ 1,147,789	45.1
諸 収 入	928,787	28,629	0	957,416	925,862	△ 31,554	744,353	181,509	124.4
市 債	1,920,800	△ 107,200	458,900	2,272,500	1,729,400	△ 543,100	3,146,400	△ 1,417,000	55.0
合 計	20,957,000	2,635,092	1,622,317	25,214,409	23,972,870	△ 1,241,539	32,671,916	△ 8,699,046	73.4

## 2 歳出

(単位：千円)

款	予 算 現 額					令和3年度 支出済額 B	予算現額 対比増減 B - A	令和2年度 支出済額 C	前年度比較 B - C	対前年度比 B / C %
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越 事業費繰越額	予備費充当	計 A					
1 議 会 費	178,020	△ 3,169	0	0	174,851	167,144	△ 7,707	170,750	△ 3,606	97.9
2 総 務 費	2,374,292	247,674	31,751	7,437	2,661,154	2,514,756	△ 146,398	2,305,770	208,986	109.1
3 民 生 費	7,758,509	1,262,212	0	319	9,021,040	8,529,850	△ 491,190	12,758,491	△ 4,228,641	66.9
4 衛 生 費	2,328,764	946,403	20,500	0	3,295,667	2,943,151	△ 352,516	3,476,366	△ 533,215	84.7
5 労 働 費	31	0	0	0	31	0	△ 31	22	△ 22	0.0
6 農林水産業費	475,502	59,325	968,191	413	1,503,431	1,197,618	△ 305,813	1,566,101	△ 368,483	76.5
7 商 工 費	888,364	225,599	0	0	1,113,963	1,058,181	△ 55,782	915,371	142,810	115.6
8 土 木 費	1,835,657	13,003	132,418	0	1,981,078	1,341,828	△ 639,250	1,369,960	△ 28,132	97.9
9 消 防 費	997,033	△ 25,322	0	0	971,711	959,702	△ 12,009	1,006,861	△ 47,159	95.3
10 教 育 費	2,056,384	△ 183,808	231,077	5,903	2,109,556	1,945,345	△ 164,211	3,084,462	△ 1,139,117	63.1
11 災 害 復 旧 費	68,041	145,100	238,380	312	451,833	308,296	△ 143,537	457,540	△ 149,244	67.4
12 公 債 費	1,793,279	0	0	0	1,793,279	1,791,710	△ 1,569	1,805,858	△ 14,148	99.2
13 諸 支 出 金	173,124	△ 51,925	0	59	121,258	121,254	△ 4	2,162,064	△ 2,040,810	5.6
14 予 備 費	30,000	0	0	△ 14,443	15,557	0	△ 15,557	0	0	-
合 計	20,957,000	2,635,092	1,622,317	0	25,214,409	22,878,835	△ 2,335,574	31,079,616	△ 8,200,781	73.6

第4表 一般会計歳入 市税決算の状況 (現年課税分)

区 分		課税標準等	税率	調定額 (円)	徴収率 (%)	決算額 (円)	
市民税	個人	均等割	24,241人	3,500円	84,843,500	98.5	2,020,631,268
		所得割		6.0%	1,966,807,300		
	法人	均等割	1,464法人	50千円～ 3,000千円	139,223,700	99.7	319,369,800
		法人税割		6.0%, 8.4%(R元. 10.1以降)	181,237,900		
	計				2,372,112,400		2,340,001,068
固定資産税	土地	60,587,059千円	1.4%	842,803,500	98.5	2,291,728,702	
	家屋	85,193,146千円		1,144,822,000			
	償却資産	24,804,753千円		340,183,800			
	固有資産等所在 市町村交付金	407,425千円		5,703,500			100.0
	計	170,992,383千円		2,333,512,800		2,297,432,202	
軽自動車税 (種別割)	50cc以下	2,208台	2,000円	4,416,000	98.6	160,781,849	
	50cc超90cc以下	248台	2,000円	496,000			
	90cc超	394台	2,400円	945,600			
	ミニカー	134台	3,700円	495,800			
	農耕用	776台	2,400円	1,862,400			
	軽2輪	503台	3,600円	1,810,800			
	軽3輪	3台	3,100円～ 4,600円	10,800			
	4輪乗用自家用	12,728台	5,400円～ 12,900円	122,795,700			
	4輪乗用営業用	8台	3,500円～ 6,900円	49,500			
	4輪貨物自家用	5,195台	3,800円～ 6,000円	26,271,400			
	4輪貨物営業用	72台	2,900円～ 4,500円	259,400			
	2輪小型	523台	6,000円	3,138,000			
	小型特殊	78台	5,900円	460,200			
	ボートトレーラー	24台	3,600円	86,400			
	計	22,894台		163,098,000			
軽自動車税(環境性能割)		365台	0.5%～2.0%	6,722,300	100.0	6,722,300	

区 分		課税標準等	税率	調定額 (円)	徴収率 (%)	決算額 (円)
市たばこ税		69,381,867本	R3.9.30まで 千本当り6,122円 R3.10.1から 千本当り6,552円	414,405,378	100.0	414,405,378
入湯税	宿泊を 伴うもの	143,862人	150円	23,954,500	100.0	23,954,500
	宿泊を 伴わないもの	47,504人	50円			
都市 計画税	土地	78,531,784千円	0.3%	233,619,300	98.5	477,192,272
	家屋	85,476,956千円		251,085,600		
総 計				5,798,510,278		5,720,489,569

※令和元年10月1日から、旧三級品の税率が本則による税率に一本化されました。  
これに伴い旧三級品は旧三級品以外と合算されました。

市民1人・1世帯当たりの税額表 (現年課税分)

区 分	令和3年度 決算額(円)	1人当たり 税額(円)	1世帯当たり 税額(円)
税 目			
市民税(個人)	2,020,631,268	44,640	86,894
固定資産税(交付金除く)	2,291,728,702	50,629	98,552
軽自動車税(種別割)	160,781,849	3,552	6,914
軽自動車税(環境性能割)	6,722,300	149	289
市たばこ税	414,405,378	9,155	17,821
入湯税	23,954,500	529	1,030
都市計画税	477,192,272	10,542	20,521
合 計	5,395,416,269	119,196	232,021

(注) 令和4年1月1日現在 住基 人口: 45,265人 世帯: 23,254世帯

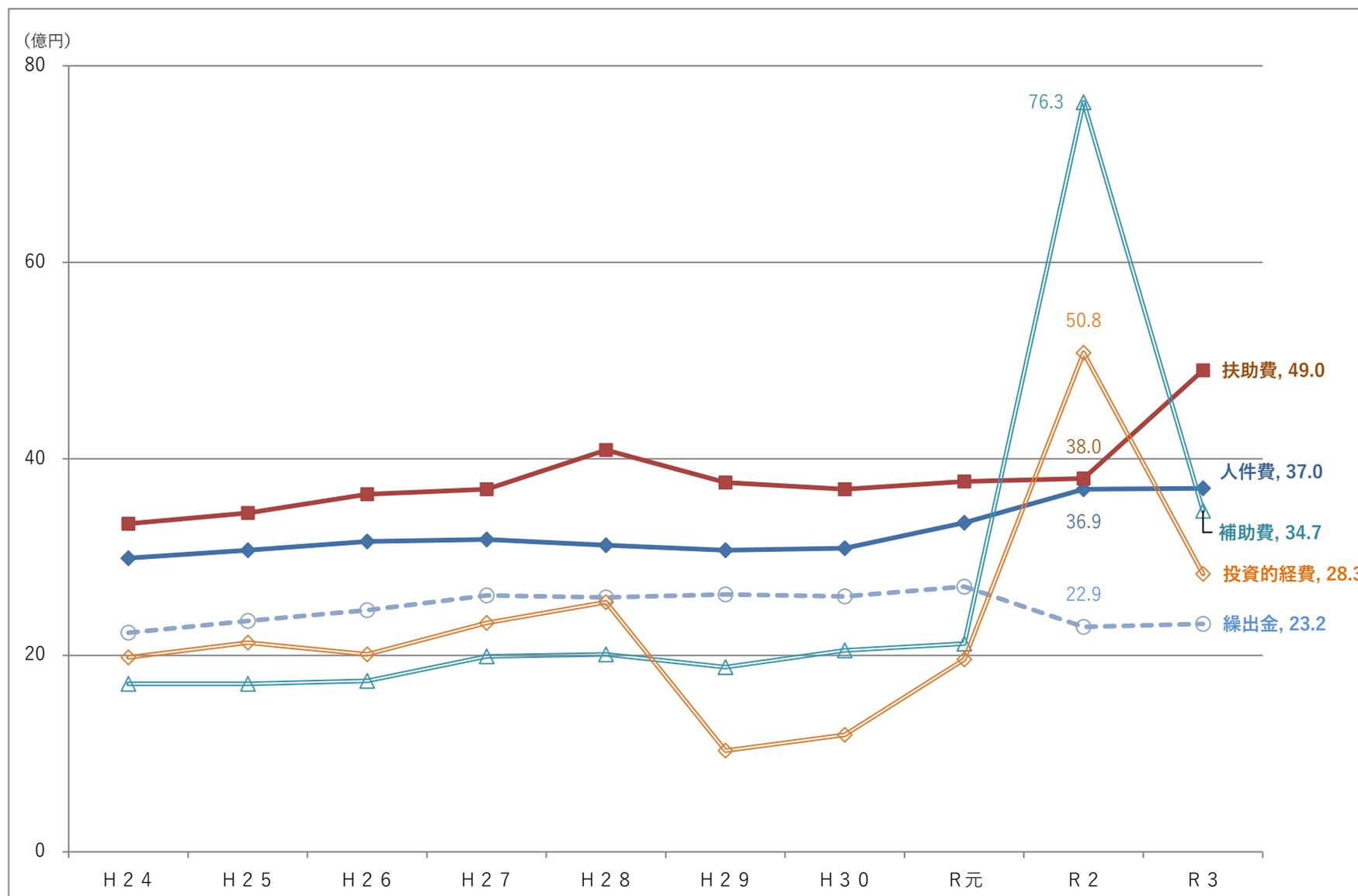
第5表 一般会計歳出 性質別決算の状況

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		前年度比較	対前年度比 %
	決 算 額	構成比 %	決 算 額	構成比 %		
1 人 件 費	3,699,792	16.2	3,686,225	11.9	13,567	100.4
2 扶 助 費	4,902,309	21.4	3,800,091	12.2	1,102,218	129.0
3 公 債 費	1,791,710	7.8	1,805,858	5.8	△ 14,148	99.2
(義務的経費小計)	10,393,811	45.4	9,292,174	29.9	1,101,637	111.9
4 物 件 費	2,918,000	12.8	4,044,494	13.0	△ 1,126,494	72.1
5 維 持 補 修 費	69,863	0.3	70,045	0.2	△ 182	99.7
6 補 助 費 等	3,470,483	15.2	7,627,894	24.5	△ 4,157,411	45.5
7 積 立 金	508,099	2.2	2,307,841	7.4	△ 1,799,742	22.0
8 投資・出資金・貸付金	370,054	1.6	363,510	1.2	6,544	101.8
9 繰 出 金	2,320,666	10.1	2,293,977	7.4	26,689	101.2
10 前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	-
11 投 資 的 経 費	2,827,859	12.4	5,079,681	16.3	△ 2,251,822	55.7
普通建設事業費	2,506,597	11.0	4,599,602	14.8	△ 2,093,005	54.5
災害復旧事業費	321,262	1.4	480,079	1.5	△ 158,817	66.9
合 計	22,878,835	100.0	31,079,616	100.0	△ 8,200,781	73.6

(注) 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入したものである。

図－Ⅱ 歳出（性質別）決算額の推移（過去10年間／一般会計）



第6表 特別会計決算状況

(単位：千円)

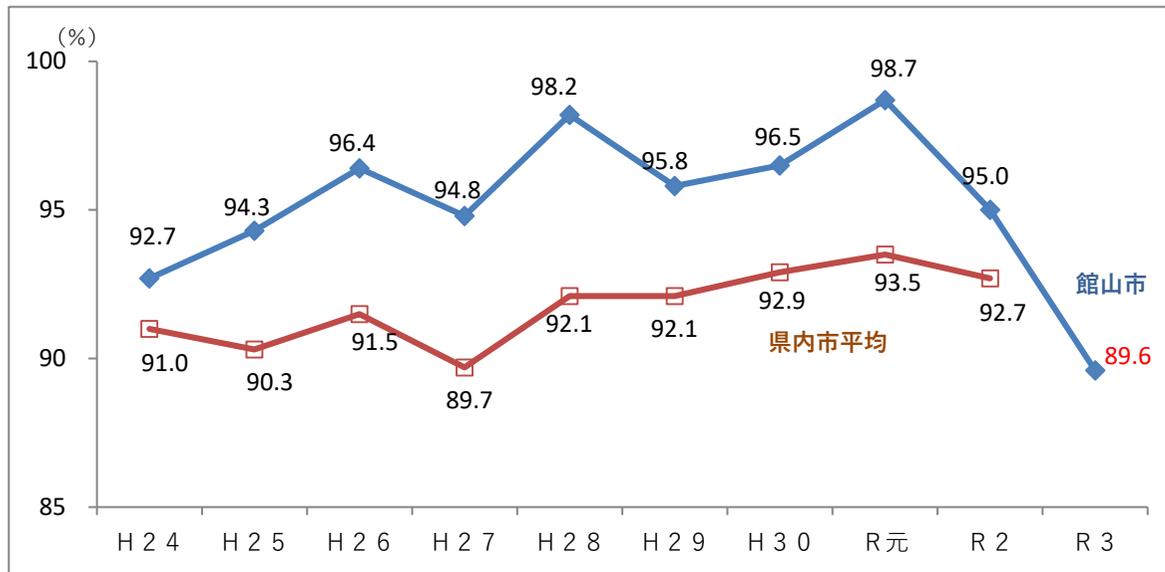
会計名	区分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		決算額	対前年度比 %	決算額	対前年度比 %	決算額	対前年度比 %
国民健康保険	歳入	6,269,277	101.1	6,200,538	99.4	6,240,805	95.6
	歳出	6,008,323	101.0	5,948,565	99.8	5,957,747	95.9
	差引額	260,954	103.6	251,973	89.0	283,058	90.1
後期高齢者医療	歳入	804,606	103.6	776,563	109.0	712,564	100.7
	歳出	803,718	103.6	775,802	107.0	725,166	102.6
	差引額	888	116.7	761	△ 6.0	△ 12,602	△ 1,903.6
介護保険	歳入	6,315,513	99.6	6,338,250	104.9	6,042,026	100.6
	歳出	5,997,850	98.8	6,067,718	106.2	5,715,310	100.4
	差引額	317,663	117.4	270,532	82.8	326,716	104.0
特別会計合計	歳入	13,389,396	100.6	13,315,351	102.5	12,995,395	98.2
	歳出	12,809,891	100.1	12,792,085	103.2	12,398,223	98.3
	差引額	579,505	110.7	523,266	87.6	597,172	94.9

(税込み 単位：千円)

会計名	区分	令和3年度		令和2年度	
		決算額	対前年度比 %	決算額	対前年度比 %
下水道事業会計	収益的收入	669,948	103.2	649,169	—
	収益的支出	514,239	99.8	515,128	—
	差引額	155,709	116.2	134,041	—
	資本的收入	284,670	119.4	238,385	—
	資本的支出	535,736	112.7	475,289	—
	差引額	△ 251,066	106.0	△ 236,904	—

※下水道事業会計は、令和2年度から公営企業会計に移行したため、前々年度データなし。

図一Ⅲ 経常収支比率の状況 (過去10年間)



財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度と比較して5.4%改善し89.6%となりました。

比率算出の分母となる経常一般財源額では、地方交付税の追加交付や地方消費税交付金の増により前年度比9億4,942万4千円(8.3%)の増加しました。

一方、分子となる経常経費充当一般財源額では、新学校給食センターの通年稼働に伴う費用の増や、障害介護給付費等の増などにより前年度比2億3,059万3千円(2.1%)の増加となっています。

このように、分母である経常一般財源の増加が分子である経常経費の増加を上回ったことにより、昨年度から比率が改善しています。

第7表 健全化判断比率及び資金不足比率の状況 (過去5年間)

単位 (%)

各種指標	館山市の比率					早期健全化基準	財政再生基準
	H29	H30	R元	R2	R3		
実質赤字比率	-	-	-	-	-	13.07	20.0
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	18.07	30.0
実質公債費比率	5.8	6.0	5.9	5.7	5.5	25.0	35.0
将来負担比率	66.0	45.3	27.3	29.9	26.7	350.0	
資金不足比率	-	-	-	-	-	20.0 (経営健全化基準)	

※ 経常収支比率及び第7表の各種数値は、国・県において内容確認中であり確定数値ではありません。

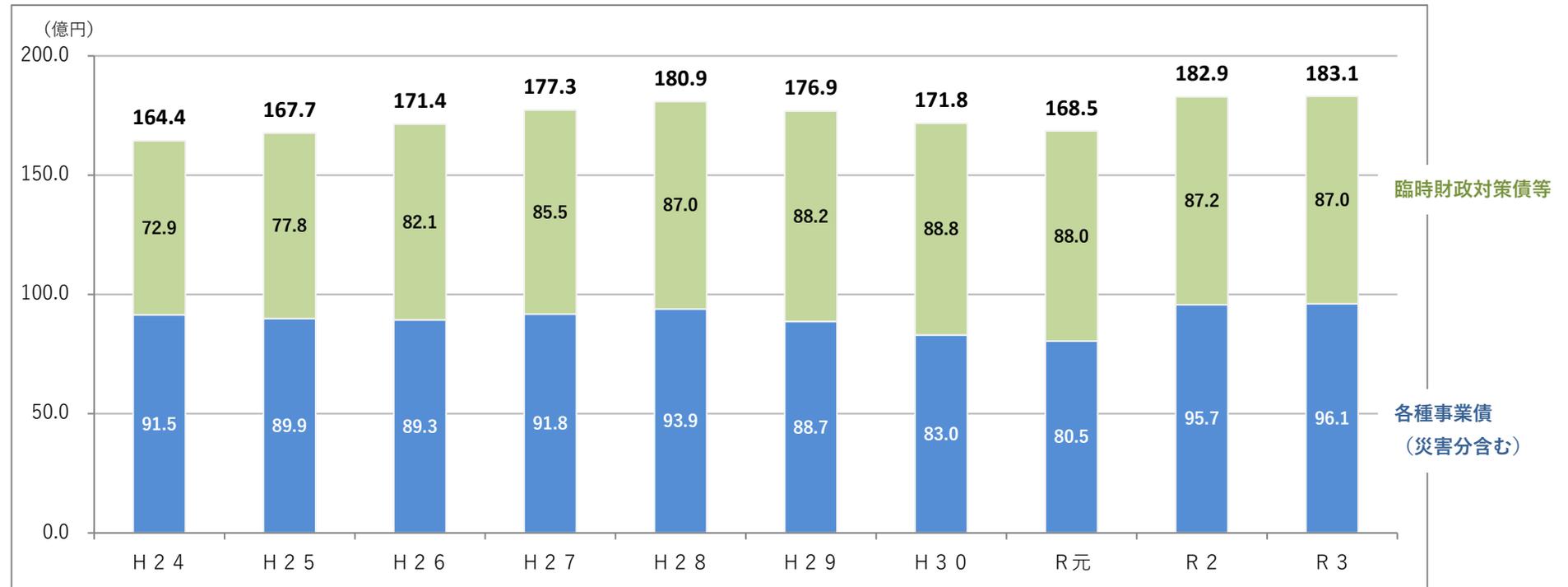
健全化判断比率及び資金不足比率(下水道事業)は、いずれの指標においても、法令等で定める早期健全化及び経営健全化の基準内数値となっています。

実質公債費比率は、公債費相当額(公債費や公営企業債に対する繰出金など)の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、3カ年の平均値で算出され、令和3年度は令和2年度から0.2%改善しました。また、令和3年度単年度の比率は5.42%となり、地方交付税等の増額などから令和2年度単年度の比率と比べ、0.11%改善しました。

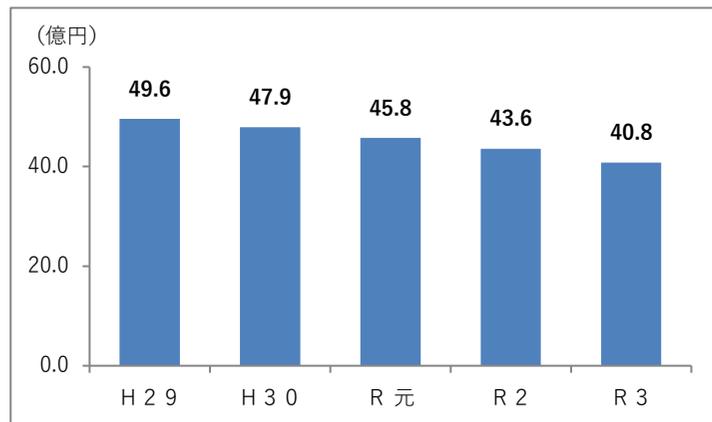
将来負担比率は、地方債や退職手当給予定額など市が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合を示す指標であり、令和3年度は地方交付税等が増加したことにより、令和2年度から3.2%改善しました。

実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率については、赤字(資金不足)額がなかったため、「該当なし」となっています(「-」で表示)。

図-IV 市債残高の状況 (過去10年間/一般会計債)



【参考】 下水道事業債の状況 (過去5年間)

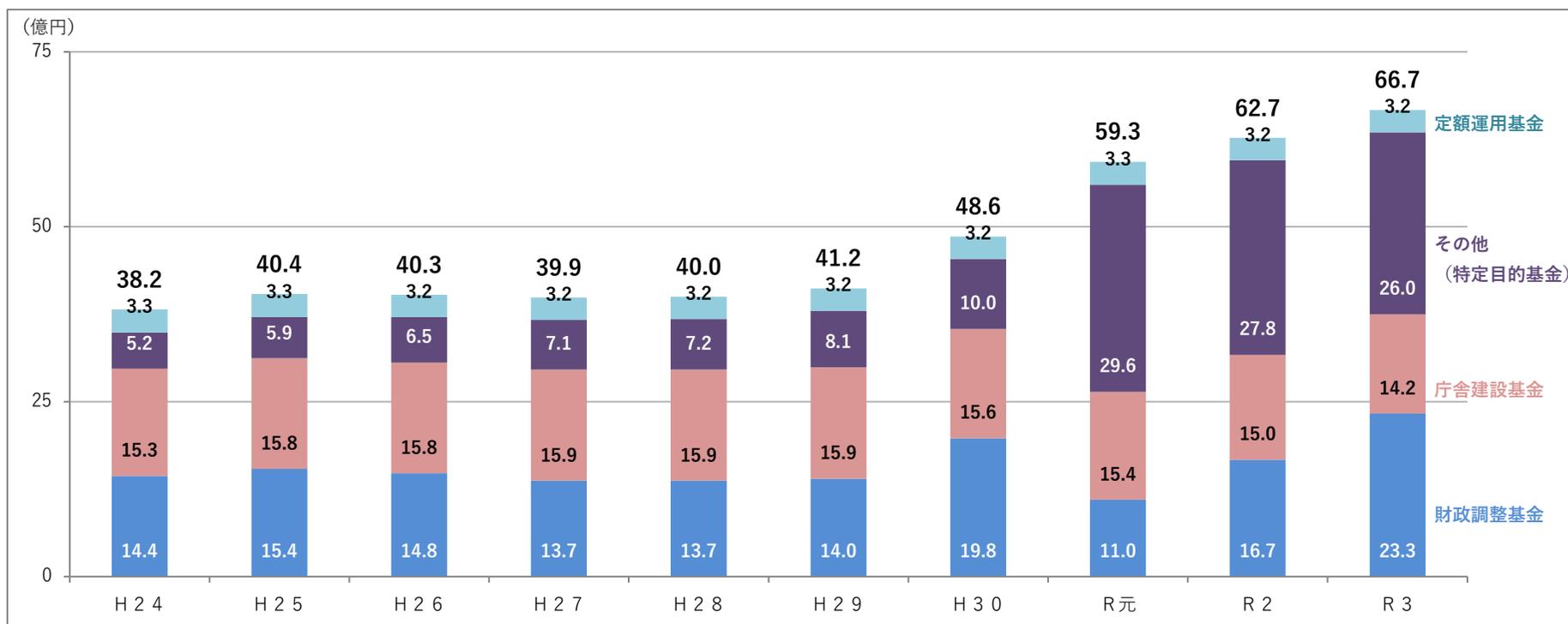


市債残高(一般会計債)は、平成15年度の約200億円をピークに年々減少してきましたが、東日本大震災を契機とした教育施設に係る耐震改修事業や、防災対策事業などの実施に伴い増加傾向にありました。

その後、平成29年度以降は、投資的経費の抑制及び地方財政計画における地方の財源不足額の減少に伴う臨時財政対策債の減額により減少に転じていたところでしたが、令和元年房総半島台風等に伴う災害復旧や給食センターの整備に伴い、令和2年度決算から増加しています。

令和3年度においては、館山中学校整備事業(校舎等解体)や、災害復旧、清掃センター長寿命化対策事業の実施などにより、前年度比2,323万2千円(0.1%)の増となりました。

図-V 基金現在高の状況 (過去10年間/一般会計分)



[ 基金種類 ]

- 財政調整基金 年度間の財政の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金 市債償還の財源を確保し、計画的な償還を行うために設けられる基金
- その他特定目的基金  
 庁舎等建設基金、中山間地域農村活性化基金、スポーツ振興基金、観光振興基金、学童災害共済基金、フレフレ・たてやま応援基金、  
 ダッペエ基金、環境保全基金、小谷家住宅保存活用支援基金、コミュニティ医療推進基金、やさしいまちづくり推進福祉基金、  
 子ども・子育て支援基金、森林環境譲与税基金、前澤友作館山応援基金、都市計画事業基金、まち・ひと・しごと創生基金
- 定額運用基金 土地開発基金、ふるさと創生奨学基金、看護師等修学資金貸付基金、文化振興基金

令和3年度決算における基金現在高の総額は、66億6,874万9千円となり、前年度比 3億9,537万9千円 (6.3%) の増加となりました。  
 これは、財政調整基金について、令和2年度決算における決算剰余金の積立 (6億5,100万円) を行ったことや、地方交付税の追加交付に伴い減債基金への積立 (1億9,700万2千円) を行ったことなどによるものです。なお、財政調整基金の令和3年度末残高は23億2,585万9千円となりました。

I 一般会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
1 議会費	議会報発行事業 【 P 67 議会運営事業 】 【 議会事務局 】	1,502	1,379	1,359	+1.5%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 「たてやま議会だより」を発行し、市民に議会活動状況の情報提供を行った。  [発行回数] 年4回(5月, 8月, 11月, 2月) [発行部数] 21,100部/回(全戸配付等) [仕 様] A4版 表紙・裏表紙フルカラー外2色 12ページ~16ページ/回 ・ 印刷製本費 1,379千円
	政務活動費交付金 【 P 69 議会調査活動事業 】 【 議会事務局 】	1,800	672	487	+38.0%	議会における各会派の市政に関する調査研究その他の活動の推進に資するため交付し、議会活動の充実を図った。  市議会議員：会派(6会派)単位で交付 18人×100千円=1,800千円  [支出内訳] 市民クラブ(5人) 103千円 ・ 広報費外(会派ホームページ作成, 市町村議会議員特別セミナー) 新政クラブ(5人) 265千円 ・ 広報費外(会派ホームページ・広報紙作成・新聞折込み, 市町村議会議員研修) たてやま21・緑風会(4人) 105千円 ・ 広報費外(会派ホームページ作成, 市町村議会議員特別セミナー) 公明党(2人) 54千円 ・ 広報費外(会派ホームページ作成, 市町村議会議員特別セミナー) じゅん風(1人) 79千円 ・ 資料購入費(新聞購入) 新しい風の会(1人) 66千円 ・ 広報費外(会派ホームページ作成, 市町村議会議員研修)  ◆ コロナ禍により研修参加を控えていたが、令和3年度から再開したことによる増
2 総務費	総務事務センター委託料 【 P 69 総務事務センター費 】 【 行革財政課 】	49,255	49,255	48,682	+1.2%	行政内部事務を中心として、職員等が担ってきた事務や運転、営繕業務を部局横断的にまとめ、包括的に民間委託することで、業務の効率化・合理化を図った。  [委 託 先] ㈱共立メンテナンス [委託期間] 平成31年4月1日~令和4年3月31日(3カ年) [契 約 額] 145,972千円(総額)

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	職員育成事業 【 P 71 職員育成事業 】 【 総務課 】	2,188	1,513	715	+111.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>各種職員研修(派遣研修, 集合研修等)を実施し, 職員の資質向上を図ることにより, 多様化・高度化する各種行政課題への対応力の向上に努めた。</p> <p>1 派遣研修(千葉県自治研修センター, 市町村アカデミー 外) 延べ62人 ・ 職員の基礎能力及び専門的な実務能力の向上を目的とした研修 外</p> <p>2 集合研修(市又は安房郡市広域市町村圏事務組合主催) 延べ164人 ・ 新規採用職員を対象とした, 基礎知識・能力習得を目的とした研修 外</p> <p>3 その他 ・ 各種研修負担金等 964千円 外</p> <p>◆ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により, 研修が一部中止となったため</p>
	福利厚生事業 【 P 73 福利厚生事業 】 【 総務課 】	4,547	3,799	3,708	+2.5%	<p>労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断や, メンタルヘルス対策など職員の福利厚生に必要な事業を行った。</p> <p>定期健康診断 425人(職員248人・再任用職員・会計年度任用職員177人) メンタルヘルス専門相談 12人</p> <p>・ 定期健康診断委託料 2,856千円 ・ 謝礼金 191千円 外</p>
	広報発行事業 【 P 75 広報発行事業 】 【 秘書広報課 】	7,537	7,413	7,366	+0.6%	<p>広報「だん暖たてやま」を発行し, 市政情報等を適時かつ的確に市民に提供するよう努めた。</p> <p>[発行回数] 年12回(毎月1回発行) [発行部数] 21,600部/回(全戸配布等) [発行ページ数] 延べ312ページ(26.00ページ/回) ・ 印刷製本費 7,413千円</p>
	行政事務委託事業 【 P 75 行政事務委託事業 】 【 市民協働課 】	15,767	15,460	15,437	+0.1%	<p>市民に対し行政事務連絡の徹底を図り, 市と町内会等との連絡を円滑にし, 市行政事務の効率的運用に努めた。</p> <p>1 行政事務委託料(委託先: 156町内会等) 14,608千円 均等割 4千円(1町内会当たり) 世帯割 700円(1世帯当たり) [委託内容] ① 市広報及び文書の配布に関すること ② 市通達事項の周知伝達に関すること ③ 簡易な調査報告に関すること</p> <p>2 文書配達委託料(委託先: (一社)館山市シルバー人材センター) 852千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	町内会連合協議会補助金 【 P 75 町内会連合協議会事業 】 【 市民協働課 】	5,445	5,445	5,445	0.0%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 町内会相互及び市との連絡調整等を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的に設立された、館山市町内会連合協議会の活動費の一部を補助し、円滑な活動が行えるよう支援した。  館山市町内会連合協議会補助金 [補助対象] 館山市町内会連合協議会 [補助金額] 5,445千円
	P C B廃棄物処理事業 【 P 77 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	42,220	42,220	0	皆増	市が保管管理している特別産業廃棄物である高濃度P C Bについて、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき適正に処理した。  [処理予定量] 高濃度P C B : 1,447.7kg  ◆ 新規事業による皆増
	非常用発電機整備事業 【 P 77 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	9,691	9,691	0	皆増	災害等の停電時に備えるため、市役所本館に据置型発電機及びポータブル発電機を整備した。  [整備機材] (稼働設備) 据置型発電機 : 一式(庁内ネットワークサーバー 外) 9,130千円 ポータブル発電機 : 5台(執務室内パソコン, 複合印刷機 外) 561千円  ◆ 新規事業による皆増
	市庁舎(3号館)外壁改修事業 【 P 77 庁舎管理事業 】 【 管財契約課 】	15,000	12,430	0	皆増	老朽化した市庁舎3号館の外壁等を改修し、施設の長寿命化を図った。  [施工内容] 外壁補修, 防水塗装 外  ◆ 新規事業による増
	庁舎設備改修費 【 P 79 新型コロナウイルス 対策費 】 【 管財契約課 】	13,061	12,650	29,723	△57.4%	新型コロナウイルス感染防止対策として、庁舎設備を改修した。  [改修内容] W C洋式化(12カ所) 7,150千円 空調設備更新(6カ所) 5,500千円  ◆ 令和2年度と実施事業が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
2 総務費	参与事務 【 P 81 参与事務 】 【 企画課 】	935	900	900	0.0%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 地方創生事業に精通した民間の人材を参与として委嘱し、各種委員や主要な施策に関するアドバイスをいただくなど、地方創生事業の推進に努めた。 [参与1名] 任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日 参与報酬：900千円
	安房郡市広域市町村圏事務組合総務費負担金 【 P 81 一部事務組合事務 】 【 企画課 】	28,565	28,565	31,386	△9.0%	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、職員採用試験及び研修の共同実施等に係る総務費並びに議会費を構成団体の安房地域4市町が負担し、行政事務の効率化を図った。 ◆ 安房郡市広域市町村圏事務組合における総務費・議会費の繰越金予算額の増による減
	南房総・館山地域公共交通活性化協議会負担金 【 P 81 地域公共交通 利用促進事業 】 【 企画課 】	3,667	2,350	3,750	△37.3%	広域の公共交通施策を検討・実施するために設立した協議会に対し、構成団体の館山市と南房総市が事業費を負担し、将来にわたり持続可能な公共交通ネットワークを効率的に維持していくための実証運行を実施した。 [主な事業] ・ 地域内路線の再編及び有効活用（丸線・平群線）に係る実証運行 3,975千円 ・ 神戸地区等買い物シャトルサービス実証運行 641千円 ◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる減
	地方バス路線維持費補助金 【 P 81 地方バス路線維持事業 】 【 企画課 】	60,101	34,533	28,554	+20.9%	南房総市と連携してバス路線の運行経費を助成し、地域住民の日常生活を支える移動手段の確保に努めた。 [補助対象] 日東交通株式会社, ジェイアールバス関東株式会社 [補助金額] ① 丸線・平群線 10,601千円 ② 豊房線 10,708千円 ③ 白浜千倉館山線 7,238千円 ④ 市内線 4,053千円 ⑤ 館山鴨川線 1,659千円 ⑥ 南房州本線 274千円 ◆ 令和3年度に限り、補助対象期間を従来の12カ月分（R2.4.1～R3.3.31）から18カ月分（R2.4.1～R3.9.30）としたため。 （国・県の地方路線補助金の対象期間（10/1～9/30）に合わせるための変更）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	移住・定住促進事業 【 P 81 移住・定住促進事業 】 【 P 83 移住・定住促進事業 (繰越明許費) 】 【 雇用商工課 】	13,918	11,716	8,106	+44.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>都市部からの移住希望者に対し相談業務などを行い、定住者を増加させることで地域の活性化を図った。また、館山市公認Y o u T u b eチャンネル「館山TV」の動画作成と配信を行い、関係人口の創出・拡大を図った。 ※ 一部(国)地方創生推進交付金事業</p> <p>1 移住相談業務委託 4,500千円                      ・ 移住希望者への相談業務などの移住支援                      令和3年度実績 相談件数：218件 移住完了者：14組27名                      ・ 館山市、南房総市合同移住相談会 ※参加者：16組26名                      ・ オンラインでの仕事説明会(3回/年) ※参加事業者：12社、延べ視聴回数：3,355回</p> <p>2 移住定住促進助成金                      ① 子育て世帯の移住者向け 1,278千円                      助成金額：家賃の1/2(上限20千円/月) 助成件数：9件                      ② 東京圏からの移住者向け 3,000千円                      助成金額：2人以上の世帯 1,000千円 助成件数：3件</p> <p>3 関係人口測定・促進委託 2,885千円(繰越明許費分を含む)                      ・ 館山市公認チャンネル「館山TV」での動画作成と配信</p> <p>4 ふるさと回帰支援センター負担金 外 53千円</p> <p>◆ 移住定住促進助成金の助成件数が増えたことによる増</p>
	地域おこし協力隊事業 (介護認定調査員) 【 P 83 地域おこし協力隊事業 】 【 高齢者福祉課 】	1,700	1,644	3,634	△54.8%	<p>地域おこし協力隊として、都市部の人材を積極的に活用し、要介護認定申請の増加に対応するため介護認定調査を行い、隊員の定住・定着及び介護サービスの向上を図った。</p> <p>[隊 員] 1名委嘱 委嘱期間 令和3年4月1日～令和3年8月31日                      (活動期間 平成30年9月1日～令和3年8月31日)</p> <p>[活動内容] 介護認定調査業務及び習得に関する活動、介護認定調査業務のビジネスモデルの可能性の検討、市や地域の団体等が行うイベントへの協力など</p> <p>[支出内訳] 会計年度任用職員報酬 外 1,247千円                      地域おこし協力隊活動費補助金 250千円                      自動車借上料 147千円</p> <p>◆ 任期満了により、委嘱期間が5カ月間であったため</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	地域おこし協力隊事業 (獣害対策支援)  【 P 83 地域おこし協力隊事業 】  【 農水産課 】	8,050	7,960	4,400	+80.9%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>地域おこし協力隊として、都市部の人材を積極的に活用し、有害鳥獣対策全般についての研究・情報発信、防護柵の設置指導や被害相談等の総合的なサポートを通して、隊員の定住・定着及び鳥獣被害対策の地域ぐるみ活動の促進を図った。</p> <p>[隊員] 2名委嘱 委嘱期間 令和3年7月1日～令和4年3月31日 [活動内容] 有害鳥獣による被害について現地調査に基づく被害防止対策や防護柵設置の指導、有害鳥獣の生態や被害状況についての情報発信、被害相談を通じた地域ぐるみ活動の普及など [報償金] 3,960千円 (225千円×9カ月×2人-90千円) 地域おこし協力隊員への活動に対する報償金 [補助金額] 4,000千円 (2,000千円×2人) 活動経費に対する補助(交通費、通信費、燃料費などの補助) 外</p> <p>◆ 隊員を1名増員したことによる増</p>
	地域おこし協力隊起業支援事業  【 P 83 地域おこし協力隊事業 】  【 食のまちづくり推進課 】	1,000	1,000	0	皆増	<p>令和3年3月末に任期満了で退任した地域おこし協力隊(食のまちづくり推進業務)に対し、起業等に要する経費を補助し、地域での自立・定着を図った。</p> <p>地域おこし協力隊起業支援補助金 [補助対象] 令和3年3月任期満了隊員1名 [補助対象経費] キッチンカー施工費、デザイン加工費、イベント企画費 外 ※ 起業支援については、地域おこし協力隊としての任期最終年度又は翌年度1回限り</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	地域おこし協力隊事業 (リノベーションまちづくり推進 業務協力隊)  【 P 83 地域おこし協力隊事業 】  【 雇用商工課 】	4,700	4,700	4,400	+6.8%	<p>地域おこし協力隊として、都市部の人材を積極的に活用し、まちづくりの担い手となる人材の輩出と、中心市街地の遊休不動産の活用を推進するための基盤づくりを行うことにより、隊員の定住・定着及びリノベーションまちづくりの推進を図った。</p> <p>[隊員] 1名委嘱 委嘱期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日(3年目) [活動内容] リノベーションまちづくり推進業務協力隊として、館山リノベーションまちづくり実行委員会と連携を図り、リノベーションまちづくり事業の推進に繋がる活動を実施 [報償金] 3,200千円 地域おこし協力隊員(1名)に対する報償金 [補助金額] 地域おこし協力隊活動費補助金 1,500千円 1年間の活動経費に対する補助(交通費、通信費などの補助)</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	地域おこし協力隊事業 (ワーケーション推進業務協力 隊)  【 P 83 地域おこし協力隊事業 】  【 雇用商工課 】	6,266	6,266	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>地域おこし協力隊として、都市部の人材を積極的に活用し、市内企業等とのネットワークづくりや情報発信、都市部企業等の人材との意見交換等を行うことにより、隊員の定住・定着及びワーケーションの推進を図った。</p> <p>[隊員] 2名委嘱 委嘱期間 令和3年8月1日～令和4年3月31日(1年目) [活動内容] ワケーション推進業務協力隊として、市内企業への取材活動や地域資源の洗い出し、SNSによる情報発信、ワーケーションを推進する都市部企業等の人材との意見交換等を通じたまちぐるみでのワーケーション推進に繋がる活動の実施 [報償金] 3,600千円 地域おこし協力隊員(2名)に対する報償金 [補助金額] 地域おこし協力隊活動費補助金 2,666千円(2名) 1年間の活動経費に対する補助(交通費、通信費などの補助)</p> <p>◆ 令和3年度に2名を新規に委嘱したことによる増</p>
	市街地循環バス実証運行事業  【 P 83 新型コロナウイルス 対策費 】  【 企画課 】	14,584	14,554	12,877	+13.0%	<p>館山駅を起終点とする市街地循環バスを運行し、市街地の回遊性と市民らの利便性の向上に努めた。また、利用状況の分析や利用者アンケートによるニーズ把握などを行い、本格運行に向けた準備を進めた。</p> <p>[委託業者] ジェイアールバス関東株式会社、日東交通株式会社 [運行概要] 館山駅から概ね2km圏内を南北2ルートで周回(片回りで8便/日) [運行期間] 令和3年10月1日から令和4年1月31日まで(121日間)</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる増</p>
	国土強靱化地域計画策定事業  【 P 85 地域防災事業 】  【 危機管理課 】	1,485	1,485	2,882	△48.5%	<p>大規模自然災害時に、人命を守り、経済社会への被害が致命的にならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土と経済社会システムを平時から構築するため、館山市国土強靱化地域計画を策定した。</p> <p>[事業概要] ・重要業績評価指標(KPI)の設定 ・各プログラム推進計画の作成、製本印刷等 (令和2年度～令和3年度の2カ年度事業)</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	防災行政無線整備事業 【 P 85 防災行政無線事業 】 【 P 85 防災行政無線事業 (繰越明許費) 】 【 危機管理課 】	50,385	50,294	4,915	+923.3%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 災害時における情報連絡体制を確保するため、同報系防災行政無線等の保守点検及び既存防災行政無線の更新工事を実施した。 1 防災行政無線屋外拡声子局更新工事(6カ所) 44,991千円(繰越明許費分を含む) 2 防災行政無線保守点検業務 4,500千円 (同報系親局子局, 移動系基地局中継局) 3 防災行政無線維持補修工事 803千円 ◆ 令和2年度から実施箇所が増えたことによる増
	災害対応事業 【 P 85 災害対応事業 】 【 危機管理課 】	9,763	9,376	9,226	+1.6%	災害時における迅速な情報発信及び救助活動のため、電話による一斉情報発信や防災に係る保険に加入し、安全安心なまちづくりを推進した。 1 災害時情報伝達システム通信料(たてやま安心電話) 478千円 [登録者数] 239人 (令和4年3月末時点) 2 安全安心情報配信業務委託料(安全安心メール) 1,505千円 [登録者数] 14,994人 (令和4年3月末時点) [配信実績] 330回 防災情報 59回, 火災情報 70回, 防犯情報 42回, 行方不明者情報 17回, コロナ感染関係 120回, その他(有害鳥獣関係等) 22回 3 水門管理委託料 1,275千円 [委託場所] 那古水門, 八幡水門 4 防災・減災費用保険料 1,264千円 (災害救助法が適用されなかった場合の避難・救助経費に係る保険) 5 会計年度任用職員報酬等 3,135千円 (防災コーディネーターに係る報酬等) 6 自主防災組織補助金 1,432千円 [交付先] 自主防災会14団体 [交付対象] 備品購入補助 7 その他 287千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	避難所対策費 【 P 87 新型コロナウイルス 対策費 】 【 危機管理課 】	2,000	1,655	27,533	△94.0%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>災害時の避難所運営において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、必要な機材を整備した。</p> <p>[整備機材] 防災備蓄倉庫1棟、非接触式検温器5台</p> <p>◆ 令和2年度とは購入物品や数量が異なることによる減</p>
	交通安全施設整備事業 【 P 87 交通安全対策事業 】 【 市民協働課 】	11,840	11,780	12,978	△9.2%	<p>町内会等・学校からの要望や現地パトロール、関係機関等との現地診断などに基づく交通危険箇所、道路反射鏡、防護柵及び区画線等の整備を行い、地域での安全確保や交通事故の防止に努めた。</p> <p>また、「小学校通学路の緊急一斉点検」及び「館山市通学路交通安全プログラム」に基づく取組として、通学路の安全施設整備を早急に実施し、児童生徒の安全を確保した。</p> <p>1 施設整備工事請負費 10,842千円 ① 地元要望等 反射鏡30基 警戒標識11基 防護柵39m 区画線2,755m 外 ② 通学路整備 区画線3,820m カラー舗装16㎡ 防護柵25m ポール3本</p> <p>2 工事（施設）整備用材料費 780千円 ・ 反射鏡鏡面22枚 支柱10本 電柱取付金具7組 外</p> <p>3 道路照明等修繕料 158千円 ・ 道路照明の修繕 3カ所</p> <p>◆ 令和2年度とは実施箇所、内容が異なることによる減</p>
	高齢者運転免許証自主返納促進事業 【 P 87 交通安全対策事業 】 【 市民協働課 】	731	711	638	+11.4%	<p>高齢者の交通事故防止等を図るため、運転免許証を自主的に返納した者（免許証返納時において満75歳以上で館山市に住所を有する者）を対象に、5千円相当の商品券等を交付し、高齢者の運転免許証自主返納を促進した。</p> <p>1 高齢者運転免許証自主返納促進事業奨励金 610千円 ・ 路線バス回数券（日東交通・JRバス関東） ・ 館山市商業協同組合発行市内共通商品券</p> <p>2 高齢者運転免許証自主返納促進事業助成金 101千円 ・ 免許返納タクシー利用券</p> <p>[年齢別自主返納者数] 75～79歳 36人 80～84歳 60人 85～89歳 52人 90歳以上 10人 (合計 158人)</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
2 総務費	館山駅東口駐輪場整備事業 【 P 89 自転車対策事業 】 【 市民協働課 】	7,909	7,898	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>駐輪場の効率化及び館山駅東口駅前広場全体の利便性等の向上に資するため、館山駅東口駐輪場を日東交通(株)南側の1カ所に集約した。</p> <p>1 日東交通(株)南側サイクルラック設置工事 7,018千円 2 房州第一ビル脇サイクルラック撤去工事 880千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	電算システム運用事業 【 P 89 電算システム運用事業 】 【 情報課 】	104,541	104,280	106,142	△1.8%	<p>基幹系システム及び番号制度連携システム等の運用において、業務委託等による事務処理の簡素化及び効率化を図り、市民サービスの向上に努めるとともに、将来にわたる安定的運用を確保した。</p> <p>・ 基幹系システム運用・維持管理業務委託料 92,979千円 ・ 番号制度中間サーバー利用負担金 4,163千円 ・ システム改修、保守委託、消耗品 外 7,138千円</p> <p>◆ 番号制度中間サーバー利用負担金等の減</p>
	電子自治体推進事業 【 P 89 電子自治体推進事業 】 【 情報課 】	60,436	60,436	49,828	+21.3%	<p>情報通信ネットワークやホームページの適切な維持・管理や、老朽化した職員用パソコンのノート型への更新を計画的に進めることで、セキュリティの確保とWi-Fi環境を活かした柔軟な働き方の両立を図り、電子自治体の推進を図った。</p> <p>・ ノートパソコン購入（147台 3年目／5カ年更新） 21,844千円 ・ サーバー等の運用保守・設定変更 12,166千円 ・ サーバー・ネットワーク機器 購入 10,105千円 ・ システム借上・使用料等 6,373千円 （ファイル無害化、IT資産管理、AI議事録、GIS、コピー機など） ・ ホームページ関連 2,521千円 （作成システム・音声読上げ・公共施設空き状況） ・ セキュリティを確保した接続回線（回線保守含む） 2,282千円 （業務用：LGWAN インターネット用：千葉県セキュリティクラウド） ・ その他（消耗品など） 5,145千円</p> <p>◆ 当該事業のうち「ノートパソコン購入」について、令和2年度では「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を充当し実施したことに伴い、予算科目を「新型コロナウイルス対策費」で計上していたため。</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	コミュニティ事業補助金 【 P 91 コミュニティ事業 】 【 市民協働課 】	15,999	15,227	24,772	△38.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>市民と行政が分担協働する市民参加のまちづくりを推進するため、地区コミュニティ又は地域コミュニティ組織が実施するコミュニティ事業に対し助成し、円滑な活動が行えるよう支援した。</p> <p>1 コミュニティ事業補助金 227千円 ・ コミュニティ活動推進事業（6地区：館山、那古、船形、神戸、館野、九重） 館山市コミュニティ連絡協議会構成地区へ活動費の一部を補助</p> <p>2 一般財団法人 自治総合センター助成事業 15,000千円 ・ コミュニティセンター助成事業（1団体：亀ヶ原区 集会所新築）</p> <p>◆ 令和2年度は房総半島台風等で被災した施設修繕を実施したことによる減</p>
	市民協働事業補助金 【 P 91 コミュニティ事業 】 【 市民協働課 】	800	600	559	+7.3%	<p>市民等が自ら考え、実行する事業に対して事業費の一部を補助し、円滑な活動が行えるよう支援した。</p> <p>市民協働事業補助金 [補助対象] 市内で活動するボランティア団体等 [補助金額] 600千円（新規事業：事業費の10/10 限度額200千円） [補助件数] 新規事業3件（富崎地区スローモビリティ実証運行 外）</p>
	コミュニティセンター運営事業 【 P 91 コミュニティセンター 運営事業 】 【 中央公民館 】	23,401	23,301	23,042	+1.1%	<p>コミュニティセンターの適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。</p> <p>1 利用状況 4,122件 延べ94,325人 2 主な利用用途 サークル活動・各種会議・保健推進事業 外 3 施設管理</p> <p>・会計年度任用職員報酬 3,349千円 ・清掃委託料 3,142千円 ・緑地管理委託料 2,866千円 外</p>
	コミュニティセンター外壁改修事業 【 P 91 コミュニティセンター 運営事業 】 【 中央公民館 】	80,200	77,330	0	皆増	<p>老朽化によって劣化したコミュニティセンターの外壁を改修し、施設の適正管理及び長寿命化を図った。</p> <p>コミュニティセンター外壁改修工事 77,330千円 [事業内容] コミュニティセンター外壁改修工事 [施工内容] 施設東面及び北面タイルの剥離、躯体補修及び防水塗装、屋上防水</p> <p>◆ 新規事業による皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	学習等供用施設運営事業 【 P 93 豊津地区学習等供用 施設運営事業 】 【 P 93 中央地区学習等供用 施設運営事業 】 【 P 93 那古船形地区学習等 供用施設運営事業 】 【 中央公民館 】	22,138	19,697	17,488	+12.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>各学習等供用施設の適正な管理運営を図り、利用者へのサービスの向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。また、豊津ホール及び赤山地下壕跡入壕者の受付業務等を民間委託し、施設管理の効率化を図った。</p> <p>1 豊津地区学習等供用施設（豊津ホール） 9,081千円 [利用状況] 256件（延べ4,965人） [施設管理] 受付業務等委託料 6,740千円 外</p> <p>2 中央地区学習等供用施設（菜の花ホール） 4,405千円 [利用状況] 1,574件（延べ13,296人） [施設管理] 会計年度任用職員報酬 1,912千円 外</p> <p>3 那古船形地区学習等供用施設（若潮ホール） 6,211千円 [利用状況] 509件（延べ4,142人） [施設管理] 学習等供用施設日常業務委託料 2,708千円 外</p> <p>◆ 豊津ホールにおける空調機更新工事の実施及び受付等委託料の増</p>
	コミュニティセンター設備改修費 【 P 95 新型コロナウイルス 対策費 】 【 中央公民館 】	4,427	4,334	3,795	+14.2%	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、コミュニティセンター設備の改修等を実施した。</p> <p>1 トイレ洋式化改修工事（6カ所） 3,707千円 2 網戸設置工事（1階・23カ所） 627千円</p>
	ふるさと納税推進事業 【 P 95 ふるさと納税事業 】 【 企画課 】	167,432	137,508	114,167	+20.4%	<p>歳入を確保するため、ふるさと納税制度を推進した。魅力ある返礼品の拡充や既存返礼品のブラッシュアップを行うとともに、情報発信を積極的に行い、ふるさと納税額の増加に努めた。</p> <p>・ 会計年度任用職員報酬等 4,240千円 ・ 寄附者への返礼品代 88,831千円 ・ 宣伝等広告料 1,925千円 ・ クレジット収納システム手数料 2,112千円 ・ ふるさと納税推進業務委託 38,153千円 ・ ワンストップ特例申請処理業務委託 2,210千円 外</p> <p>[令和3年度実績] 寄附件数 10,589件（令和2年度：9,860件） 寄附金額 330,859千円（令和2年度：308,829千円）</p> <p>◆ 寄附者獲得のため、新たなポータルサイト業者（2社）と契約したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明												
2 総務費	防犯カメラ設置事業 【 P 95 防犯対策事業 】 【 市民協働課 】	1,295	1,265	1,414	△10.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>犯罪のない安全安心なまちづくりのため、盗難・ひったくり・器物破損などが起こりやすい場所に、防犯カメラを設置した。</p> <p>[設置場所] 市内2カ所(館山駅周辺)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯設備整備工事請負費 1,265千円</li> </ul>												
	訴訟代理人報酬 【 P 97 訴訟関連事務費 】 【 総務課 】	12,705	12,705	385	+3200.0%	<p>東京高等裁判所 令和3年(ネ)第1220号損害賠償請求控訴事件等について、弁護を委任した訴訟代理弁護士に着手金及び解決したことによる報酬等を支出した。</p> <p>1 東京高等裁判所 令和3年(ネ)第1220号損害賠償請求控訴事件 11,000千円 2 東京高等裁判所 令和3年(行コ)第142号不同意等取消請求控訴事件 1,705千円</p> <p>◆ 控訴審となったことに伴い着手金や報酬等を支出したことによる増</p>												
	徴収対策事務 【 P 99 徴収事務 】 【 税務課 】	10,044	9,634	9,906	△2.7%	<p>市民の納税意識の高揚を図るとともに、市税の徴収率の向上のため各種の徴収対策を講ずることにより、税収の確保に努めた。</p> <p>市税徴収率 95.08% (令和2年度 94.70%) 現年度 98.65% (令和2年度 98.16%) 滞納繰越 26.20% (令和2年度 25.80%)</p> <p>1 納期内納税者との均衡を保つため、差押を前提とした滞納整理に努めた。 差押 328件 執行停止 162件 即時消滅 152件 ※ 国民健康保険税を含む</p> <p>2 口座振替制度の普及率向上及び納期内納付の促進に努めた。 収納件数 57,188件 収納額 1,383,467千円</p> <p>3 徴収率の向上と納税者の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストア収納、スマホアプリ収納及びクレジット収納を実施し、税収の確保に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>収納件数</td> <td>収納額</td> </tr> <tr> <td>① コンビニエンスストア収納</td> <td>46,836件</td> <td>646,013千円</td> </tr> <tr> <td>② スマホアプリ収納</td> <td>2,315件</td> <td>41,758千円</td> </tr> <tr> <td>③ クレジット収納</td> <td>1,008件</td> <td>31,603千円</td> </tr> </table>		収納件数	収納額	① コンビニエンスストア収納	46,836件	646,013千円	② スマホアプリ収納	2,315件	41,758千円	③ クレジット収納	1,008件	31,603千円
	収納件数	収納額																
① コンビニエンスストア収納	46,836件	646,013千円																
② スマホアプリ収納	2,315件	41,758千円																
③ クレジット収納	1,008件	31,603千円																

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
2 総務費	戸籍・住民基本台帳等事務 【 P101 戸籍・住民基本台帳等事務 】 【 P101 戸籍・住民基本台帳等事務（繰越明許費） 】 【 P103 新型コロナウイルス対策費 】 【 市民課 】	74,879	59,491	44,432	+33.9%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>1 個人番号制度の施行に伴い、市民に対し個人番号を通知するとともに、希望者に対し個人番号カードを交付した。            交付枚数 累計19,395枚（令和4年3月31日現在）            個人番号カード等関連事務費交付金 14,892千円            個人番号カードの作成・送付事務委任（委任先：地方公共団体情報システム機構）</p> <p>2 証明書コンビニ交付システムの維持管理を行った。            コンビニ交付運営負担金 2,219千円            コンビニ交付委託手数料 251千円</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飛沫飛散防止パネル付カウンターの設置や、待合ロビーにおけるソーシャルディスタンスの確保に向けた窓口改修工事等を行った。            庁舎窓口等改修工事 11,000千円            内部壁看板吊下看板取付工事 100千円</p> <p>4 個人番号制度への対応のため、システムの改修等を行った。            戸籍副本全件送信業務委託料 396千円            （繰越明許分）            住民基本台帳システム改修委託料 1,936千円            戸籍附票システム改修委託料 4,928千円            戸籍システム改修委託料 1,496千円</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分880千円含む</p> <p>◆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止による窓口改修等や、法改正に伴う繰越明許費による戸籍システム等の改修事業を実施したことによる増</p>
	衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査 【 P103 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査事務 】 【 選挙管理委員会事務局 】	14,264	12,334	0	皆増	<p>解散に伴う衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>投票日：令和3年10月31日（公示日：10月19日）</li> <li>立候補者数3人（定数1人）：千葉県小選挙区（第12区）</li> <li>投票率51.07%（投票者数20,123人 当日有権者数39,403人）</li> </ul> <p>◆ 衆議院の解散に伴う選挙執行による増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
2 総務費	基幹統計調査事業 【 P105 基幹統計調査事業 】 【 P105 職員給与費 】 【 P 69 総務事務センター費 】 【 情報課 】 【 総務課 】	3,309	2,848	18,962	△85.0%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>国勢統計や総務大臣が指定した重要な統計(基幹統計)を作成するために行われる統計調査として、国又は県から委託された調査を行った。</p> <p>[主な調査]            経済センサスー活動調査 2,848千円            調査期日 令和3年6月1日/調査区数127/指導員3人/調査員34人            調査員等報酬 2,163千円            会計年度任用職員報酬 外</p> <p>◆ 令和2年度とは実施した統計調査業務が異なるため。(令和2年は国勢調査を実施)</p>
3 民生費	民生委員業務委託事業 【 P109 民生委員事業 】 【 社会福祉課 】	4,493	3,817	3,856	△1.0%	<p>館山市民生委員児童委員協議会の活動に対する支援業務(事務局として会議運営、研修、機関紙発行等)を館山市社会福祉協議会に委託し、民生委員児童委員による地域福祉活動の推進を図った。</p> <p>民生委員児童委員定数 112人(うち主任児童委員 10人)</p>
	福祉団体補助事業 【 P109 福祉団体補助事業 】 【 社会福祉課 】	25,867	24,922	27,458	△9.2%	<p>館山市社会福祉協議会の活動等に対する補助を通じ、地域福祉推進を図るための支援を行った。</p> <p>1 館山市社会福祉協議会補助金 22,364千円            地域福祉の中心的役割を担う社会福祉法人館山市社会福祉協議会の活動を支援するため、協議会の人件費に対して助成を行い、協議会の基盤を安定させることにより、地域福祉の総合的な推進を図った。</p> <p>2 地域ぐるみ福祉ネットワーク事業補助金 2,162千円            社会福祉法人館山市社会福祉協議会が実施する社会福祉協議会15支部の活動拠点の整備や地域ボランティアの育成等に対して助成を行い、地域福祉活動の推進を図った。            [補助対象事業] ①小域福祉圏活動推進事業 ②ボランティア活動促進事業</p> <p>3 その他団体補助 396千円(4団体)</p> <p>◆ コロナ禍における補助対象事業中止に伴う減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	障害福祉給付事業 【 P109 障害福祉給付事業 】 【 社会福祉課 】	144,621	138,060	130,699	+5.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>障害者等に医療費の助成や各種手当等を給付することにより、障害者等の福祉の増進を図った。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1 福祉タクシー利用助成金 1,507千円（助成者数156人） 重度の心身障害者（児）がタクシーを利用した場合に、社会参加の促進を図るため料金の一部を助成した。</p> <p>2 重度障害者等福祉手当 4,645千円（支給者数47人） 重度知的障害者又はその養育者に対し、障害ゆえに生ずる負担を軽減するために手当を支給した。</p> <p>3 心身障害者（児）医療費給付扶助費 108,976千円 心身障害者（児）に対し心身障害者医療費を支給し、その生活の安定と福祉の増進を図った。</p> <p>① 重度障害者：現物給付 自己負担：通院1回300円，入院1日300円，調剤 無料 ※ 市民税所得割非課税世帯は無料 ※ レセプト件数 17,327件</p> <p>② 中軽度障害者：償還払い 自己負担：通院1回600円，入院1日600円，調剤1回600円 ※ 領収書件数 7,181件</p> <p>4 特別障害者手当 17,559千円（支給者数56人） 精神又は身体に著しい重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態に有る在宅の20歳以上の者に手当を支給した。</p> <p>5 障害児福祉手当 3,497千円（支給者数21人） 精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時介護を必要とする状態に有る在宅の20歳未満の者に手当を支給した。</p> <p>◆ 心身障害者（児）医療費給付扶助費が増加したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	包括的相談支援業務委託料 【 P111 福祉相談支援体制 整備事業 】 【 社会福祉課 】	5,333	4,359	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>地域共生社会の実現に向け、様々な課題を抱える人の相談を、属性・世代・内容を問わず、包括的な支援体制により受け止め、制度の狭間のニーズへ対応する体制づくりのため、地域福祉の中核となる館山市社会福祉協議会へ事業委託を行った。</p> <p>[相談実績] 52件                      [分野別件数] ※相談1件に対し複数分野の相談あり                      介護 13件、障害 11件、子ども・子育て 1件、生活困窮 7件、権利擁護 9件                      ひきこもり 4件、居住 17件、就労 3件、その他 24件</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	地域生活支援事業 【 P111 地域生活支援事業 】 【 社会福祉課 】	39,456	31,728	32,484	△2.3%	<p>相談事業や日常生活用具の給付、移動支援事業等を実施することにより、障害者等の自立した社会生活を支援した。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1 地域生活支援センター委託料 7,842千円                      障害者等に対し、創作的活動又は生産的活動の機会の提供や社会との交流促進、相談支援などを行い、障害者の自立支援事業を実施した。</p> <p>2 身体障害者入浴サービス委託料 4,298千円（利用者数5名）                      居宅における入浴が困難な寝たきりの身体障害者に対し、保健衛生及び在宅福祉の向上を図るため、入浴援護事業を実施した。</p> <p>3 地域活動支援センター運営費補助金 4,191千円（補助事業所数1カ所）                      障害者に対して、創作的活動や生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進等の便宜を供与する基礎的事業に併せて、地域において雇用及び就労が困難な障害者に対して通所により生活訓練、作業訓練等を実施する事業者に対し助成を行い、地域移行の推進を図った。</p> <p>4 心身障害者（児）日常生活用具給付扶助費 11,715千円（給付者数135名）                      在宅の心身障害者及び難病患者等の生活の自立を促すため、頭部保護帽やストマ器具など、日常生活用具の給付又は貸与を行った。</p> <p>5 地域生活支援事業給付費 1,207千円（給付者数22名）                      障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、移動支援事業（屋外での移動が困難な障害者等への外出支援）、日中一時支援事業（障害者等の日中の活動の場を確保することによる障害者等の家族への就労支援など）、意思疎通支援者派遣事業（聴覚障害者等のコミュニケーション支援）などの事業を実施した。</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	自立支援等給付事業 【 P111 自立支援等給付事業 】 【 社会福祉課 】	1,458,851	1,358,595	1,310,936	+3.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>障害者等の状況を踏まえ、適切な介護支援や身体機能及び生活能力向上に必要な訓練等を行うことにより、地域生活を営むための支援を行った。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1 身体障害者補装具交付扶助費 7,324千円(支給者数65名) 身体障害者(児)の日常生活の能力向上や社会参加を促進するため、車椅子、補聴器などの補装具の購入・修理にかかる費用を支給した。</p> <p>2 障害介護給付費 1,095,325千円(給付者数1,014名) 障害者総合支援法に基づく介護給付費・訓練等給付費・サービス利用計画作成費等、障害者等が利用したサービスについて、費用の一部を公費により負担した。</p> <p>3 障害児通所等給付費 153,768千円(給付者数318名) 児童福祉法に基づく障害児通所支援として、児童等発達支援や放課後等デイサービス等、利用したサービスについて、費用の一部を公費により負担した。</p> <p>4 自立支援医療費(更生医療) 69,511千円(給付者数94名) 18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象に、一般治療で既に治癒した障害の軽減や進行の防止、機能の回復のために行う治療(手術等)に係る費用の一部を公費により負担した。</p> <p>5 自立支援医療費(育成医療) 322千円(給付者数3名) 身体に障害のある児童又はそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童がその障害を除去・軽減する効果が期待できる治療(手術等)に係る費用の一部を公費により負担した。</p> <p>6 療養介護医療費 3,123千円(給付者数3名) 医療と常時介護を必要とする人に、医療機関での機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援に係る費用の一部を公費により負担した。</p> <p>◆ 障害介護給付費が増加したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	自立支援関連事業 【 P113 自立支援関連事業 】 【 社会福祉課 】	40,891	33,777	29,539	+14.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>障害者総合支援法に基づく福祉サービスを補完する事業を実施することにより、障害者等の日常生活における自立の促進を図った。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1 障害者グループホーム等運営費補助金 19,699千円（補助事業所数24カ所） 障害者の地域生活移行を促進するため、共同生活援助事業所の運営に要する経費の一部に対し補助を行った。</p> <p>2 児童デイサービス利用助成費 5,013千円（助成者数97名） 障害児の自立支援と親の子育て支援のため、障害児の早期の生活訓練を行うサービス利用者の自己負担分について助成した。</p> <p>3 障害者グループホーム等入居者家賃助成費 8,237千円（助成者数67名） 障害者の地域生活移行を促進するため、共同生活援助事業所・知的障害者等生活ホーム事業所に支払った家賃の一部を助成した。</p> <p>◆ 障害者グループホーム等運営費補助金の増加による増</p>
	生活困窮者自立支援事業 【 P113 生活困窮者 自立支援事業 】 【 社会福祉課 】	20,088	17,371	19,545	△11.1%	<p>生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、包括的かつ継続的な相談、家計改善の相談や就労支援等に加え、該当者には住居確保給付金を支給することで、生活保護に至る前の段階での自立促進を図った。</p> <p>1 自立相談支援事業委託料 16,200千円 [委託先] 社会福祉法人館山市社会福祉協議会 自立相談支援員当人件費（3名分）、諸経費等 ・ 自立相談支援事業 新規相談件数 88件 （うち、就労支援件数：10件、新規就労件数：3件） ・ 家計改善支援事業 6件 ・ 就労準備支援事業 2件</p> <p>2 住居確保給付金 996千円（6世帯 9件） 外</p> <p>◆ 他の制度の活用により、住居確保給付金申請者が減少したことによる</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	国民健康保険特別会計繰出金 【 P113 国民健康保険 特別会計繰出事務 】 【 市民課 】	437,153	431,062	445,571	△3.3%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 国民健康保険事業の安定的な運営を図るため、国民健康保険特別会計に支出した。 1 職員給与費等繰出金(事務に係る職員給与費等に対する繰出金) 73,200千円 2 保険基盤安定繰出金(国民健康保険税の軽減額等に対する繰出金) 288,379千円 3 財政安定化支援事業繰出金 61,800千円 (低所得者層や高齢者が多い地域の負担軽減のための繰出金) 4 出産育児一時金繰出金(出産育児一時金に対する繰出金) 7,280千円 ◆ 財政安定化支援事業繰出金及び職員給与費等繰出金の減
	新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金支給事業 【 P115 新型コロナウイルス 感染症生活困窮者 自立支援金支給事業 】 【 社会福祉課 】	8,389	2,637	0	皆増	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、社会福祉協議会が実施する緊急小口資金及び総合支援資金の貸付を利用した者で、条件を満たす者に対して「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給した。 [支給額(月額)] 単身世帯：6万円，2人世帯：8万円，3人以上世帯：10万円 支給額：2,600千円(単身：6世帯，2人：2世帯，3人以上：3世帯・・・計11世帯) ◆ 令和3年度新規事業による皆増
	住民税非課税世帯等臨時特別給付金 【 P115 住民税非課税世帯等 に対する臨時特別 給付金費 】 【 社会福祉課 】	782,500	587,500	0	皆増	国による「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に伴い、令和3年度住民税均等割非課税世帯に対し臨時特別給付金を支給した。 ・ 令和3年度給付総額 587,500千円 (給付額：10万円/世帯 5,875世帯分) ※ 予算現額には、令和4年度への繰越分195,000千円含む ◆ 令和3年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明																								
3 民生費	高齢者生活支援事業 【 P117 高齢者生活支援事業 】 【 高齢者福祉課 】	9,100	8,470	5,825	+45.4%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>高齢者が在宅で自立した生活を過ごすことができるように、緊急通報装置貸与、ショートステイ事業、軽度生活援助事業等を実施し、その生活を支援した。また、中核機関設置運営のための負担金を支出し、高齢者等の権利擁護推進に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 緊急通報装置貸与</td> <td>115件</td> <td>電信料</td> <td>789千円</td> </tr> <tr> <td>・ ショートステイ事業</td> <td>9件</td> <td>委託料</td> <td>4,192千円</td> </tr> <tr> <td>・ 緊急ショートステイ事業</td> <td>8件</td> <td>委託料</td> <td>270千円</td> </tr> <tr> <td>・ 権利擁護推進センター</td> <td></td> <td>負担金</td> <td>2,952千円</td> </tr> <tr> <td>・ 軽度生活援助事業</td> <td>37件</td> <td>助成金</td> <td>181千円</td> </tr> <tr> <td>・ 高齢者日常生活用具</td> <td></td> <td>扶助費</td> <td>86千円</td> </tr> </table> <p>◆ ショートステイ事業の日数の増による</p>	・ 緊急通報装置貸与	115件	電信料	789千円	・ ショートステイ事業	9件	委託料	4,192千円	・ 緊急ショートステイ事業	8件	委託料	270千円	・ 権利擁護推進センター		負担金	2,952千円	・ 軽度生活援助事業	37件	助成金	181千円	・ 高齢者日常生活用具		扶助費	86千円
・ 緊急通報装置貸与	115件	電信料	789千円																											
・ ショートステイ事業	9件	委託料	4,192千円																											
・ 緊急ショートステイ事業	8件	委託料	270千円																											
・ 権利擁護推進センター		負担金	2,952千円																											
・ 軽度生活援助事業	37件	助成金	181千円																											
・ 高齢者日常生活用具		扶助費	86千円																											
	地域づくり推進事業 【 P117 地域づくり推進事業 】 【 高齢者福祉課 】	2,144	674	0	皆増	<p>住民主体による地域包括ケアシステムの構築を図るため、地域づくりに資するフォーラムや地域でのワークショップを開催し、地域における「たすけあい」の意識向上を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 地域づくり推進業務委託料</td> <td>674千円</td> </tr> </table> <p>[委託先] 館山市社会福祉協議会 [内 容] 地域づくりフォーラムの開催（WEB開催）、DVDの作成 地域でのワークショップの開催等</p> <p>◆ 令和2年度はコロナ禍の影響によりフォーラムが実施できなかったため</p>	・ 地域づくり推進業務委託料	674千円																						
・ 地域づくり推進業務委託料	674千円																													
	老人措置事業 【 P117 老人措置事業 】 【 高齢者福祉課 】	108,332	104,181	98,014	+6.3%	<p>おおむね65歳以上の高齢者を対象に、必要に応じて養護老人ホーム又は特別養護老人ホームへ入所措置し、高齢者の福祉向上を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 老人ホーム入所措置扶助費</td> <td>97,926千円</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム入所措置者数</td> <td>45名（4施設）</td> <td>※令和3年度末現在</td> </tr> <tr> <td>2 権利擁護措置費</td> <td>6,230千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム入所措置者数</td> <td>11名（1施設）</td> <td>※令和3年度末現在</td> </tr> </table> <p>◆ 老人ホーム入所措置扶助費の増による</p>	1 老人ホーム入所措置扶助費	97,926千円	外	養護老人ホーム入所措置者数	45名（4施設）	※令和3年度末現在	2 権利擁護措置費	6,230千円		特別養護老人ホーム入所措置者数	11名（1施設）	※令和3年度末現在												
1 老人ホーム入所措置扶助費	97,926千円	外																												
養護老人ホーム入所措置者数	45名（4施設）	※令和3年度末現在																												
2 権利擁護措置費	6,230千円																													
特別養護老人ホーム入所措置者数	11名（1施設）	※令和3年度末現在																												

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
3 民生費	高齢者福祉団体補助事業 【 P117 福祉団体補助事業 】 【 高齢者福祉課 】	11,272	10,248	10,821	△5.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>関係団体の運営や事業を支援することにより、高齢者の福祉向上を図った。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、老人クラブの運動会や健康講演会は中止した。</p> <p>1 老人クラブ補助金 2,590千円 ① 単位老人クラブ補助金 2,311千円 [補助件数] 43クラブ (平均補助額 54千円) [補助概要] 均等割：1クラブ当たり 3,100円/月 人数割：会員1名当たり 200円 (他 市老連加入クラブ加算 団体加算：1クラブ当たり7,400円 会員加算：会員1名当たり 170円)</p> <p>② 館山市老人クラブ連合会補助金 279千円</p> <p>2 館山市シルバー人材センター補助金 6,650千円 [補助対象] 就業機会確保提供事業に対する補助</p> <p>3 地域福祉事業活動費補助金 1,008千円 [補助対象] 館山市社会福祉協議会 [補助事業] ① 地域ボランティア活動の推進と見守りネットワークの整備 ② ふれあい・いきいきサロンへの支援 外</p>
	介護保険特別会計繰出金 【 P119 介護保険特別会計 繰出事務 】 【 高齢者福祉課 】	1,003,606	1,003,605	988,272	+1.6%	<p>介護保険事業の安定的な運営を図るため、介護保険特別会計に支出した。</p> <p>1 介護給付費繰出金(介護保険財政の市負担分12.5%) 694,150千円 2 職員給与費等繰出金(事務に係る職員給与費等に対する繰出金) 103,850千円 3 事務費繰出金(要介護認定事務費に対する繰出金) 62,691千円 4 介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金(総合事業費に対する繰出金) 40,237千円 5 包括的支援事業費等繰出金(包括的支援事業費等に対する繰出金) 21,494千円 6 低所得者保険料軽減繰出金(低所得者の保険料軽減に対する繰出金) 81,183千円</p> <p>◆ 介護給付費等が増加したことによる繰出金の増</p>
	介護職員資格取得費助成事業 【 P119 介護保険補助事務 】 【 高齢者福祉課 】	1,500	906	537	+68.7%	<p>研修課程終了後6カ月以内に市内の介護事業所に就職した者等に対し、介護資格の取得等に係る費用の一部を助成し、介護における人材確保とキャリアアップを図った。</p> <p>・ 介護職員初任者研修 283千円(8名分) ・ 介護福祉士実務者研修 623千円(11名分)</p> <p>◆ 研修開催増加に伴う申請者の増加による</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	老人福祉センター運営事業 【 P119 老人福祉センター 運営事業 】 【 高齢者福祉課 】	19,056	18,338	17,508	+4.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>高齢者に対し、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等のための便宜を総合的に供与することを目的に老人福祉センターを運営した。 『第3次館山市行政改革方針』に定めた「民間委託の推進」実行のため、老人福祉センター(湊・出野尾)について指定管理者制度を導入し、市営プール施設(25m温水・50m)と併せて一体的・効率的な管理運営を行い、市民サービスの向上を図った。</p> <p>[指定管理者] 特定非営利活動法人つくばアクアライフ研究所 [指定期間] 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5カ年) [利用実績] 湊地区老人福祉センター 5,541人 出野尾老人福祉センター 3,969人</p>
	後期高齢者医療特別会計繰出金 【 P119 後期高齢者医療 特別会計繰出事務 】 【 市民課 】	200,181	192,319	198,362	△3.0%	<p>後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、後期高齢者医療特別会計に支出した。</p> <p>1 保険基盤安定繰出金(後期高齢者医療保険料の軽減額等に対する繰出金) 166,613千円 2 事務費繰出金(事務に係る職員給与費等に対する繰出金) 25,706千円</p> <p>◆ 職員の人事異動に伴う事務費繰出金の減</p>
	後期高齢者医療負担金支払事務 【 P119 後期高齢者医療 負担金支払事務 】 【 市民課 】	686,741	682,116	655,992	+4.0%	<p>1 千葉県後期高齢者医療広域連合負担金 21,444千円 後期高齢者医療の円滑な運営を図るため、千葉県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出した。</p> <p>2 後期高齢者医療療養給付費負担金現年度分 660,672千円 後期高齢者医療療養給付費の市負担分(12分の1)として、千葉県後期高齢者医療広域連合へ負担金を支出した。</p> <p>◆ 被保険者の増に伴う療養給付費負担金の増</p>
	子育てサービス利用者支援事業 【 P121 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	4,787	4,712	4,443	+6.1%	<p>利用者支援員「子育てコンシェルジュ」を配置し、子育てサービスを利用しやすい環境整備や、きめ細やかな利用者ニーズへの対応を行った。</p> <p>[配置場所] こども課窓口 外 [配置時間] 平日8時30分～17時15分 [配置人数] 2人 [相談対応件数] 1,094件 [相談内容] 子育て210件 保育園等769件 学童173件 一時預かり37件 ※重複あり</p> <p>・ 会計年度任用職員報酬及び手当等 4,712千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明								
3 民生費	病児・病後児保育事業 【 P121 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	10,257	6,724	8,743	△23.1%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>病気の治療中又は病気の回復期にあたる児童を、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行った。</p> <p>[受入施設] 亀田ファミリークリニック館山（亀田病児・病後児保育室たてやま）</p> <p>[利用者数] 令和元年度 延べ458人 令和2年度 延べ252人 令和3年度 延べ209人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病児・病後児保育委託料 6,714千円</li> <li>・ 病児・病後児保育事業損害賠償責任保険料 10千円</li> </ul> <p>◆ 新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減</p>								
	元気な広場運営事業 【 P121 子育て支援対策事業 】 【 こども課 】	19,200	19,200	18,700	+2.7%	<p>就学前の乳幼児を持つ親と子及び妊婦が気軽に集い、子育て中の親子の交流や育児相談等を通じ、子育てへの不安解消や児童虐待防止の推進を図った。また、地域の子育て支援として「出張子育てひろば」や会員相互により子育て支援を行うファミリー・サポート・センター事業を行い、子育て支援の充実を図った。</p> <p>[指定管理者] 生活協同組合 コープみらい [指定期間] 平成31年4月1日～令和6年3月31日（5カ年） [利用状況]</p> <table border="0"> <tr> <td>元気な広場（出張子育てひろば含）</td> <td>ファミリー・サポート・センター</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 延べ19,655人</td> <td>令和元年度 会員数501人 活動件数136件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 延べ7,953人</td> <td>令和2年度 会員数506人 活動件数75件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度 延べ11,785人</td> <td>令和3年度 会員数514人 活動件数71件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気な広場運営委託料 19,200千円</li> </ul>	元気な広場（出張子育てひろば含）	ファミリー・サポート・センター	令和元年度 延べ19,655人	令和元年度 会員数501人 活動件数136件	令和2年度 延べ7,953人	令和2年度 会員数506人 活動件数75件	令和3年度 延べ11,785人	令和3年度 会員数514人 活動件数71件
元気な広場（出張子育てひろば含）	ファミリー・サポート・センター													
令和元年度 延べ19,655人	令和元年度 会員数501人 活動件数136件													
令和2年度 延べ7,953人	令和2年度 会員数506人 活動件数75件													
令和3年度 延べ11,785人	令和3年度 会員数514人 活動件数71件													

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	学童クラブ運営委託事業 【 P121 学童クラブ運営事業 】 【 こども課 】	91,800	91,800	82,107	+11.8%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>学童クラブの運営を民間事業者へ委託し、保護者の子育て支援と就労等の両立支援や児童の健全育成を図った。</p> <p>[委託事業者] 株式会社アンフィニ [公設学童クラブ] 船形・那古・北条・館山・豊房・館野・九重 [対象児童] 小学校6年生まで [利用児童数] 令和元年度 362人 夏季休業利用児童数51人 令和2年度 361人 夏季休業利用児童数21人 令和3年度 361人 夏季休業利用児童数47人 ※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により夏季休業期間短縮あり</p> <p>・ 放課後児童健全育成事業委託料 91,800千円（夏季休業期間の委託料を含む）</p> <p>◆ 契約更改において人件費等の値上がりによる委託料の増</p>
	学童保育補助事業 【 P121 学童クラブ運営事業 】 【 こども課 】	1,000	1,000	900	+11.1%	<p>留守家庭児童の居場所確保及び児童の健全育成を図るため、学童保育を実施する民設学童クラブに対して運営費の補助等を行った。</p> <p>[民設学童クラブ] 神戸学童クラブ [利用児童数] 令和3年度 33人</p> <p>・ 放課後児童健全育成事業補助金 1,000千円</p>
	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 【 P121 学童クラブ運営事業 】 【 こども課 】	3,700	860	0	皆増	<p>「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く放課後児童支援員等の処遇改善のため、必要な費用を支出した。</p> <p>[対象施設] ・公設学童クラブ（船形、那古、北条、館山、豊房、館野、九重） ・民設学童クラブ（神戸） [対象職員] 学童クラブに勤務する職員（支援員、補助員等） 計62人 [補助額] 賃金3%程度（月額9千円） [対象期間] 令和4年2月～9月</p> <p>・ 放課後児童健全育成事業委託料（公設学童クラブ） 816千円 ・ 放課後児童健全育成事業補助金（民設学童クラブ） 44千円</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分2,799千円含む</p> <p>◆ 令和4年2月より事業を開始したことによる皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
3 民生費	家庭児童相談体制強化事業 【 P123 家庭児童相談事業 】 【 こども課 】	6,364	6,286	4,922	+27.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>家庭相談員、子ども家庭支援員を配置し、児童虐待等に係る相談体制の強化を図った。</p> <p>1 家庭相談員（2名：3日/週） 2,822千円 育児やしつけ、養育の悩み、児童虐待の相談対応及び問題解決のサポート</p> <p>2 子ども家庭支援員（2名：3日又は4日/週） 3,464千円 児童虐待にかかる専門的な機能としての相談対応及び関係機関との調整 外</p> <p>◆ 子ども家庭支援員1名（3日/週）を増員し、相談体制を強化したことによる増</p>
	支援対象児童等見守り強化事業 【 P123 家庭児童相談事業 】 【 こども課 】	3,051	689	0	皆増	<p>新型コロナウイルス感染症等の影響により、児童の見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まったことから、支援ニーズの高い児童を対象に見守り強化事業を実施し、虐待の未然防止を図った。</p> <p>[委託事業者] NPO法人 子ども家庭支援センター オレンジ [主な事業内容] 子どもの状況把握、食事の提供、学習・相談支援など [利用実績] 令和3年度 延べ144人（令和4年1月～3月までの3カ月実績）</p> <p>◆ 令和4年1月より事業を開始したことによる皆増</p>
	子ども医療費給付金 【 P123 子ども医療費支給事業 】 【 社会福祉課 】	91,800	85,134	86,926	△2.1%	<p>子どもの健やかな成長と、子どもの医療費に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの保険診療に係る患者負担額を対象として助成を行った。</p> <p>[助成対象] 中学校3年生まで（入院・通院・調剤） [保護者負担額] 入院1日につき300円、通院1回につき300円、調剤は無料 ※ 市民税所得割非課税世帯は無料 [助成実績] 給付額：85,134千円 給付者数：2,705人 対象児童数：4,436人</p> <p>※ 制度拡充：令和3年8月の所得制限撤廃により給付者数及び対象児童数増</p> <p>◆ 新型コロナウイルス感染症流行に伴う病院等の受診控えなどによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明								
3 民生費	子育て施設感染症対策費 【 P123 新型コロナウイルス 対策費 】  【 こども課 】	21,503	19,514	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として、公立保育園等における設備改修や衛生用品等の購入費及び私立保育園の感染対策への支援を行い、園内での感染防止対策を図った。</p> <p>1 保育園・幼稚園・学童クラブ感染症対策 17,514千円            ① 施設改修（WC洋式化・換気衛生対策費） 13,930千円            ② 備品購入（衛生用品・空気清浄機等） 2,135千円            ③ 需用費（衛生・消毒用品等） 1,449千円</p> <p>2 保育所運営費補助金 2,000千円            私立保育園施設の環境改善及び衛生用品の購入等に対する助成            （上限 500千円／園 補助率 100%）            [対象施設] 市内私立保育園4園</p> <p>◆ 令和3年4月より事業を開始したことによる皆増</p>								
	児童手当費 【 P125 児童手当給付事業 】  【 社会福祉課 】	488,549	473,103	485,048	△2.5%	<p>児童の健全な育成を社会全体で応援するため、中学校修了前の児童を養育している者に児童手当を支給し、子育てに係る経済的な負担を軽減した。</p> <p>[手当額（月額）]</p> <p>1 児童手当 ① 3歳未満 15千円            ② 3歳以上小学校修了前            （第1・2子） 10千円            （第3子以降） 15千円            ③ 中学生 10千円</p> <p>2 特例給付 5千円</p> <p>[給付額]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 児童手当</td> <td style="width: 50%;">2 特例給付</td> </tr> <tr> <td>給付額 : 464,155千円</td> <td>給付額 : 9,185千円</td> </tr> <tr> <td>給付者数 : 2,134人</td> <td>給付者数 : 95人</td> </tr> <tr> <td>対象児童数 : 3,468人</td> <td>対象児童数 : 158人</td> </tr> </table> <p>◆ 支給対象者の減少による減額</p>	1 児童手当	2 特例給付	給付額 : 464,155千円	給付額 : 9,185千円	給付者数 : 2,134人	給付者数 : 95人	対象児童数 : 3,468人	対象児童数 : 158人
1 児童手当	2 特例給付													
給付額 : 464,155千円	給付額 : 9,185千円													
給付者数 : 2,134人	給付者数 : 95人													
対象児童数 : 3,468人	対象児童数 : 158人													

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	児童扶養手当費 【 P125 ひとり親家庭等 支援事業 】 【 社会福祉課 】	151,567	145,966	157,004	△7.0%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>児童を養育しているひとり親家庭等に手当を支給し、その生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図った。</p> <p>[手当額(月額)] 第1子43,160円～10,180円 第2子10,190円～5,100円 第3子6,110円～3,060円</p> <p>[給付額] 145,966千円 給付者数：375人 給付対象児童数：531人</p> <p>※ 支払回数：12カ月分を年6回払いにて支出</p> <p>◆ 所得制限者増による支給額の減少</p>
	ひとり親家庭等医療費等助成事業 【 P125 ひとり親家庭等 支援事業 】 【 社会福祉課 】	23,452	21,473	9,656	+122.4%	<p>ひとり親家庭の保護者及び児童に医療費等を助成し、ひとり親家庭の福祉の増進を図った。県の制度改正に伴い、令和2年11月診療分より現物給付化及び自己負担額の見直しを実施した。</p> <p>[助成額]</p> <p>1 令和2年10月診療分までの助成額 通院：1カ月あたり、1医療機関で自己負担額1千円を超えた額 調剤：1カ月あたり、1薬局で自己負担額1千円を超えた額 入院：入院時食事療養費及び生活療養費を除く保険診療分の自己負担額</p> <p>2 令和2年11月診療分以降の助成額 自己負担分が、入院1日及び通院1回につき300円を超えた額、調剤は自己負担分の全額を助成 ※ 市民税所得割非課税世帯は、入院、通院ともに自己負担分の全額を助成</p> <p>[助成対象者数] 683人</p> <p>◆ 現物給付化による助成額及び助成対象者の増による</p>
	母子・父子自立支援給付金 【 P125 ひとり親家庭等 支援事業 】 【 社会福祉課 】	2,151	1,717	3,481	△50.7%	<p>母子家庭の母(父子家庭の父)の就業等を支援し、家庭の自立の促進を図った。</p> <p>1 自立支援教育訓練給付金 25千円(支給人数1名 介護職員初任者研修講座)</p> <p>2 高等職業訓練促進給付金 1,692千円 (支給人数2名 公認心理士・精神保健福祉士資格取得予定)</p> <p>◆ 助成対象者の申請減による</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	保育所運営委託事業 【 P125 保育所運営委託事業 】 【 こども課 】	315,069	311,175	309,326	+0.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>市内外の私立保育園及び市外の公立保育所等における運営費の一部を負担するとともに、幼児教育無償化に伴い認可外保育施設を利用した保護者の保育料を負担することで、保育の推進及び子育て環境の充実を図った。</p> <p>1 私立保育園運営委託料 271,565千円            [委託先] 私立保育園（市内4園，南房総市3園） 延べ2,463人</p> <p>2 施設型給付費負担金 12,268千円            [委託先] 公立保育園（南房総市2園） 延べ40人            公立こども園（鴨川市1園） 延べ24人            私立こども園（南房総市1園，鴨川市1園） 延べ73人</p> <p>3 施設等利用費負担金 3,670千円            [内 容] 認可外保育施設 市内11施設（静和保育園 外）            利用実人数 39人</p> <p>4 保育所運営費補助金 23,672千円            補助対象 対象保育園 補助額</p> <p>① 保育士配置改善分 聖アンデレ，館山教会附属，館山ユネスコ 14,872千円            ② 保育士処遇改善分 聖アンデレ，館山教会附属，館山ユネスコ，子育 8,800千円</p> <p>◆ 館山市への転入後も転入前の園の利用を継続したことによる負担金の増</p>
	保育士等処遇改善臨時特例補助金 【 P125 保育所運営委託事業 】 【 こども課 】	5,488	1,156	0	皆増	<p>「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士等の処遇改善のため、必要な費用を補助した。</p> <p>[対象施設] 市内私立保育園（アンデレ，教会，子育，ユネスコ）            [対象職員] 保育士，看護師，調理師，保育補助員等 計55人            [補助額] ・賃金3%程度（月額9千円）：令和4年2月～9月分            ・令和4年度公定価格減額分：令和4年4月～9月分            [対象期間] 令和4年2月～9月</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分4,323千円含む</p> <p>◆ 令和4年2月より事業を開始したことによる皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	子育て世帯生活支援特別給付金 【 P129 子育て世帯生活支援 特別給付金費 】 【 社会福祉課 】	52,350	46,350	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に伴い、低所得のひとり親世帯、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対して、給付金を支給した。</p> <p>[給付対象] 低所得のひとり親世帯、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯 [給付額] 支給対象児童1人あたり50千円 [助成実績] 給付額：46,350千円 給付者数：601人 対象児童数：927人</p> <p>◆ 国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」による皆増</p>
	子育て世帯への臨時特別給付金 【 P131 子育て世帯への 臨時特別給付金費 】 【 社会福祉課 】	531,200	528,190	0	皆増	<p>国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に伴い、0～18歳までの児童を養育する子育て世帯に対して、給付金を支給した。（ただし、児童を養育している主な生計維持者の所得が、児童手当にかかる所得制限限度額以上の場合は対象外）</p> <p>[給付対象] 0～18歳までの児童を養育する子育て世帯（一部、対象外あり） [給付額] 支給対象児童一人あたり100千円 [助成実績] 給付額：528,190千円 給付者数：3,143人 対象児童数：5,282人</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分3,000千円含む</p> <p>◆ 国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」による皆増</p>
	生活保護システム改修事業 【 P131 生活保護事務費 】 【 社会福祉課 】	12,990	12,858	0	皆増	<p>生活保護事業の既存システムを改修し、制度の効率的な運用を図る。</p> <p>1 クラウド版生活保護システム初期構築業務委託料 8,150千円 これまで庁内で管理していたシステムを、庁外データセンターでのサーバー管理とし、システム業者による効率的かつ安定的な運用を行った。</p> <p>2 健康管理支援事業システム改修委託料 4,708千円 既存システムを改修し、生活保護受給者の基本データ及び医療受診状況等を連動させ、医療・生活の両面から健康管理に対する支援を行い、医療扶助費の適正化を図った。</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	生活保護事業 【 P133 生活保護事業 】 【 社会福祉課 】	1,028,235	1,023,316	1,007,196	+1.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付と生活指導を行い、自立助長を図った。</p> <p>[支給額(世帯数・人数)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活扶助費 251,554千円(416世帯・479人) ※1</li> <li>・住宅扶助費 155,572千円(400世帯・464人) ※1</li> <li>・教育扶助費 950千円(7世帯・8人) ※1</li> <li>・医療扶助費 578,322千円(478世帯・531人) ※1</li> <li>・出産扶助費 0千円(0世帯・0人)</li> <li>・生業扶助費 1,369千円(6世帯・7人) ※1</li> <li>・葬祭扶助費 709千円(5世帯・5人) ※2</li> <li>・介護扶助費 31,388千円(133世帯・136人) ※1</li> <li>・施設事務費 3,157千円(2世帯・2人) ※2</li> <li>・就労自立給付金 295千円(6世帯・6人) ※2</li> </ul> <p>【生活保護世帯数・人数】 令和4年3月 541世帯・620人 令和3年3月 539世帯・632人 (+2世帯・▲12人)</p> <p>※1 世帯数と人数は月平均 ※2 世帯数と人数は実数</p> <p>◆ 受給者の高齢化に伴い、医療扶助・介護扶助が増加したことによる</p>
	被災住家応急修理事業 【 P133 災害救助費 】 【 建築施設課 】	25,224	24,923	620,614	△96.0%	<p>令和元年房総半島台風災害等に伴い、災害救助法に基づく被災住家の応急修理及び災害救助法の支援対象外住家に対する補助を行った。</p> <p>[支援対象] 住家の罹災の程度が、全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊 [支援金額] ① 半壊以上(上限595千円) 17,410千円(30件分) ② 一部損壊(上限300千円) 7,513千円(26件分) ※ 負担割合 国1/2 県1/2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災住家応急修理委託料 24,923千円</li> </ul> <p>◆ 事業最終年度につき工事未完了の対象者が少なかったことによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
3 民生費	被災住宅修繕緊急支援事業補助金 【 P133 災害救助費 】 【 建築施設課 】	55,900	26,816	193,862	△86.2%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>令和元年房総半島台風等による災害に伴い被災した住家のうち、罹災の程度が一部損壊の住家に対し、補助金による支援を行った。 ※ 一部(国)社会資本整備総合交付金</p> <p>[支援対象] 住家の罹災の程度が一部損壊 [支援金額] ① 応急修理による支援を受ける住家 6,230千円(45件分) 補助対象：1,500千円以上の工事 補助額：工事費のうち1,500千円を超えた額の20%(上限200千円) ② 応急修理による支援が受けられない住家 20,586千円(97件分) 補助対象：200千円以上の修理 補助額：修理費の20%を補助(上限500千円) ※ 負担割合 国0/10～5/10 県3/10～8/10 市2/10</p> <p>・ 修繕緊急支援事業補助金 26,816千円</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分9,275千円を含む</p> <p>◆ 令和2年度より対象者が少なかったことによる減</p>
4 衛生費	母子保健育児支援事業 【 P135 母子保健育児支援事業 】 【 健康課 】	4,764	1,653	992	+66.6%	<p>母子保健の推進及び安心した子育て生活のため、支援が必要とされる人に対するサポート事業を実施した。</p> <p>1 産後ケア事業(令和3年度新規事業) 出産後、家族等の支援を受けられず、かつ、心身の不調や育児不安があり、特に支援を必要とする産婦への支援を行った。 [利用者数] 3名 延6日(日帰り型) ・ 産後ケア事業委託料 108千円</p> <p>2 未熟児養育医療給付費 537千円 未熟児の生命保護・健康増進のため、出生後の入院医療費の給付を行った。 [給付者数] 2名</p> <p>3 過年度未熟児養育医療給付費国庫負担金返還金 759千円 外</p> <p>◆ 過年度未熟児養育医療給付費国庫負担金の返還が生じたことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	母子健康診査事業 【 P135 母子健康診査事業 】 【 健康課 】	29,372	25,637	27,460	△6.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>安心して出産や子育てができるように、母子保健法に基づき、妊婦・乳児一般健康診査事業を実施した。</p> <p>1 妊婦・乳児一般健康診査委託料 21,785千円 2 新生児聴覚検査委託料 512千円 3 1歳6カ月児精密健康診査委託料 3千円 4 3歳児精密健康診査委託料 121千円 外</p> <p>◆ 妊婦の減少による妊婦・乳児一般健康診査委託料の減</p>
	健康づくり推進事業 【 P137 健康づくり推進事業 】 【 健康課 】	2,889	1,942	2,230	△12.9%	<p>保健推進員の保健推進活動（母子・栄養・高齢者）の充実を図り、地域に密着した健康づくりを推進するため、以下の活動を行った。また、保健推進員としてのスキルアップを図るため、研修会等を実施した。</p> <p>1 家庭訪問による問題点の発見及び行政との連絡調整 2 各種健康診査、健康診断等の受診勧奨 3 食生活の改善に関する地区の自主活動促進</p> <p>・ 保健推進事業委託料 1,667千円 ・ 館山市保健推進協議会補助金 258千円 外</p>
	フッ化物歯面塗布事業 【 P137 歯科保健事業 】 【 健康課 】	1,386	733	809	△9.4%	<p>2歳児を対象として、フッ化物歯面塗布を行い、口腔ケアに対する保護者の意識向上を図った。</p> <p>・ フッ化物歯面塗布業務委託料 733千円 [受診者数] 206人（受診率45.4%）</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
4 衛生費	安房郡市広域市町村圏事務組合保健衛生総務費負担金 【 P137 一部事務組合事務 】 【 健康課 】	51,646	51,646	51,894	△0.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が実施する救急医療に関する保健衛生総務費を負担し、救急医療体制の確保・充実に努めた。</p> <p>1 夜間急病診療事業 13,350千円 毎夜間(19時～22時)における急病患者の初期診療を行った。 [実績・件数] 999件(うち館山市分576件)</p> <p>2 病院群輪番制病院運営事業 34,229千円 救急医療体制の二次医療機関として、土曜午後(12時～17時)、日曜休日昼間(8時～17時)及び毎夜間(17時～翌朝8時)の病院群輪番制運営事業を行った。 [実績・件数] 6,854件(うち館山市分3,668件)</p> <p>3 在宅当番医制事業 178千円 国民の休日及び日曜日における一次医療機関として、在宅当番医制事業を行った。 [実績・件数] 206件(うち館山市分60件)</p> <p>4 安房地域医療センター救急センター建設事業等補助事業 3,889千円</p>
	コミュニティ医療推進活動支援補助金 【 P137 地域医療体制推進事業 】 【 健康課 】	50,573	50,573	7,146	+607.7%	<p>地域の健康や医療体制の充実強化を図るため、ふるさと納税寄付金を原資としたコミュニティ医療推進基金を活用し、地域医療団体が実施するコミュニティ医療推進活動を支援した。</p> <p>[補助対象] 社会福祉法人太陽会 [補助事業] ① 安房医療福祉専門学校における看護師養成に対する支援 50,047千円 (コミュニティ医療推進基金充当) ② 安房医療福祉専門学校学生寮など看護学生の修学環境向上に対する支援 526千円</p> <p>◆ 原資となるふるさと納税寄附金の増による</p>
	救急医療事業運営費補助金 【 P137 地域医療体制推進事業 】 【 健康課 】	60,641	60,641	60,147	+0.8%	<p>救急医療体制の充実を図るため、二次救急医療を担う救急告示病院に対し、救急医療事業運営費の補助を行った。</p> <p>[補助対象及び補助額] 社会福祉法人太陽会 60,641千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	妊産婦応援給付金 【 P139 新型コロナウイルス 対策費 】 【 健康課 】	12,500	11,900	17,900	△33.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、通常時に比べ感染予防のための生活負担等が増える妊産婦に対し給付金を支給した。</p> <p>[対象者] 妊娠届出書を令和4年3月末日までに提出した延べ238人            [給付額] 11,900千円</p> <p>◆ 対象者数の減による</p>
	医療機関事業継続支援補助金 【 P139 新型コロナウイルス 対策費 】 【 健康課 】	18,000	18,000	0	皆増	<p>地域医療体制の基幹となる公益性を有する医療機関に対し、事業継続の安定確保を図るため、事業運営に対する支援を行った。</p> <p>[補助対象及び補助額] 社会福祉法人太陽会 18,000千円</p> <p>◆ 令和3年度だけの事業であるため</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明																																																																																
4 衛生費	生活習慣病等予防対策事業 【 P139 健康診査事業 】 【 P139 がん検診事業 】 【 P139 歯周疾患検診事業 】 【 P139 結核・肺がん検診事業 】  【 健康課 】	48,622	42,771	31,759	+34.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>生活習慣病、結核及びびがん等の早期発見・治療のため、効果的な各種検診を行った。 なお、新型コロナワクチンの接種業務を優先し、感染対策や予約制などの通常と違う環境での実施となり、受診率を維持するため、利用者負担額の軽減を行った。</p> <p>[主な検診内容] (委託料)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>対 象 者</th> <th>実施方法</th> <th>決算額 (千円)</th> <th>人数 (人)</th> <th>単価 (円)</th> <th>受診率</th> <th>公費 負担割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核・肺がん</td> <td>40歳以上の市民</td> <td>検診車で各地区を 周回して実施</td> <td>7,256</td> <td>3,954</td> <td>1,835</td> <td>12.3%</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上の市民</td> <td>集団検診方式で実施</td> <td>3,898</td> <td>799</td> <td>4,879</td> <td>2.5%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上の市民</td> <td>検体を回収するために 各地区を周回して実施</td> <td>5,621</td> <td>3,842</td> <td>1,463</td> <td>11.9%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>50歳以上の男性</td> <td>集団検診方式で実施</td> <td>1,458</td> <td>718</td> <td>2,030</td> <td>5.9%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>20歳以上の女性 (隔年受診)</td> <td>各医療機関で行う 個別検診方式で実施</td> <td>12,437</td> <td>1,653</td> <td>7,524</td> <td>14.9%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>30歳以上の女性 (隔年受診) ※ ただし40歳代 の女性は毎年実施</td> <td>各医療機関で行う 個別検診方式で実施</td> <td>6,721</td> <td>1,929</td> <td>3,050~ 5,588</td> <td>17.2%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス</td> <td>40歳以上の未検査 の市民</td> <td>集団検診方式で実施</td> <td>533</td> <td>191</td> <td>2,789</td> <td>0.8%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症</td> <td>30歳~70歳までの 5歳毎の市民</td> <td>集団検診方式で実施</td> <td>454</td> <td>295</td> <td>1,540</td> <td>12.3%</td> <td>一部</td> </tr> <tr> <td>歯周病</td> <td>40歳~70歳までの 10歳毎の市民</td> <td>各医療機関で行う 個別検診方式で実施</td> <td>170</td> <td>50</td> <td>3,400~ 4,400</td> <td>2.0%</td> <td>一部</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆ 新型コロナウイルス感染症による事業中止から再開による増</p>	名 称	対 象 者	実施方法	決算額 (千円)	人数 (人)	単価 (円)	受診率	公費 負担割合	結核・肺がん	40歳以上の市民	検診車で各地区を 周回して実施	7,256	3,954	1,835	12.3%	全額	胃がん	40歳以上の市民	集団検診方式で実施	3,898	799	4,879	2.5%	一部	大腸がん	40歳以上の市民	検体を回収するために 各地区を周回して実施	5,621	3,842	1,463	11.9%	一部	前立腺がん	50歳以上の男性	集団検診方式で実施	1,458	718	2,030	5.9%	一部	子宮頸がん	20歳以上の女性 (隔年受診)	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	12,437	1,653	7,524	14.9%	一部	乳がん	30歳以上の女性 (隔年受診) ※ ただし40歳代 の女性は毎年実施	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	6,721	1,929	3,050~ 5,588	17.2%	一部	肝炎ウイルス	40歳以上の未検査 の市民	集団検診方式で実施	533	191	2,789	0.8%	一部	骨粗しょう症	30歳~70歳までの 5歳毎の市民	集団検診方式で実施	454	295	1,540	12.3%	一部	歯周病	40歳~70歳までの 10歳毎の市民	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	170	50	3,400~ 4,400	2.0%	一部
名 称	対 象 者	実施方法	決算額 (千円)	人数 (人)	単価 (円)	受診率	公費 負担割合																																																																															
結核・肺がん	40歳以上の市民	検診車で各地区を 周回して実施	7,256	3,954	1,835	12.3%	全額																																																																															
胃がん	40歳以上の市民	集団検診方式で実施	3,898	799	4,879	2.5%	一部																																																																															
大腸がん	40歳以上の市民	検体を回収するために 各地区を周回して実施	5,621	3,842	1,463	11.9%	一部																																																																															
前立腺がん	50歳以上の男性	集団検診方式で実施	1,458	718	2,030	5.9%	一部																																																																															
子宮頸がん	20歳以上の女性 (隔年受診)	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	12,437	1,653	7,524	14.9%	一部																																																																															
乳がん	30歳以上の女性 (隔年受診) ※ ただし40歳代 の女性は毎年実施	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	6,721	1,929	3,050~ 5,588	17.2%	一部																																																																															
肝炎ウイルス	40歳以上の未検査 の市民	集団検診方式で実施	533	191	2,789	0.8%	一部																																																																															
骨粗しょう症	30歳~70歳までの 5歳毎の市民	集団検診方式で実施	454	295	1,540	12.3%	一部																																																																															
歯周病	40歳~70歳までの 10歳毎の市民	各医療機関で行う 個別検診方式で実施	170	50	3,400~ 4,400	2.0%	一部																																																																															

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明									
						◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)									
4 衛生費	予防接種事業 【 P139 予防接種事業 】 【 健康課 】	96,956	84,673	102,988	△17.8%	乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種を行った。									
						[主な予防接種内容] (委託料)									
						名称	対象者	予防効果	決算額 (千円)	人数 (人)	単価(円)	受診率	公費負担割合		
						ロタ	生後6～生後32週	ロタウイルス感染症	6,341	432	10,430 ～15,160	65.8%	全額		
						B型肝炎	12カ月未満	B型肝炎	4,282	643	6,740	97.9%	全額		
						ヒブ	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	7,700	861	9,080	98.3%	全額		
						小児用肺炎球菌	生後2～60カ月未満	細菌性髄膜炎	10,574	863	12,440	98.5%	全額		
						四種混合	生後3～90カ月未満	ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ	10,407	888	11,780	100.9%	全額		
						二種混合	11～13歳未満	ジフテリア・破傷風	1,526	297	5,130	86.8%	全額		
						BCG	12カ月未満	結核	1,681	216	7,820	98.6%	全額		
						麻しん・風しん混合	1歳児 小学校就学前1年間	麻しん・風しん	5,239	469	11,230	96.7%	全額		
						水痘	生後12～36カ月未満	水痘	4,141	441	9,470	101.1%	全額		
						日本脳炎	生後6～90カ月未満	日本脳炎	3,742	549	8,100	79.1%	全額		
							9～13歳未満 外		1,941	181	7,270	27.6%	全額		
						子宮頸がん	中学1年 ～高校1年の女子	ヒトパピローマ ウイルス感染症	5,143	304	16,900	59.3%	全額		
						高齢者 インフルエンザ	65歳以上	インフルエンザ	17,739	11,566	1,500	63.6%	一部		
						高齢者 肺炎球菌	(定期) 65～100歳の5歳刻み	高齢者の肺炎	623	386	1,500	9.7%	一部		
							(任意) 65歳以上の定期対象外		138	92	1,500	1.2%	一部		
						成人風しん	妊娠を希望する20～ 40歳代の女性と夫	先天性 風しん症候群	18	6	3,000	0.7%	一部		
成人麻しん・風しん	180	36	5,000												
風しん混合(5期)	S37.4.2～S54.4.1生れの 男性(予防接種は 抗体検査の陰性者)	(風しん抗体検査)	1,610	221	2,948 ～6,952	6.0%	全額								
		麻しん・風しん	676	54	10,406	1.5%	全額								
						◆ 日本脳炎ワクチンの供給不足及び高齢者インフルエンザの公費負担額変更による減									

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
4 衛生費	高齢者等PCR検査助成事業 【 P141 新型コロナウイルス 対策費 】 【 高齢者福祉課 】	1,200	120	340	△64.7%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大や重症化防止のため、高齢者や基礎疾患を有する 方のPCR検査費用の一部を助成した。 ・ PCR検査助成事業委託料 120千円(6件) ◆ 申請者の減による
	新型コロナウイルスワクチン接種 事業 【 P141 新型コロナウイルス ワクチン接種事業 】 【 P143 新型コロナウイルス ワクチン接種事業 (繰越明許費) 】 【 健康課 】	621,580	386,249	8,450	+4471.0%	予防接種法第6条臨時予防接種として、新型コロナウイルスワクチン接種を行った。 [主な委託事業] ・ 予防接種委託料 316,936千円 ・ コールセンター運用業務委託料 25,714千円 ・ ワクチン接種運営業務委託料 16,708千円 ・ 車両運行委託料 4,451千円 ・ 接種券作成処理業務委託料 3,747千円 ・ システム業務委託料 997千円 ※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 3,000千円を含む ◆ 令和3年2月より事業開始による増
	浄化槽設置事業補助金 【 P143 浄化槽普及事業 】 【 下水道課 】	1,600	1,400	1,600	△12.5%	生活排水による河川・海域等公共用水域の水質汚濁を防止するため、「単独処理浄化 槽」又は「くみ取り便槽」を撤去して「合併処理浄化槽」を設置する者に対し補助金を 交付し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 [補助対象] 合併処理浄化槽の設置費、単独処理浄化槽・くみ取り便槽の撤去費 [補助金額] 200千円(設置補助：150千円 撤去補助：50千円) [補助件数] 7件(単独処理浄化槽からの転換：2件 くみ取り便槽からの転換：5件)
	環境等監視業務 【 P143 環境対策事務費 】 【 環境課 】	6,725	6,725	6,426	+4.7%	市内を巡回し、違法埋立て・不法投棄・違法焼却等の公害の監視、違法(不適正)行為 者への指導を行った。また、行政対象暴力に対応する体制の強化を図った。 ・ 会計年度任用職員報酬等(環境等対策監視監：2名) 6,725千円 [活動日数] 242日 [対応件数] 土砂埋立て監視 : 1件 不法投棄物の発見・対応 : 18件 空地管理現地確認 : 60件 公害等苦情現地確認・対応 : 56件

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	水質検査等委託事業 【 P143 公害対策事業 】 【 環境課 】	1,669	1,328	1,362	△2.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市民の健康を守るとともに、快適な生活環境を保全するため、水質の調査・測定を実施し監視を行った。</p> <p>1 浸出水等水質調査 647千円 ・ 埋立地・工場跡地等の浸出水 7カ所(年1回実施)</p> <p>2 地下水水質調査 56千円 ・ クリーニング店の地下水 2カ所(年1回実施)</p> <p>3 河川水質調査 625千円(巴川・汐入川・平久里川・どんどん川) ① 公共用水域状況調査 8カ所 年2回実施 ② 最終処分場排水処理施設からの放流水 1カ所 年2回実施</p>
	住宅用省エネルギー設備設置費補助金 【 P145 地球環境対策事業 】 【 環境課 】	4,700	4,001	3,270	+22.4%	<p>住宅用省エネルギー設備を設置した者に対して補助金を交付し、地球温暖化対策を推進した。</p> <p>[補助対象] 設置者(個人) [補助金額(件数)] ① 住宅用太陽光発電設備 1,241千円(14件) (1kw当たり20千円 上限90千円) ② 定置用リチウムイオン蓄電システム 2,600千円(26件) (上限100千円) ③ 窓の断熱改修 160千円(2件) (補助対象経費の1/4 上限80千円)</p>
	環境保全団体支援事業補助金 【 P145 地球環境対策事業 】 【 環境課 】	600	461	398	+15.8%	<p>市民生活環境の向上を目指し、市民の自主的かつ継続的な活動を推進するため、自然環境に関する実践活動又は啓発活動に取組む団体に対して補助金を交付し、環境保全を推進した。</p> <p>[対象事業] 自然環境保全に関する事業、動植物の生息・生育の調査に関する事業、希少な動植物の保護に関する事業、外来種対策に関する事業及び普及啓発に関する事業</p> <p>[事業内容/2件] 1 河川と海の環境浄化活動事業 300千円 2 自然環境保全および生物の保護・調査事業 161千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明																																			
4 衛生費	安房郡市広域市町村圏事務組合火葬場運営費負担金 【 P145 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	101,496	101,496	103,776	△2.2%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>安房郡市広域市町村圏事務組合が運営する火葬場運営事業の負担金を支出し、同事業に対する応分の負担をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安房聖苑 南房総市山名345番地</li> <li>・ 長狭地区火葬場 鴨川市東町1850番地の17</li> </ul> <p>◆ 当該施設の維持補修費が減額したことに伴う構成市町負担金額の減</p>																																			
	安房郡市広域市町村圏事務組合粗大ごみ処理施設運営費負担金 【 P147 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	39,160	39,160	51,841	△24.5%	<p>安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、粗大ごみ処理施設運営に係る負担金を支出し、粗大ごみの適正処理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粗大ごみ処理施設 館山市出野尾540番地 [処理能力] 50 t / 日（構成市町が収集した粗大ごみを破碎及び圧縮処理するための施設）</li> </ul> <p>◆ 当該施設の維持補修費が減額としたことに伴う構成市町負担金額の減</p>																																			
	ごみ再資源化事業 【 P147 ごみ再資源化事業 】 【 環境課 】	172,015	168,873	169,197	△0.2%	<p>ごみの分別による可燃ごみの減量化及び資源の循環を促進するため、資源ごみの収集運搬及び処理業務等を委託し、資源ごみの分別処理を推進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託業務名</th> <th>委託業者名</th> <th>決算額</th> <th>取扱量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不燃ごみ収集運搬業務委託</td> <td>南房州リサイクル</td> <td>48,811千円</td> <td>収集量 約1,072 t</td> </tr> <tr> <td>古紙等収集運搬業務委託</td> <td>南総安房運輸㈱</td> <td>28,050千円</td> <td>収集量 約1,274 t</td> </tr> <tr> <td>プラスチック製容器包装収集運搬業務委託</td> <td>南房州リサイクル</td> <td>27,379千円</td> <td>収集量 約 313 t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル収集運搬業務委託</td> <td>南総安房運輸㈱</td> <td>18,150千円</td> <td>収集量 約 222 t</td> </tr> <tr> <td>ガラス類処理業務委託</td> <td>南石井商店</td> <td>8,544千円</td> <td>処理量 約 416 t</td> </tr> <tr> <td>プラスチック製容器包装処理業務委託</td> <td>アンビ環境㈱</td> <td>21,452千円</td> <td>処理量 約 315 t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル処理業務委託</td> <td>アンビ環境㈱</td> <td>16,079千円</td> <td>処理量 約 225 t</td> </tr> <tr> <td>分別基準適合物再商品化委託</td> <td>(公財)日本容器包装リサイクル協会</td> <td>408千円</td> <td>引渡数量 約 775 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象再資源化物 : 金属類, ガラス類, プラスチック製容器包装, ペットボトル, 古紙類, 飲料用紙パック 令和3年度再資源化量: 約2,530 t</p>	委託業務名	委託業者名	決算額	取扱量	不燃ごみ収集運搬業務委託	南房州リサイクル	48,811千円	収集量 約1,072 t	古紙等収集運搬業務委託	南総安房運輸㈱	28,050千円	収集量 約1,274 t	プラスチック製容器包装収集運搬業務委託	南房州リサイクル	27,379千円	収集量 約 313 t	ペットボトル収集運搬業務委託	南総安房運輸㈱	18,150千円	収集量 約 222 t	ガラス類処理業務委託	南石井商店	8,544千円	処理量 約 416 t	プラスチック製容器包装処理業務委託	アンビ環境㈱	21,452千円	処理量 約 315 t	ペットボトル処理業務委託	アンビ環境㈱	16,079千円	処理量 約 225 t	分別基準適合物再商品化委託	(公財)日本容器包装リサイクル協会	408千円
委託業務名	委託業者名	決算額	取扱量																																						
不燃ごみ収集運搬業務委託	南房州リサイクル	48,811千円	収集量 約1,072 t																																						
古紙等収集運搬業務委託	南総安房運輸㈱	28,050千円	収集量 約1,274 t																																						
プラスチック製容器包装収集運搬業務委託	南房州リサイクル	27,379千円	収集量 約 313 t																																						
ペットボトル収集運搬業務委託	南総安房運輸㈱	18,150千円	収集量 約 222 t																																						
ガラス類処理業務委託	南石井商店	8,544千円	処理量 約 416 t																																						
プラスチック製容器包装処理業務委託	アンビ環境㈱	21,452千円	処理量 約 315 t																																						
ペットボトル処理業務委託	アンビ環境㈱	16,079千円	処理量 約 225 t																																						
分別基準適合物再商品化委託	(公財)日本容器包装リサイクル協会	408千円	引渡数量 約 775 t																																						

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明																
4 衛生費	ごみ処理手数料事務 【 P147 ごみ処理手数料事務 】 【 環境課 】	19,758	18,361	18,796	△2.3%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) ごみ処理手数料の徴収、ごみ指定袋及び粗大ごみ処理券の交付業務を委託し、市民の利便性向上を図るとともに、ごみの減量化及び適正処理を推進した。 1 ごみ処理手数料徴収事務委託(ごみ指定袋分) 4,873千円(30円/組) 交付数：計162,440組(45L用：84,070組 30L用：51,137組 15L用：27,233組) 2 ごみ処理手数料徴収事務委託(粗大ごみ処理券分) 312千円(30円/枚) 交付数：10,403枚 3 ごみ指定袋製造業務委託 9,198千円(1箱50組) 製造数：計 3,800箱(45L用：2,150箱 30L用：1,200箱 15L用：450箱) 4 ごみ指定袋保管配送等業務委託 3,905千円 5 その他(印刷製本費：委託実績報告書等作成) 73千円																
	可燃ごみ収集運搬事業 【 P147 ごみ収集事業 】 【 環境課 】	92,136	92,136	92,136	0.0%	ごみ搬出場所に搬出されたごみの収集運搬業務を委託し、ごみの適正処理を推進した。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>委託業務名</th> <th>委託業者名</th> <th>決算額</th> <th>可燃ごみ収集量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃ごみ収集運搬業務委託(区域1)</td> <td>南総安房運輸㈱</td> <td>35,860千円</td> <td>収集量 約3,349 t</td> </tr> <tr> <td>可燃ごみ収集運搬業務委託(区域2)</td> <td>館山商事㈱</td> <td>28,776千円</td> <td>収集量 約2,954 t</td> </tr> <tr> <td>可燃ごみ収集運搬業務委託(区域3)</td> <td>㈱岡部建設</td> <td>27,500千円</td> <td>収集量 約3,141 t</td> </tr> </tbody> </table> [令和3年度可燃ごみ搬入量] 委託業者収集分 約 9,444 t その他(許可業者・自己搬入等) 約 6,911 t 計 約16,355 t	委託業務名	委託業者名	決算額	可燃ごみ収集量	可燃ごみ収集運搬業務委託(区域1)	南総安房運輸㈱	35,860千円	収集量 約3,349 t	可燃ごみ収集運搬業務委託(区域2)	館山商事㈱	28,776千円	収集量 約2,954 t	可燃ごみ収集運搬業務委託(区域3)	㈱岡部建設	27,500千円	収集量 約3,141 t
委託業務名	委託業者名	決算額	可燃ごみ収集量																			
可燃ごみ収集運搬業務委託(区域1)	南総安房運輸㈱	35,860千円	収集量 約3,349 t																			
可燃ごみ収集運搬業務委託(区域2)	館山商事㈱	28,776千円	収集量 約2,954 t																			
可燃ごみ収集運搬業務委託(区域3)	㈱岡部建設	27,500千円	収集量 約3,141 t																			
	焼却灰処理事業 【 P149 清掃センター運営事業 】 【 環境センター 】	108,400	104,282	102,274	+2.0%	清掃センターから発生する焼却灰の運搬及び処理を委託し、館山市最終処分場の延命化を図った。 ・ 焼却灰処理業務委託料 102,057千円(処理量2,733 t) ・ 環境協力負担金 2,225千円 ◆ 処理単価の増加による事業費の増																

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	清掃センター定期点検補修事業 【 P149 清掃センター運営事業 】 【 環境センター 】	131,483	121,518	174,619	△30.4%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>清掃センター(ごみ焼却施設)の各機器の点検補修を行うことにより、施設の延命化を図るとともに、安定した清掃センターの稼働に努めた。</p> <p>1 定期点検補修工事 98,120千円 2 クレーン法定点検整備工事 13,857千円 3 1号炉耐火物等緊急修繕工事 4,950千円 4 1号ガス冷却水噴霧用電動弁等更新工事 3,971千円 外</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容及び事業規模が異なることによる減</p>
	清掃センター長寿命化対策事業 【 P149 清掃センター長寿命化 対策事業 】 【 環境センター 】	150,280	150,280	8,800	+1607.7%	<p>清掃センターの延命化を図るため、循環型社会形成推進交付金を活用し、令和3年度から令和5年度までを工期とした基幹的設備改良工事を実施した。</p> <p>1 基幹的設備改良(長寿命化)工事 3,066,800千円 (内訳) 令和3年度出来高 123,000千円 令和4年度出来高予定額 1,144,000千円 令和5年度出来高予定額 1,799,800千円</p> <p>2 基幹的設備改良(長寿命化)工事施工監理業務委託 45,870千円 (内訳) 令和3年度出来高 23,760千円 令和4年度出来高予定額 11,000千円 令和5年度出来高予定額 11,100千円</p> <p>3 生活環境影響調査業務委託(令和3年単年度実施) 3,520千円</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増</p>
	最終処分場水処理施設補修事業 【 P149 最終処分場運営事業 】 【 環境センター 】	10,120	8,634	9,003	△4.1%	<p>最終処分場水処理施設の設備を補修し、浸出水を安定処理することにより、環境の保全を図った。</p> <p>・ 工業計器改修工事 8,602千円 外</p>
	過年度災害等廃棄物処理事業費補助金返還金 【 P151 災害ごみ処理費 】 【 環境課 】	393,781	393,781	0	皆増	<p>令和元年度災害等廃棄物処理事業費補助金について、令和元年度及び令和2年度に実施した事業費の確定に基づく精算に伴い返還した。</p> <p>令和元年度概算受入額 1,352,452千円 確定額 958,671千円 返還額 393,781千円</p> <p>◆ 令和元年度及び令和2年度に実施した事業の精算に伴う返還金</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
4 衛生費	ごみ指定袋無料配布事業 【 P151 新型コロナウイルス 対策費 】 【 環境課 】	5,958	5,536	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請等により「家庭ごみ」が増加したため、ごみ指定袋の無料配布を行い、家計の負担軽減を図った。</p> <p>[対 象 者] 世帯主(令和3年5月1日時点)                      [配 布 額] 1,200円分のごみ指定袋                      [引換方法] 無料引換券を取扱協力店舗で交換                      [件 数] 送付数：23,078件 交換数：22,825件 (交換率98.90%)</p> <p>1 ごみ処理手数料徴収事務委託 1,837千円(30円/組)                      交付数：計61,225組(45L用：20,390組 30L用：21,541組 15L用：19,294組)</p> <p>2 ごみ指定袋製造業務委託 3,193千円(1箱50組)                      製造数：計1,350箱(45L用：450箱 30L用：450箱 15L用：450箱)</p> <p>3 ごみ指定袋引換券発送等業務委託 484千円                      引換券、チラシデザイン、チラシ印刷、郵送仕分け等</p> <p>4 その他(消耗品費：ラベルシール等) 22千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による令和2年度からの皆増</p>
	衛生センター定期点検補修事業 【 P153 衛生センター運営事業 】 【 環境センター 】	42,642	35,379	52,152	△32.2%	<p>衛生センター(し尿等処理施設)の各機器の点検補修を行うことにより、施設の延命化を図るとともに、安定した衛生センターの稼働に努めた。(搬入量 25,041kl)</p> <p>1 遠心脱水機点検補修工事 9,855千円                      2 分離槽汚泥掻寄機修繕工事 4,257千円                      3 スクリューコンベア点検補修工事 3,421千円                      4 No. 1冷却塔交換工事 3,224千円 外</p> <p>(以下、繰越明許費)                      1 電気設備修繕工事 12,520千円</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容及び事業規模が異なることによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
4 衛生費	し尿収集運搬運営事業費補助金 【 P153 し尿収集運搬事業 】 【 環境課 】	16,721	16,231	16,865	△3.8%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) し尿収集運搬を行う事業者に対し補助金を交付し、市民の衛生的な生活環境の確保や負担軽減を図るとともに、し尿収集運搬業務の安定的かつ円滑な運営を支援した。 [補助対象] 館山市し尿収集運搬許可業者 [補助金額] 収集量10L当たり17円 令和3年度収集量 : 4,835,190L 8,220千円 収集件数1件当たり282円 令和3年度収集件数: 28,410件 8,011千円
	上水道費 【 P153 一部事務組合事務 】 【 環境課 】	272,516	253,352	239,926	+5.6%	安全で良質な水の安定供給を確保するため、三芳水道企業団に対し、構成市として応分の負担をした。 1 三芳水道企業団補助金 236,998千円(県水道料金との格差是正のための負担) 2 三芳水道企業団出資金 16,354千円(災害対策・末端水道管耐震化に対する出資) ※ 予算現額には、令和4年度への繰越分8,092千円を含む ◆ 補助金の算定基準となる令和2年度の有収水量が増加したこと等に伴う補助金額の増
6 農林水産業費	農地利用最適化推進事業 【 P155 農業委員会運営事業 】 【 農業委員会事務局 】	4,056	4,056	3,962	+2.4%	農地利用最適化推進委員により担当地区における農地等の利用の最適化を推進するため、現場活動を行った。 ・ 農業委員会農地利用最適化推進委員報酬 4,056千円 (@26,000円×13名×12カ月) [委員数] 13名/8区域 [活動内容と延活動時間] 合計 339時間 1 担い手へ農地等の利用の集積・集約化の推進活動 62時間 2 遊休農地の発生防止・解消 266時間 3 人・農地プランの実質化に向けた地元協議 11時間
	農業次世代人材投資事業資金交付金 【 P157 農業者育成事業 】 【 農水産課 】	1,500	1,500	0	皆増	青年の就農意欲喚起及び就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の若手農業者に対し支援を行う。 [給付金額] 年間1,500千円(就農後最長5年間) [給付対象者] 1名 ◆ 令和3年度新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	農業経営所得安定対策の推進 【 P157 水田農業推進事業 】 【 農水産課 】	11,075	10,331	9,105	+13.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することを目的とした「経営所得安定対策」の推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需給調整確認調査員報償金 1,485千円</li> <li>・ 農業経営所得安定対策等推進事業補助金 3,883千円</li> <li>・ 飼料用米等拡大支援事業補助金 2,279千円 外</li> </ul> <p>※ 館山市地域農業再生協議会への補助金 （参考）館山市地域農業再生協議会による申請等処理実績 対象農業世帯数：161世帯 経営所得安定対策交付金：56,737千円</p> <p>◆ 農業経営所得安定対策推進事業の国制度変更に伴う台帳システム業務委託料の増、飼料用米等拡大支援事業補助金の単価及び実施面積の増</p>
	中山間地域等直接支払制度の推進 【 P157 中山間地域等 直接支払制度事業 】 【 農水産課 】	4,294	4,090	4,101	△0.3%	<p>耕作放棄地の発生を防止し、農地の持つ多面的機能の維持を図るため、中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、協定に基づき、5年以上農業生産活動が続ける農業者に対して交付金を交付した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 集落協定（鴨田，加藤，久所，畑中，水岡，滝ノ谷，横枕及び田辺の8集落） 参加農家戸数：155戸 面積：58.7ha 交付金：3,756千円</li> <li>2 個別協定（2名の認定農業者と協定締結） 参加農家戸数：2戸 面積：3.9ha 交付金：334千円</li> </ol>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
6 農林水 産業費	有害鳥獣対策事業 【 P159 有害鳥獣対策事業 】 【 農水産課 】	58,860	46,652	50,742	△8.1%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置などについて支援し、有害鳥獣への対応を強化した。</p> <p>1 有害鳥獣対策事業委託料 11,759千円 [事業内容] 報奨金, 賠償責任保険, 捕獲機材の貸出 [捕獲実績] イノシシ1,233頭, シカ16頭, キョン79頭, ハクビシン77頭, アライグマ105頭, タヌキ367頭 外(小動物・鳥類など)</p> <p>2 有害鳥獣被害防止対策事業補助金 33,209千円 [事業内容] 農作物を鳥獣から守る防護柵設置等に係る費用支援 ① 防護柵整備補助 14,958千円(電気柵2,150m 物理柵12,700m) (整備交付金1/1) 5地区 ② 捕獲用わな購入補助 6,567千円(イノシシ用箱わな85基) (推進交付金1/2) ③ 防護柵整備(市単独)補助 1,122千円(電気柵4,177m 物理柵1,096m) (補助率1/2) 21カ所 ④ 捕獲活動支援補助 10,335千円(イノシシ1,264頭分) (定額) ⑤ 捕獲用自作わな作製資材費補助 227千円(くくりわな119基) (補助率1/2) 申請5件</p> <p>3 館山市狩猟免許取得等補助金 384千円 [事業内容] 新規わな免許及び銃猟免許取得者に対する受験経費等の費用支援 ① わな猟免許及び第一種狩猟免許取得 349千円(14件分) (内訳 わな猟免許12件, 銃猟免許2件) ② 猟銃所持許可(新規) 7千円(1件分) ③ 猟銃及び猟銃・装弾保管庫購入 28千円(1件分)</p> <p>4 館山市獣害と戦う農村集落づくり事業 500千円 [事業内容] 地域ぐるみでの有害獣被害対策を推進するため、地域による総合的な被害対策の実施に対する支援を行う。 [実施地区] 1地区(小原)</p> <p>5 鳥獣被害対策アドバイザー委託料 600千円 外</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 4,136千円含む</p> <p>◆ イノシシの捕獲頭数が見込み数(1,500頭)から大幅に減少したことによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	廃プラスチック処理対策推進事業 補助金  【 P159 園芸環境対策事業 】  【 農水産課 】	1,600	996	1,047	△4.9%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 園芸用廃プラスチック類の適正な処理及び利活用を推進するため、資源の有効利用を図る取組に対し支援を行い、農村環境の保全と園芸の振興を図った。  [補助対象] 館山市廃プラスチック対策協議会 (構成団体：13団体) [回収処理実績] 年4回(通常回収4回) 処理量：19,360kg [負担割合] ① 処理経費分(全農千葉11% 県11% 市28% 受益者50%) ② 運搬経費分(市50% 受益者50%)
	「輝け！ちばの園芸」次世代産地 整備支援事業補助金  【 P159 生産団体支援事業 】 【 P159 生産団体支援事業 (繰越明許費) 】  【 農水産課 】	4,988	4,988	3,742	+33.3%	園芸産地の生産力向上のため、認定農業者等が行う園芸生産施設の改修及び省力化機械等整備に対し支援を行った。  1 共同利用機械・施設等の整備に対する補助(補助率1/3) [補助対象] 安房農業協同組合 [総事業費] 4,532千円(補助額：1,373千円) レタス包装机・フォークリフト 2年度分：2,057千円(補助額：624千円) フォークリフト 繰越明許：2,475千円(補助額：749千円) レタス包装机  2 認定農業者等が整備する園芸生産施設等に対する補助(補助率1/4) [補助対象] 花き生産者1件 [総事業費] 8,115千円(補助額：2,028千円) パイプハウス4棟の新設  3 共同利用機械・施設等の整備に対する補助(補助率1/3) [補助対象] 館山市いちご組合 [総事業費] 2,728千円(補助額：909千円) LED防虫灯新設  4 認定農業者等が整備する園芸生産施設等に対する補助(補助率1/3) [補助対象] いちご生産者1件 [総事業費] 2,011千円(補助額：670千円) 自動換気装置・環境モニタリング装置新設  5 認定農業者等が整備する園芸生産施設等に対する補助(補助率1/4) [補助対象] セルリー生産者1件 [総事業費] 2,530千円(補助額：632千円) 発芽室新設  ◆ 令和2年度より対象事業が増加したことによる増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
6 農林水 産業費	食のまちづくり拠点施設整備事業 【 P159 食のまちづくり 推進事業（繰越明許費）】 【 P161 食のまちづくり 拠点施設整備事業】 【 食のまちづくり推進課】	57,089	30,406	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>食のまちづくりの推進のため、民間事業者が施設整備から施設の維持管理及び運営までを包括的に行うD B O方式により、食のまちづくり拠点施設の整備準備を行った。</p> <p>1 公募要項作成支援 1,983千円（繰越明許費分） 2 アドバイザリー業務委託 6,353千円 3 施設用地購入 21,259千円 4 不動産鑑定評価委託料 411千円 外</p> <p>※ 予算額には、令和4年度への繰越分 26,400千円を含む</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	地域観光資源事業 【 P161 食のまちづくり 拠点施設整備事業】 【 食のまちづくり推進課】	9,500	9,500	0	皆増	<p>食のまちづくり拠点施設の開業に向け、食を中心とした地域の観光資源を磨き上げ、産業振興を図るための実証事業を行った。</p> <p>・ 地域観光資源磨き上げ実証事業委託料 9,500千円 [事業概要] ・ 館山産ジビエを活用したジビエ料理の開発 ・ 体験農業の受入れ ・ 周遊ツールの作成と情報発信に関する人材育成 ・ 館山ブランド認定制度の設計 外</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	ジビエ加工処理施設整備運営事業 【 P161 ジビエ加工処理施設 整備事業】 【 P161 ジビエ加工処理施設 運営事業】 【 食のまちづくり推進課】	12,750	12,529	0	皆増	<p>有害鳥獣対策として捕獲されたイノシシ等の有効活用により、産業振興及び食のまちづくりの推進を図るため、民間事業者が施設整備から施設の維持管理及び運営までを包括的に行うD B O方式により、ジビエ加工処理施設の整備及び運営を行った。</p> <p>1 施設整備事業（設計・建設工事） 12,000千円 （旧）収集管理センター建屋の一部をジビエ加工処理施設に転用するための改修 2 施設運営事業（指定管理料 外） 529千円 [指定管理者] 合同会社アルコ [指定期間] 令和3年12月24日～令和18年3月31日</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	経営体育成支援事業補助金 【 P161 災害支援費(繰越明許費)】 【 農水産課 】	6,534	3,795	2,295	+65.4%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>令和元年房総半島台風等により被災した農業者に対し、千葉県の補助事業を活用し追加支援を行った。</p> <p>[対象者] 国の被災事業を活用して農業用ハウスの復旧に取り組む農業者 [補助内容] 国の補助対象とならないパイプハウスの軽微な補強・防風ネットの設置 補強：50万円未満(整備内容ごと) 防風ネット設置：上限・下限なし [補助率] 補助率：50%以内 [事業費] 14,017千円(補助額：3,795千円) [助成者数] 10人</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容及び対象者数が異なることによる増</p>
	強い農業・担い手づくり総合支援 交付金 【 P161 災害支援費(事故繰越)】 【 農水産課 】	951,306	758,183	472,637	+60.4%	<p>令和元年房総半島台風等により被災した農業用施設及び機械について、再建、修繕及び撤去の取組を支援し、農業者の早期の営農再開を図った。</p> <p>[対象施設] 農業用ハウス、果樹棚、畜舎、農業用倉庫等の施設、農業用機械 [補助率] 国 3/10以内(※)、県 2/10～4/10、市町村 2/10、農業者 3/10以内(※) ※被災施設の園芸施設共済加入の有無などにより負担割合は変動 [事業費] 1,041,918千円(補助額：758,183千円) [助成者数] 68人</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容及び対象者数が異なることによる増</p>
	農水産物販売促進支援事業補助金 【 P161 新型コロナウイルス 対策費】 【 農水産課 】	801	580	0	皆増	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、販売量や価格低下が見受けられる農漁業を支援した。</p> <p>・ 農水産物販売促進支援事業補助金 580千円(4件) [対象者] 市内農漁業団体(生産団体・生産者グループ等) [補助対象] 需要拡大及び販路拡大に要する費用 [補助額] 上限額 300千円/1件当たり(補助率 100%)</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
6 農林水 産業費	加工品開発支援事業補助金 【 P163 新型コロナウイルス 対策費 】 【 食のまちづくり推進課 】	3,440	3,377	0	皆増	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 新型コロナウイルス感染症の影響により農水産物の活用が低迷するなか、館山市産の農水産物を活用した加工品の開発等を支援し、地元産品の充実を図った。 [対 象 者] 加工品に関する事業を行う市内に拠点を有する個人・法人・団体 [補助対象] 館山市産の農水産物を活用した加工品の開発又はその改良に要する費用 [補助金額] 3,377千円(上限額500千円/1件当たり) [補助件数] 7件 ◆ 令和3年度新規事業による皆増
	農用地総合整備事業負担金 【 P163 土地改良事業 】 【 農水産課 】	50,923	50,923	51,597	△1.3%	区画整理により優良農地の整備を図った農用地総合整備事業における市と受益者の負担金を償還した。 [事業名] 安房南部区域農用地総合整備事業 [事業位置] 館山市豊房地区及び真倉地区 [事業量] 区画整理 A=119ha [事業年度] 平成13年度～平成21年度(償還予定年度：平成22年度～令和6年度) [令和3年度負担金額] 50,923千円
	県営かんがい排水事業安房中央地区負担金 【 P163 土地改良事業 】 【 農水産課 】	5,231	4,387	9,332	△53.0%	農業用の安房中央ダムは、施設の老朽化による取水機能の低下や受益地区内の用水不足、維持管理費の増加、経年変化による施設の安全性が懸念されることから、農業用水の安定供給と安全性確保のため、千葉県が実施する事業費の一部を負担し、事業の推進を図った。 [事業位置] 南房総市川谷地内 [事業主体] 千葉県 [受益面積] 974.5ha [事業内容] 管理橋補修工、土砂撤去工、調査設計 [事業年度] 平成16年度～令和3年度 [令和3年度負担金額] 4,387千円 ◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる減
	農業基盤整備促進事業補助金 【 P163 土地改良事業 】 【 農水産課 】	5,450	5,398	5,097	+5.9%	安房中央土地改良区が実施する農業用水路及びパイプライン等の維持補修工事について補助を行い、安定した農業用水の確保を図った。 [補助対象] 安房中央土地改良区 [負担割合] 国55% 県14% 市21% 土地改良区10% [事業内容] パイプライン、排水路の更新 [事業箇所] 安房中央地区 [令和3年度補助金額] 5,398千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
6 農林水 産業費	ハザードマップ調査計画作成事業 【 P163 土地改良事業 (繰越明許費) 】 【 農水産課 】	3,531	2,208	6,050	△63.5%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 防災重点ため池に指定されているため池周辺区域のハザードマップを整備することにより、災害発生時の迅速・的確な避難による被害の低減と防災意識の高揚を図った。 ・ ため池調査計画業務委託(横山堰ほか1カ所) [委託場所] 横山堰(館山市正木地内) 川民堰(館山市上真倉地内) [事業費] 2,208千円(繰越明許費分) ◆ 調査箇所数の減
	農業施設維持補修工事 【 P163 土地改良事業(事故繰越) 】 【 農水産課 】	3,995	3,995	0	皆増	農用地総合整備事業安房南部区域長田第2団地において、築造した調整池への用水路及び周辺の法定外水路の改修等を実施した。 ・ 法定外水路改修工事 [施工箇所] 西長田地内 [事業概要] 鉄筋コンクリート組立土留め L=43m 既設水路移設 L=19m [事業費] 3,995千円 ◆ 令和元年度からの繰越事業であり、令和2年度は支出がないため
	農業施設維持補修工事 【 P163 農業施設維持管理事業 】 【 農水産課 】	4,746	4,651	273	+1603.7%	農道の安全確保や排水路等の機能維持を図り、農業用施設の適正な維持管理を図った。 [事業件数] 3件 [事業内容] 農道舗装補修工事(正木地内) 外 [事業費] 4,651千円 ◆ 令和2年度より対象事業が増加したことによる増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	土地改良施設維持管理適正化事業 (平久里川防潮堰負担金)  【 P163 農業施設維持管理事業 】  【 農水産課 】	2,592	2,592	432	+500.0%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 施設の機能維持及び農業用水の安定供給を図るための平久里川防潮堰整備補修事業に対する負担金  [事業主体] 安房中央土地改良区 [事業内容] 防潮堰整備補修 [負担割合] 国30% 県30% 土地改良区20% 市20%(うち館山市72%, 南房総市28%) [令和3年度負担金額] 2,592千円  ◆ 令和2年度より対象事業が増加したことによる増
	補修修繕用材料費  【 P165 農林業施設整備 支援事業 】  【 農水産課 】	5,970	4,815	4,317	+11.5%	農道、農業用排水路等の維持管理・改修等を行う団体(集落)に対して必要な補修用資材を交付し、農林業生産基盤の整備を行った。  [申請者] 農業協力員 [地区数] 55地区 [支給資材] 生コンクリート、砕石、コンクリート2次製品 外
	小規模土地改良事業補助金  【 P165 農林業施設整備 支援事業 】  【 農水産課 】	1,167	1,081	1,249	△13.5%	令和元年房総半島台風等により被災した、農業用施設の復旧事業費へ補助を行った。  [事業主体] 安房中央土地改良区 [事業件数] 2件 [事業内容] 排水路整備工事(竹原地内) 外 [補助率] 該当事業費の1/2以内 [補助額] 1,081千円
	多面的機能支払交付金  【 P165 農地等保全管理 支援事業 】  【 農水産課 】	33,565	33,206	32,547	+2.0%	過疎化・高齢化の進行を踏まえ、集落を支える体制の強化や農村環境の保全と向上を図るため、地域ぐるみで農地や農業用水等の資源を守る共同活動の取組みを行う集落(組織)に対して支援した。  [支援対象] 活動範囲内の農地面積により交付 [負担割合] 国50% 県25% 市25% [対象地区] 16地区 [交付金額] 33,206千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	森林環境整備事業補助金 【 P165 森林管理事業 】 【 農水産課 】	468	324	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>市内民有林の健全な状況を維持し、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や林業の持続的かつ健全な発展を図るため、森林所有者等に対して補助を行った。</p> <p>[補助対象] 市内に森林を所有する者等 [対象事業] 自然災害による被害木や病虫害被害による枯損木の伐採・除去 [補助率] 事業費の1/2以内（限度額200千円） [補助額] 324千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	生産拠点漁港市場機能強化事業補助金 【 P167 漁業経営支援事業 】 【 農水産課 】	18,141	17,966	0	皆増	<p>地域の漁業生産基盤を支えるため、老朽化による損傷が著しい船形漁港の荷捌き施設の改修事業に対して補助金を交付し、市場機能の強化と共に漁獲物の衛生管理や品質管理の向上を図った。</p> <p>[事業箇所] 県営船形漁港 [建物概要] 荷さばき施設 鉄筋コンクリート2階建 建築面積1,315㎡ [事業内容] 令和3年度 実施設計委託 令和4年度～5年度 荷捌場改築工事 (仮設建築～既存施設解体～新施設整備～仮設解体)</p> <p>[補助対象者] 館山漁業協同組合 [補助率] 国2/3 県1/10 市1/20 [補助金額] 17,966千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	漁業共済事業補助金 【 P167 水産振興支援事業 】 【 農水産課 】	1,681	1,681	1,226	+37.1%	<p>災害による損失補てんを目的とする漁業共済に加入した漁業者に対し補助金を交付し、漁業経営の安定を図った。</p> <p>[交付対象] 市内3漁業協同組合（館山漁協、西岬漁協、波左間漁協） [補助率] 自己負担金（共済掛金）の10% [補助金額] 館山漁協1,236千円 西岬漁協323千円 波左間漁協122千円</p> <p>◆ 補助対象事業者が増加したことによる補助金の増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
6 農林水 産業費	水産多面的機能発揮対策事業負担金  【 P167 栽培漁業支援事業 】  【 農水産課 】	528	528	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>環境・生態系の保全として藻場の再生・保全を図り、水産業の再生・漁村の活性化を図るため、水産の資源管理に取り組む活動を行う漁業者等の団体に対して支援した。</p> <p>[事業主体] 千葉県水産多面的機能発揮対策地域協議会 [活動主体] 船形地区磯焼け対策活動組織 西岬漁業協同組合西川名グループ [補助率] 国 7.0/10 県 1.5/10 市 1.5/10 [市負担額] 528千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	稚貝放流事業補助金  【 P167 栽培漁業支援事業 】  【 農水産課 】	2,036	1,623	1,137	+42.7%	<p>市内3漁業協同組合が実施する磯根資源（さざえ、あわび）の保護・繁殖のための稚貝放流事業や藻場回復事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興と漁家経営の安定を図った。</p> <p>1 あわび種苗放流事業補助金 906千円 補助率：事業費の1/2 補助金額：館山漁協558千円 西岬漁協314千円 波左間漁協34千円</p> <p>2 東京湾漁業総合対策事業補助金（さざえ） 388千円 補助率：事業費の1/2（県3/10 市2/10） 補助金額：館山漁協234千円 西岬漁協77千円 波左間漁協77千円</p> <p>3 東京湾漁業総合対策事業補助金（藻場） 329千円 補助率：事業費の7/10（県7/10 市0） 補助金額：館山漁協21千円 西岬漁協175千円 波左間漁協133千円</p> <p>◆ 令和3年度新規事業として藻場回復事業に取り組んだことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
6 農林水 産業費	漁港管理事業 【 P167 漁港管理事業 】 【 農水産課 】	39,563	10,706	5,210	+105.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>漁船航行の安全性の確保や漁港機能の維持を図るため、漁港の泊地に堆積した土砂の撤去や海岸浸食の防止対策、既設漁港施設の老朽化などの補修工事を行った。 また、地元に対し必要な補修用資材を支給し、漁港機能の適正な維持を図った。</p> <p>1 漁港維持工事 10,223千円            ① 下原漁港機能保全工事(西防波堤) 6,540千円(前払金のみ)            ② 漂砂除去 240m<sup>3</sup>(波左間) 2,398千円            ③ 舗装補修等(栄の浦・川名・伊戸) 1,285千円</p> <p>2 漁港施設補修用材料費 483千円            ・ 標識灯, グレーチング等</p> <p>※ 予算現額には令和4年度への繰越分 28,460千円含む</p> <p>◆ 下原漁港機能保全工事(西防波堤)による増</p>
7 商工費	消費生活推進事業 【 P169 消費生活推進事業 】 【 市民協働課 】	2,772	2,573	2,286	+12.6%	<p>多様化する消費生活トラブルに対し、消費者相談業務や啓発活動を実施し、市民の安全確保や被害の未然防止に努めた。</p> <p>[相談件数] 200件(令和2年度263件 令和元年度227件)            [啓発活動(実施回数)] 振り込め詐欺防止キャンペーン(2回)            出前講座(1回)</p> <p>1 消費者対策事業委託料 300千円            随時啓発物資：くらしの豆知識 300部(配布先：相談者, 講座参加者など)            街頭啓発物資：ネットクリーナー・エコバッグ 計1,544個            (配布先：イオンタウン内)</p> <p>2 会計年度任用職員報酬 1,821千円 外</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
7 商工費	中小企業融資事業 【 P169 中小企業融資事業 】 【 雇用商工課 】	56,452	53,989	53,940	+0.1%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 中小企業の振興を図るため、館山市中小企業融資等の借入を行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給した。 1 小規模事業者経営改善資金利子補給金 3,064千円(143件分) 小規模事業者経営改善資金を受けた中小企業者に対して、3年以内を限度にその資金に対する利子の一部を補給 [利子補給率] 1.0%(令和2年4月から3年間) 2 中小企業融資保証料補給金 622千円(17件分) 館山市中小企業融資の借入を行った中小企業者に対して、3年以内を限度に保証料の一部を補給 [保証料補給率] 100%(令和2年4月から3年間) 3 中小企業融資利子補給金 303千円(34件分) 館山市中小企業融資の借入を行った中小企業者に対して、3年以内を限度に利子の一部を補給 [利子補給率] 1.0%(令和2年4月から3年間) 4 中小企業融資預託金 50,000千円 中小企業者の事業資金の融資の円滑化を図るため、市内各金融機関に預託
	商工関係団体支援事業 【 P171 商工関係団体支援事業 】 【 雇用商工課 】	8,579	8,392	8,530	△1.6%	商工業や伝統工芸品産業の振興を図るため、商工関係団体の運営や事業の支援を行った。 1 房州うちわ振興協議会補助金 150千円 国指定の伝統的工芸品である房州うちわの振興を図るため、房州うちわ振興協議会の事業に助成 2 商店会連合会補助金 1,071千円 商店会の組織強化・育成及び近代化を促進するため、館山市商店会連合会の事業に助成 3 館山たばこ販売組合補助金 100千円 「クリーンキャンペーン」「未成年者喫煙防止啓発キャンペーン」などの館山たばこ販売組合の啓発事業に助成 4 館山商工会議所補助金 7,071千円 小規模事業者の経営改善普及事業の推進、税務指導の充実等、商工業の総合的な改善発展のため、館山商工会議所の事業に助成。

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	リノベーションまちづくり推進事業  【 P171 リノベーション まちづくり推進事業 】  【 雇用商工課 】	8,090	7,990	9,314	△14.2%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>まちづくりの担い手となる人材の輩出及び遊休不動産の活用を目指し、リノベーションまちづくり事業の推進を図った。※ 一部（国）地方創生推進交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションまちづくり推進業務委託 7,990千円</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 たてやま里まちmeet up（令和3年5月開催） リノベーションまちづくり事業の経過報告会</li> <li>2 あんもかんもナイト（令和3年10月～令和4年3月）全8回開催 新たなまちづくりの担い手となる人材の輩出</li> <li>3 AKIYA LOOP（令和3年12月,令和4年3月）全2回開催 空き店舗等の活用を実践するワークショップ</li> <li>4 安房六軒高校（令和3年9月～令和4年3月）毎週火曜、木曜開催 安房地域の高校の枠を超えたまちづくり部活動</li> <li>5 たてやまマチナカ起業相談室 相談件数14件 起業のためのアドバイスをする窓口を設置</li> <li>6 リノベーションまちづくりプロモーション動画作成</li> </ol> <p>◆ 令和2年度と比べて事業内容を見直したことによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	企業誘致推進事業 【 P171 企業誘致推進事業 】 【 雇用商工課 】	9,917	8,124	3,470	+134.1%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>館山の特長を活かした館山ならではのワーケーションを推進し、将来的な移住・定住人口の増加、サテライトオフィス及び企業誘致の実現を目指した。また、企業立地及び雇用の促進に関する条例に基づき奨励金を支出し、市内経済の活性化及び雇用の確保を図った。 ※ 一部（国）地方創生推進交付金事業</p> <p>1 ワーケーション実証事業業務委託 1,485千円            ① ワーケーション体験プログラムの開発及び実施            ② 事業推進に係るキャッチコピーの考案</p> <p>2 ワーケーション推進業務委託 693千円            ① 都市部企業向けのWEB宣伝ツールの制作            ② 事業推進に係るPR動画の制作            ③ 事業推進に係るステッカー（シンボルマーク）の制作</p> <p>3 企業立地奨励金 1,751千円            [助成対象] 新設・増設分にかかる固定資産税・都市計画税収納額            [助成件数] 4社            [交付期間] 操業を開始した日の翌年の4月1日から3年間</p> <p>4 企業誘致補助金 4,192千円            [事業概要] ① テレワーク拠点施設の整備            ② 都市部企業等を対象としたモニターツアーの実施 外            [補助件数] 1社</p> <p>5 駐車場使用料 3千円</p> <p>◆ 新規の取組の実施による増</p>
	商工関係団体支援事業 【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】 【 雇用商工課 】	1,570	1,570	1,000	+57.0%	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、落ち込んだ市内経済の早期回復を図り、域内消費を喚起するため、館山市商店会連合会が主催するスタンプラリー事業への補助を行った。</p> <p>・ 商店会連合会補助金 1,570千円</p> <p>◆ コロナ禍における更なる消費喚起のため、商品の内容を充実したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	起業支援事業 【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】 【 雇用商工課 】	1,970	1,544	2,822	△45.3%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 市内産業の振興を図るため、起業する個人や法人に対し、事業を起こすために要する経費の一部に補助を行った。 また、創業支援セミナーの開催等により、起業の機運醸成を図った。 1 起業支援補助金 ① 事業所等開設経費補助 1,044千円（5件分） 補助率：補助対象経費の1/2以内 上限：240千円 ② 事業所等貸借経費補助 480千円（2件分） 補助率：月額賃借料の1/2以内 上限：20千円/月（12カ月まで） 2 謝礼金 20千円 ◆ 令和2年度と比較し、補助上限額の減及び申請件数の減（11件⇒7件）
	中小企業融資事業 【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】 【 P169 中小企業融資事業 】 【 雇用商工課 】	476,151	452,240	396,301	+14.1%	令和2年5月7日から令和3年3月31日までに実施した中小企業融資（新型コロナウイルス対策資金）の保証料及び利子を補給し、併せて返済元金の10%を助成した。 1 中小企業融資返済元金助成金 90,681千円（594件分） [助成額] 返済元金の10% 2 中小企業融資保証料補給金 16,081千円（594件分） [補給額] 全額補給 3 中小企業融資利子補給金 45,478千円（594件分） [補給額] 3年間全額補給 4 中小企業融資預託金 300,000千円 市内金融機関への預託金 ◆ 元金助成金及び利子補給金の増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	キャッシュレス決済ポイント還元 事業  【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】  【 雇用商工課 】	24,500	19,875	38,782	△48.8%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、落ち込んだ市内経済の早期回復を図り、域内消費を喚起するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業への補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金 19,875千円</li> </ul> <p>[事業主体] 館山商工会議所 [事業概要] 市内商店等(P a y P a y加盟店)でキャッシュレス決済した場合に決済金額の10%をポイント還元（上限：5千円相当） [実施期間] 令和3年9月1日～9月30日</p> <p>※ 令和2年度：2回実施 38,782千円 令和3年度：1回実施 19,875千円</p> <p>◆ 実施回数の減による減</p>
	プレミアム商品券事業  【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】  【 雇用商工課 】	65,000	63,006	59,853	+5.3%	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、落ち込んだ市内経済の早期回復を図り、域内消費を喚起するため、館山市商業協同組合が実施するプレミアム商品券事業への補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレミアム商品券支援事業補助金 63,006千円</li> </ul> <p>[事業主体] 館山市商業協同組合 [事業概要] 総額360,000千円分（プレミアム率20%）商品券発行 [販売期間] 令和3年7月19日～8月6日 [使用期間] 令和3年7月19日～11月30日 [換金期間] 令和3年7月19日～12月24日</p> <p>◆ 事務経費の皆増（令和2年度事務費なし）</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	中小企業等事業継続支援事業 【 P171 新型コロナウイルス 対策費 】  【 雇用商工課 】	98,840	98,840	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい経営状況が続く市内事業者の事業継続を支援し、地域経済の活性化を図るため支援金を給付した。                      ※ 1件当たり最大30万円を給付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業等事業継続支援給付金 98,840千円（522件分）</li> </ul> <p>1 第1弾 8,540千円（70件分）                      [申請期間] 令和3年6月7日～8月31日                      [給付要件] 令和3年1月～3月の平均売上額と、前々年同月（平成31年1月～3月）の平均売上額を比較して、20%以上50%未満減少</p> <p>2 第2弾 90,300千円（452件分）                      [申請期間] 令和3年10月20日～令和4年1月21日                      [給付要件] 令和3年4月から10月までのいずれかひと月の売上額が、令和元年又は令和2年の同月と比較して30%以上減少</p> <p>◆ 令和3年度新規事業による皆増</p>
	広域連携事業 【 P173 広域連携事業 】 【 観光みなの課 】	1,585	1,440	1,435	+0.3%	<p>広域連携による観光振興を推進するため、南房総地域の自治体等と連携し、観光プロモーション等を実施した。</p> <p>1 南房総観光連盟負担金 325千円                      観光パンフレットの作成・配布及びサイクルツーリズムに係るインフルエンサー広告やリスティング広告等を実施                      [構成団体] 安房3市1町及び観光協会</p> <p>2 宿泊・滞在型観光推進協議会負担金 1,100千円                      (株)東京湾フェリーとの連携による各種プロモーションやモニターツアー等を実施                      [構成団体] 安房3市1町及び富津市</p> <p>3 その他（負担金） 15千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
7 商工費	観光振興事業 【 P173 観光振興事業 】 【 観光みなの課 】	18,730	17,894	17,190	+4.1%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>観光客誘致のための宣伝や受入態勢の強化、着地型旅行などの推進による地域経済の活性化を図るため、民間団体等が行う事業を支援した。</p> <p>1 館山市観光協会補助金 11,138千円 （一社）館山市観光協会が実施した各種観光振興事業に対する補助</p> <p>2 館山市温泉事業組合補助金 6,584千円 館山温泉事業組合が実施した温泉の普及等に対する補助</p> <p>3 その他（負担金 外） 172千円</p>
	観光施設整備事業 【 P173 観光施設整備事業 】 【 観光みなの課 】	1,936	1,859	3,106	△40.1%	<p>那古海岸公衆トイレについて、施設利用者の利便性や快適性の向上を図るため、洋式化改修工事を行った。</p> <p>・ 那古海岸公衆トイレ洋式化工事 1,859千円 [工事箇所] 男性用1基 女性用2基</p> <p>◆ 施設整備箇所の減少による減</p>
	観光施設管理事業 【 P173 観光施設管理事業 】 【 観光みなの課 】	59,559	58,681	44,982	+30.5%	<p>来訪者が快適に観光地めぐりができるように、観光施設の維持管理、花き植栽及び清掃等により観光地の美化に努めた。</p> <p>1 建物及び備品修繕料（公衆トイレ修繕、街路灯修繕等） 2,960千円</p> <p>2 公衆トイレ清掃委託料（常設22カ所、海水浴場等仮設1カ所） 5,395千円</p> <p>3 観光地美化事業委託料 11,718千円 館山駅東口ロータリー植栽、県道南安房公園線花き植栽（坂足～相浜）</p> <p>4 海岸ごみ回収委託料 1,213千円</p> <p>5 し尿浄化槽維持管理委託料 2,954千円</p> <p>6 館山集団施設地区管理委託料（浜田・見物地区 A=7,298㎡） 3,245千円</p> <p>7 沖ノ島警備業務委託料 7,742千円</p> <p>8 沖ノ島環境保全協力金受領業務委託料 1,305千円</p> <p>9 工事請負費（沖ノ島駐車場整備、飛砂防止網設置、撤去工事請負費 外） 5,620千円</p> <p>10 会計年度任用職員報酬等（海岸清掃等） 9,711千円</p> <p>11 その他維持管理費等（消耗品、光熱水費 外） 6,818千円</p> <p>◆ 令和2年度に開設しなかった海水浴場の開設に係る施設管理費の増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	“渚の駅” たてやま施設管理事業 【 P175 渚の駅たてやま 施設管理事業 】 【 観光みなの課 】	43,282	40,052	34,186	+17.2%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） “渚の駅” たてやまの利便性を向上させるため、受付業務を指定管理事業者に委託した。また、来館者に楽しんでいただくため、渚の博物館や海辺の広場など施設の機能充実や修繕を図った。 1 会計年度任用職員報酬等 5,309千円 2 電気使用料 10,330千円 3 建物等修繕料 2,878千円 4 販売用物品費 1,993千円 5 “渚の駅” たてやま清掃委託料 5,372千円 6 “渚の駅” たてやま警備委託料 3,274千円 7 指定管理委託料（受付業務） 4,152千円 8 土地借上料 1,194千円 9 “渚の駅” たてやま壁面照射設備設置工事請負費 1,133千円 10 その他維持管理費（消耗品 外） 4,417千円 ◆ 令和2年度において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため長期間の休館があったこと等による増
	観光プロモーション事業 【 P177 観光プロモーション 事業 】 【 観光みなの課 】	3,552	3,115	1,172	+165.8%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により国内各地での観光プロモーションが例年どおり実施ができなかったが、各種メディアへの情報発信やSNSを活用した観光PRを行った。 1 パンフレット等作成委託料 2,453千円 2 その他（サーバ管理費、消耗品費 外） 662千円 ◆ コロナの影響により見送っていたパンフレット作成を再開したことによる増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	海水浴場開設事業 【 P177 海水浴場開設事業 】 【 観光みなと課 】	18,824	17,447	8,161	+113.8%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が8月2日、千葉県に発令されたことにより、市内4カ所の海水浴場を8月2日以降閉鎖し、海水浴場監視体制から来訪者の安全確保のため、海岸パトロール体制に切り替え実施した。</p> <p>海水浴場開設期間：7月22日～8月1日【11日間】 ※ 入込数 約35,400人(北条, 新井, 沖ノ島, 波左間海水浴場) 海岸パトロール：7月22日～8月22日【32日間】(通常の海水浴場開設期間中, 実施)</p> <p>1 会計年度任用職員報酬等(海水浴場監視監4名) 847千円 2 海水浴場監視船委託料 611千円 遊泳客の安全確保のため、市内漁業協同組合へ監視を委託(合計3船) ① 館山漁協(北条・新井海域/沖ノ島海域) ② 波左間漁協(波左間海域) 3 海水浴場監視委託料 13,699千円 各海水浴場に監視員を配置し安全確保に努めた。 4 遊泳区域区画整備設置委託料 649千円 4 海水浴場の遊泳区域を示すブイの設置, 撤去を市内漁業協同組合へ委託 5 監視所救護所等設置工事請負費 520千円 監視所電気配線設置及び撤去 6 その他(仮設トイレ借上料 外) 1,121千円</p> <p>◆ 令和2年度に開設しなかった海水浴場の開設に係る委託費等の増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
7 商工費	新型コロナウイルス対策費 【 P179 新型コロナウイルス 対策費 】  【 観光みなど課 】	56,274	31,004	22,325	+38.9%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>ウイズコロナ・アフターコロナでの観光需要を喚起するため、民間団体等が行う事業の支援や感染防止対策等を実施した。なお、館山海の自然環境シンポジウムは新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>1 飲食・宿泊事業者等支援事業補助金 4,199千円 [事業概要] クラウドファンディング事業(飲食・宿泊等チケット)に要したクーポン費・事務費に対する補助(クーポン率:20%) [事業実績] 支援件数252件 支援額5,542千円</p> <p>2 サイクルツーリズム推進事業補助金 3,500千円 [事業概要] 館山市観光協会が実施したレンタサイクル事業に対する補助(車両購入費・拠点機能強化費)</p> <p>3 着地型バスツアー造成補助金 555千円 [事業概要] 市内観光ツアーを造成した旅行会社等に対する補助(補助率10/10) 上限額: ツアー造成費 50千円/1車両当たり 販売促進費 250千円/1事業者当たり [事業実績] 補助金交付件数3件</p> <p>4 観光振興支援事業補助金 1,320千円 [事業概要] 民間団体が実施した観光振興に資する事業に対する補助(補助率2/3) 上限額: 50万円/1事業当たり [事業実績] 補助金交付件数3件</p> <p>5 “渚の駅”たてやま等施設設備改修費 8,098千円 [事業概要] “渚の駅”たてやま等設備の改修 [事業内容] 空調設備更新・トイレ洋式化</p> <p>6 館山市観光行事補助金 3,441千円 [事業概要] 新しい生活様式による観光行事の実施に対する補助(館山観光まつり代替事業, 南総里見まつり代替事業)</p> <p>7 宿泊事業者感染防止対策等支援事業 9,891千円 [事業概要] 宿泊事業者が実施した感染防止対策等に取り組むための経費に対する補助 補助率: 感染防止対策等に係る経費の1/2 上限額: 1施設当たり客室数等に応じ150千円~500千円を上限 [事業実績] 補助件数49件 補助額8,373千円</p> <p>◆ 新型コロナウイルス対策費の拡充による増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	市道植栽管理等維持事業 【 P181 道路等維持事業 】 【 建設課 】	36,000	34,349	29,336	+17.1%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市道内にある街路樹等の適正な植栽管理や幹線市道の路肩の草刈り作業を行い、道路環境の保全を図った。</p> <p>1 植栽管理委託料 18,324千円 館山駅西口交通広場等植栽管理業務委託 5,335千円 市道3016号線植栽管理業務委託 外4件 12,989千円</p> <p>2 除草等管理委託料 16,025千円 市道1194号線外3線除草等管理業務委託 外8件</p> <p>◆ 事業実施にかかる物価上昇による増</p>
	道路維持補修事業 【 P181 道路等維持事業 】 【 P183 道路等維持事業 (繰越明許費) 】 【 建設課 】	32,936	31,112	31,315	△0.6%	<p>市道等の適正な維持管理のため維持補修工事等を実施し、道路機能の維持を図った。また、地域ボランティアに対する支援を行い、道路環境の保全を図った。</p> <p>1 道路維持補修工事請負費 14,962千円 ① 道路舗装補修工事 4,931千円 (17件) ② 道路維持工事 4,458千円 (17件) ③ 法定外道水路補修工事 5,573千円 (19件)</p> <p>2 市道飛砂防止網設置及び撤去工事請負費 2,255千円 北条・新井, 那古・船形海岸沿線 (設置延長388m 撤去392m)</p> <p>3 補修繕用材料費 11,049千円 アスファルト合材, 砕石, 生コンクリート, 側溝蓋, クレーチング蓋, 草刈機の燃料・替刃</p> <p>(以下、繰越明許費)</p> <p>1 道路維持補修工事請負費 2,846千円 市道2116号線道路法面維持工事 (小原地内)</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	道路新設改良事業 【 P183 道路新設改良事業 】 【 P183 道路新設改良事業 (繰越明許費) 】 【 建設課 】	587,324	234,249	195,894	+19.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市道の改良等に伴う測量、調査及び設計並びに改良工事、排水整備工事、舗装補修工事等を行い、生活環境及び道路機能の向上、交通機能の確保を図った。※ 一部(国)地方創生道整備推進交付金事業</p> <p>1 市道9052号線道路整備事業(二子地内) 17,868千円 道路改良工事費・土地購入費・物件等補償費 外</p> <p>2 国道127号交差点新設事業(北条地内) 66,245千円 館山警察署前道路新設工事・市道1266号線道路改良工事・国道127号交差点新設工事</p> <p>3 道路排水整備事業 20,015千円 市道242号線道路排水整備工事(沼地内) 外4件</p> <p>4 道路舗装補修事業 18,911千円 市道7047号線道路舗装補修工事(出野尾地内) 外3件</p> <p>(以下、繰越明許費)</p> <p>1 市道9052号線道路整備事業(二子地内) 55,696千円 道路改良工事・農業用パイプライン取替工事・移設移転補償 外</p> <p>2 国道127号交差点新設事業(北条地内) 7,021千円 不動産鑑定委託料・分筆登記委託料・土地購入費</p> <p>3 長寿命化修繕事業 46,315千円 市道4040号線道路路面補修工事(見物・小沼地内)</p> <p>4 道路改良事業 2,177千円 市道7035号線道路改良事業 外</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 345,806千円含む</p> <p>◆ 新規大型事業を実施したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	橋梁整備事業 【 P183 橋梁整備事業 】 【 P185 橋梁整備事業 (繰越明許費) 】 【 建設課 】	68,505	49,578	47,677	+4.0%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>安全・円滑な交通機能確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づく補修工事、道路法に基づく定期点検を行った。※ 一部(国)道路メンテナンス事業補助</p> <p>1 設計委託料 5,500千円            ・ 戸倉橋外1橋補修設計業務委託(上真倉地内外)</p> <p>2 橋梁調査委託料 10,860千円            ① 橋梁定期点検業務委託(市内47橋) 6,600千円            ② 橋梁塗膜調査業務委託(市内15橋) 3,940千円            ③ 館山大橋電気防食点検業務委託(湊地内) 320千円</p> <p>3 橋梁整備工事請負費 28,094千円            ・ 中芝橋橋梁補修工事(湊地内)外4件</p> <p>(以下、繰越明許費)            1 橋梁整備工事請負費 5,124千円            ・ 島田橋橋梁補修工事(宮城地内)</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 18,655千円含む</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増</p>
	河川等維持事業 【 P185 河川等維持事業 】 【 建設課 】	34,100	4,576	36,769	△87.6%	<p>河川等の適正な維持管理に伴う、測量設計業務、浚渫工事、竹木伐採工事等の維持工事等を行い河川環境の改善を図った。</p> <p>1 河川等測量設計委託料 1,518千円            普通河川見物川 河川測量業務委託(見物地内) 外3件</p> <p>2 河川等整備工事費 3,058千円            普通河川茂名川 河川浚渫工事(茂名地内) 外3件</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 28,000千円を含む</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	港湾施設整備事業 【 P185 港湾施設整備事業 】 【 観光みなと課 】	31,819	25,332	7,029	+260.4%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>千葉県は、港湾整備事業に対し、事業費の一部を負担し事業の推進を図った。</p> <p>1 館山港多目的栈橋 歩道改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材価格調査(県単港湾整備) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 1,045千円</li> <li>[負担金額] 313千円 (市負担率 30.00%)</li> <li>[概要] 歩道部改修工事の資材価格調査</li> </ul> </li> <li>・ 歩道改修工事(国庫補助事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 96,000千円</li> <li>[負担金額] 18,000千円 (市負担率 18.75%)</li> <li>[概要] 老朽化した歩道部の改修工事</li> </ul> </li> <li>・ 歩道改修工事(県単港湾整備) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 2,309千円</li> <li>[負担金額] 693千円 (市負担率 30.00%)</li> <li>[概要] 老朽化した歩道部の改修工事</li> </ul> </li> </ul> <p>2 館山港多目的栈橋 道路栈橋拡幅事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材価格調査等(県単港湾整備) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 4,753千円</li> <li>[負担金額] 1,426千円 (市負担率 30.00%)</li> <li>[概要] 拡幅工事を行うために必要な資材価格調査等</li> </ul> </li> <li>・ 実施設計(国庫補助事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 8,168千円</li> <li>[負担金額] 1,376千円 (市負担率 16.85%)</li> <li>[概要] 拡幅工事を行うために必要な実施設計</li> </ul> </li> <li>・ 実施設計(県単港湾整備) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 2,327千円</li> <li>[負担金額] 698千円 (市負担率 30.00%)</li> <li>[概要] 拡幅工事を行うために必要な実施設計</li> </ul> </li> </ul> <p>3 館山港耐震岸壁 岸壁改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岸壁改良工事(国庫補助事業) <ul style="list-style-type: none"> <li>[事業費] 15,070千円</li> <li>[負担金額] 2,826千円 (市負担率 18.75%)</li> <li>[概要] 老朽化した岸壁の改良工事</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 令和2年度に比べ、県の事業費が増加したことに伴う負担金の増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
8 土木費	みなと振興事業 【 P185 みなと振興事業 】 【 観光みなと課 】	5,551	1,390	1,731	△19.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>“渚の駅”たてやま、館山夕日棧橋及び館山湾の利活用推進による観光振興・地域経済の活性化を図るため、客船等の誘致活動や受入環境の整備などを行った。 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの船舶が寄港中止となったが、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、関係各所との連絡調整等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 客船等歓迎行事委託料 907千円 [委託先] 館山市客船等歓迎委員会 [令和3年度寄港実績等]</li> <li>1 貨客船 おがさわら丸 寄港(令和3年10月15日(往路)・20日(復路))</li> <li>2 高速ジェット船 『セブンアイランド』(春の季節運航) 乗下船者 4,026人(令和4年2月1日～3月27日 55日間) [乗下船実績] 令和2年度 運航なし 令和元年度 7,513人 平成30年度 10,708人 平成29年度 8,870人</li> <li>3 官公庁船等 (一社)グローバル人材育成推進機構 帆船みらいへ 寄港(令和3年7月16日～17日)</li> <li>4 たてやま・ポートシスターズ 客船寄港歓迎セレモニー、イベント等においてPR活動を実施</li> <li>・ その他(需用費・役務費 外) 483千円</li> </ul>
	花のまちづくり事業 【 P189 花のまちづくり事業 】 【 都市計画課 】	1,933	1,692	1,000	+69.2%	<p>公共施設への花木植栽等を市民、各種団体及び行政の協働により実施し、「花のまちづくり」の推進を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公共施設への花木植栽 615千円</li> <li>2 公共施設への花苗配布 191千円</li> <li>3 園児花育事業(たねダンゴプロジェクト)の実施 338千円</li> <li>4 その他消耗品費等 548千円</li> </ol> <p>◆ 新規に園児花育事業等を実施したため</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明														
8 土木費	船形館山線道路整備事業 【 P189 都市計画道路整備事業 】 【 都市計画課 】	121,429	15,062	122,932	△87.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>道路ネットワークの整備，地域の活性化，歩行者の安全対策，災害時の避難路確保，冠水被害の解消を図ることを目的とした船形バイパスの整備を推進した。 ※ 一部（国）社会資本整備総合交付金</p> <table border="0"> <tr><td>1 用地取得事務手数料</td><td>470千円</td></tr> <tr><td>2 設計委託料</td><td>5,819千円</td></tr> <tr><td>3 不動産鑑定業務委託</td><td>88千円</td></tr> <tr><td>4 登記委託料</td><td>897千円</td></tr> <tr><td>5 土地購入費</td><td>3,038千円</td></tr> <tr><td>6 千葉県地方土地開発公社預託金</td><td>3,700千円</td></tr> <tr><td>7 その他（用地管理業務 外）</td><td>1,050千円</td></tr> </table> <p>[路線概要] 延長1,128m 幅員14m （令和3年度末時点の用地取得率：74.2%）</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 106,100千円含む</p> <p>◆ 事業の一部を令和4年度へ繰越したことによる令和3年度決算額の減</p>	1 用地取得事務手数料	470千円	2 設計委託料	5,819千円	3 不動産鑑定業務委託	88千円	4 登記委託料	897千円	5 土地購入費	3,038千円	6 千葉県地方土地開発公社預託金	3,700千円	7 その他（用地管理業務 外）	1,050千円
1 用地取得事務手数料	470千円																			
2 設計委託料	5,819千円																			
3 不動産鑑定業務委託	88千円																			
4 登記委託料	897千円																			
5 土地購入費	3,038千円																			
6 千葉県地方土地開発公社預託金	3,700千円																			
7 その他（用地管理業務 外）	1,050千円																			
	雨水排水路整備事業 【 P191 雨水排水路整備事業 】 【 P191 雨水排水路整備事業 （繰越明許費） 】 【 都市計画課 】	138,852	57,910	15,928	+263.6%	<p>大雨による住宅地の浸水や道路冠水の被害が発生する箇所において、安全・安心で快適な居住環境の整備を推進した。</p> <table border="0"> <tr><td>1 楠見1号排水路 函渠詳細設計業務委託</td><td>7,202千円</td></tr> <tr><td>（詳細設計：令和3年度 工事予定：令和4年度以降）</td><td></td></tr> <tr><td>2 北条中央排水路改良工事（第1期工事）</td><td>45,587千円</td></tr> <tr><td>（工事実施：令和3年度～令和4年度）</td><td></td></tr> <tr><td>3 移設移転補償費（水道・電気工作物）</td><td>2,096千円</td></tr> </table> <p>（以下、繰越明許費）</p> <table border="0"> <tr><td>1 楠見1号排水路 測量業務委託</td><td>3,025千円</td></tr> </table> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 80,671千円含む</p> <p>◆ 令和2年度に実施した設計業務等に基づく本工事の実施による事業費の増</p>	1 楠見1号排水路 函渠詳細設計業務委託	7,202千円	（詳細設計：令和3年度 工事予定：令和4年度以降）		2 北条中央排水路改良工事（第1期工事）	45,587千円	（工事実施：令和3年度～令和4年度）		3 移設移転補償費（水道・電気工作物）	2,096千円	1 楠見1号排水路 測量業務委託	3,025千円		
1 楠見1号排水路 函渠詳細設計業務委託	7,202千円																			
（詳細設計：令和3年度 工事予定：令和4年度以降）																				
2 北条中央排水路改良工事（第1期工事）	45,587千円																			
（工事実施：令和3年度～令和4年度）																				
3 移設移転補償費（水道・電気工作物）	2,096千円																			
1 楠見1号排水路 測量業務委託	3,025千円																			

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明												
8 土木費	雨水排水路修繕事業 【 P191 雨水排水路管理事業 】 【 都市計画課 】	13,695	12,958	7,417	+74.7%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>排水路等の適正な維持管理のため、必要な補修工事を実施し安全・安心で快適な居住環境の確保を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 那古下水路改修工事</td> <td>2,468千円</td> </tr> <tr> <td>2 湊排水路（外2）改修工事</td> <td>4,715千円</td> </tr> <tr> <td>3 那古下水路 立入り防止柵補修工事</td> <td>1,296千円</td> </tr> <tr> <td>4 楠見2号排水路 蓋交換工事</td> <td>495千円</td> </tr> <tr> <td>5 沼2号排水路 土砂撤去工事</td> <td>2,461千円</td> </tr> <tr> <td>6 その他排水路工事 11件</td> <td>1,523千円</td> </tr> </table> <p>◆ 令和2年度とは実施箇所、内容が異なることによる増</p>	1 那古下水路改修工事	2,468千円	2 湊排水路（外2）改修工事	4,715千円	3 那古下水路 立入り防止柵補修工事	1,296千円	4 楠見2号排水路 蓋交換工事	495千円	5 沼2号排水路 土砂撤去工事	2,461千円	6 その他排水路工事 11件	1,523千円
1 那古下水路改修工事	2,468千円																	
2 湊排水路（外2）改修工事	4,715千円																	
3 那古下水路 立入り防止柵補修工事	1,296千円																	
4 楠見2号排水路 蓋交換工事	495千円																	
5 沼2号排水路 土砂撤去工事	2,461千円																	
6 その他排水路工事 11件	1,523千円																	
	都市公園指定管理事業 【 P191 公園管理事業 】 【 都市計画課 】	57,317	57,317	55,603	+3.1%	<p>『第3次館山市行財政改革方針』に定めた「民間委託の推進」に基づき、民間のノウハウを活用する指定管理者制度による事業展開をしたことにより、魅力的な城山エリアの創出を図った。</p> <p>[指定管理者] 榊原緑地研究所 [事業期間] 令和元年12月1日～令和6年11月30日（5カ年） [業務内容] ① 城山公園を含む市内6園の維持管理及び運営業務 ② 中央公園の維持管理業務 [自主事業] 鯉のぼり設置・梅の実収穫体験・ジビエBBQイベント他 全23回</p> <p>◆ 指定管理者との年度協定によるため</p>												
	城山公園整備事業 【 P191 公園管理事業 】 【 都市計画課 】	3,944	3,565	355	+904.2%	<p>城山公園の園路等の整備を行い、適正な都市公園の維持管理を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 園路舗装新設工事</td> <td>1,023千円</td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト舗装</td> <td>延長L=53.6m A=148㎡</td> </tr> <tr> <td>2 北斜面安全対策工事</td> <td>2,090千円</td> </tr> <tr> <td>・ 転石防止柵設置</td> <td>延長L=62.0m</td> </tr> <tr> <td>3 その他（施設整備工事）</td> <td>452千円</td> </tr> </table> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増</p>	1 園路舗装新設工事	1,023千円	・ アスファルト舗装	延長L=53.6m A=148㎡	2 北斜面安全対策工事	2,090千円	・ 転石防止柵設置	延長L=62.0m	3 その他（施設整備工事）	452千円		
1 園路舗装新設工事	1,023千円																	
・ アスファルト舗装	延長L=53.6m A=148㎡																	
2 北斜面安全対策工事	2,090千円																	
・ 転石防止柵設置	延長L=62.0m																	
3 その他（施設整備工事）	452千円																	

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
8 土木費	都市公園設備改修費 【 P193 新型コロナウイルス 対策費 】 【 都市計画課 】	8,028	7,645	0	皆増	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 新型コロナウイルス感染防止対策を目的として、公園トイレの洋式化改修工事を実施した。 1 館山市公園トイレ改修工事 2,805千円 ・ 北条中央公園2基, 中村公園2基, 根岸公園1基 2 城山公園トイレ改修工事 4,840千円 ・ 第一駐車場トイレ2基, 山頂トイレ5基, 茶室トイレ1基 ◆ 単年度実施事業のため
	市営住宅施設修繕事業 【 P193 市営住宅運営事業 】 【 建築施設課 】	4,972	3,575	39,171	△90.9%	市営住宅の適正な運営のため、「館山市営住宅長寿命化計画」に基づき施設の改修及び修繕工事を行った。 1 那古住宅大規模改修事業(長寿命化型) ・ 令和3年度実施 設計業務委託 2,167千円 ・ 令和4年度予定 1号棟大規模改修工事 ・ 令和5年度予定 2号棟大規模改修工事 2 真倉市営住宅給水ポンプ修繕工事 1,408千円 ◆ 令和2年度で船形漁民住宅の大規模改修工事(長寿命化型)が完了したことによる減
	空家対策事業 【 P195 空家対策事業 】 【 建築施設課 】	3,482	2,628	7,175	△63.4%	空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、適切な管理が行われていない空家の所有者に対し、行政指導等を実施し、危険な空家の除去を推進した。 1 会計年度職員報酬等 1,350千円 2 空家管理システム追加データ導入委託料 1,287千円 外 ◆ 令和2年度は略式代執行による除却工事を行ったため
9 消防費	安房郡市広域市町村圏事務組合常備消防費負担金 【 P195 一部事務組合事務 】 【 危機管理課 】	863,915	862,507	889,438	△3.0%	安房郡市広域市町村圏事務組合が担う常備消防の施設整備や運営等の経費に対する市町負担金を負担し、常備消防の円滑な運営を図った。 市町割・人口割・職員数割の負担金(人件費 外) 816,824千円 特別負担金(地方債償還負担金 外) 45,683千円 ◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
9 消防費	消防団活動事業 【 P197 消防団事業 】 【 危機管理課 】	37,637	31,263	29,552	+5.8%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>火災や風水害などの災害から市民の生命・身体・財産を守る消防団員に対し、消防団条例に基づく報酬並びに消防操法訓練の実施及び火災出動等に対する費用弁償を支給するとともに、消防団活動に必要な被服等を支給した。</p> <p>1 消防団員報酬 13,871千円 2 費用弁償（訓練、災害警戒、捜索、夜警等） 12,068千円 3 被服等購入費（活動服、防火服、帽子、編上長靴等） 5,324千円</p> <p>◆ 令和2年度とは出動回数や購入物品、数量が異なることによる増</p>
	消防機材整備事業 【 P197 消防機材整備事業】 【 危機管理課 】	5,322	5,322	24,277	△78.1%	<p>消防団が使用する各種資機材を整備し、消防力の充実・強化を図った。</p> <p>・ 機械器具費（消防用ホース、吸管、車載型デジタル簡易無線機、組立式水槽）</p> <p>◆ 令和2年度とは購入物品や数量が異なることによる減</p>
	防火水槽整備事業 【 P197 消防施設整備事業 】 【 危機管理課 】	19,551	19,285	0	皆増	<p>消防水利の拡充や安全性・耐震性を高めるため、防火水槽の新設や修繕等を行い、消防力の充実及び強化を図った。</p> <p>1 防火水槽整備工事 19,071千円 ① 新設1カ所（正木地区） ② 蓋掛3カ所（大戸地区、布沼地区、竹原地区）</p> <p>2 登記委託料 215千円</p> <p>◆ 令和2年度は未実施であることによる皆増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	特別支援教育体制推進事業 【 P201 学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	31,281	27,549	34,657	△20.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>特別な支援が必要な幼児、児童生徒の学習支援及び日常生活上の介助を行うため、小中学校等に特別支援教育学習支援員の配置及び各学校、幼稚園、こども園を巡回し、特別支援学級担任等に助言を行うための支援員を配置した。</p> <p>[支援内容] 1 支援が必要な児童等に対する学習支援 2 特別な支援が必要な児童等に対する健康・安全確保の支援 3 運動会等、学校行事における支援 4 周囲の児童等の障害理解の促進</p> <p>[特別支援教育学習支援員] 37人(小学校27人, 中学校7人, 幼稚園3人) 会計年度任用職員報酬等 27,549千円</p> <p>◆ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校に伴い、夏季期間における授業実施など支援員の配置時間等の増加があったことによる。</p>
	教育支援センター運営事業 【 P201 学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	3,195	3,195	3,247	△1.6%	<p>小中学校において不登校の児童生徒の学校復帰を支援するため、学習支援や生活支援を行う教育支援センターを運営した。</p> <p>[通級実績] 登録者数15人(中学生9人, 小学生6人) 年間延べ通級人数 606人 [特別支援教育学習支援員] 2人</p> <p>・会計年度任用職員報酬等 3,195千円</p>
	学力向上推進事業 【 P201 学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	1,809	1,395	745	+87.2%	<p>児童生徒の学力向上を目的として、中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会等で指導・助言を行い小中一貫教育の推進を図るとともに、小学生の英語力定着のため、英語指導を担当するコーディネーターを配置した。</p> <p>1 小中一貫教育推進コーディネーター 2名(第一中学校区・館山中学校区) 2 英語教育指導推進コーディネーター 1名(全小学校)</p> <p>・会計年度任用職員報酬等 1,395千円</p> <p>◆ 英語教育指導推進コーディネーターを新規配置したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
10 教育費	小中学校体育振興事業 【 P201 学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	7,480	2,764	3,025	△8.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>児童生徒の体力づくりや運動能力の向上など、学校体育・部活動の振興を目的に、館山市小中学校体育振興会に事業を委託し、体育実技のレベルアップと児童生徒の体力向上を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 館山市小学校体操教室・陸上競技大会（感染症拡大防止のため中止）</li> <li>2 千葉県中学校総合体育大会参加費（登録選手 198人 引率教員 41人）</li> <li>3 千葉県中学校新人体育大会参加費（登録選手 29人 引率教員 4人） （感染症拡大防止のため一部中止）</li> <li>4 千葉県小中学校体育連盟安房支部負担金</li> </ol> <p>・小中学校体育振興委託料 2,764千円</p>
	I C T支援員業務委託事業 【 P201 学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	22,253	21,780	0	皆増	<p>児童生徒への1人1台タブレット端末を活用したI C T教育の推進及び教職員の業務負担軽減を図るため、各学校に支援員を配置した。</p> <p>[業務内容] ・環境整備（機器に関する各種設定作業、日常メンテナンス支援） ・授業支援、授業計画の作成支援 等</p> <p>[I C T支援員] 4名（市内小中学校を週1～2回程度巡回支援）</p> <p>・I C T支援員派遣業務委託料 21,780千円</p> <p>◆ 新規事業の実施による皆増</p>
	いじめ相談室設置事業 【 P203 学校教育事務費 】 【 教育総務課 】	2,342	2,127	2,204	△3.5%	<p>いじめ相談室に「いじめ問題アドバイザー」を配置し、市内小中学生のいじめに関する電話相談に対応することにより、いじめの早期発見・早期解決を図った。</p> <p>・会計年度任用職員報酬等 2,127千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	新型コロナウイルス感染症対策事業 【 P203 新型コロナウイルス 対策費 】 【 P205 小学校運営事業 】 【 P209 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	24,217	21,913	39,744	△44.9%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策及び家庭学習支援対策を実施した。 1 会計年度任用職員報酬 1,499千円(学校施設消毒員・学校保健支援員) 2 消耗品・備品類購入費 17,558千円 ① 衛生用品(消耗品費) 4,949千円(パーテーション器材・薬品・手袋等) ② ICT機器(消耗品費) 11,075千円(タブレット充電器・Wi-Fiルーター等) (庁用器具費) 1,534千円(大型モニター・出退勤管理システム) 3 修学旅行等キャンセル費用負担金 715千円(市内2校) 4 自動車等借上料 1,160千円(分散登校実施時の車両追加費等) 外 ◆ 学校施設のトイレ清掃委託費の減
	スクールバス運行事業 【 P205 小学校運営事業 】 【 P209 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	11,521	11,149	11,051	+0.9%	遠距離通学の児童生徒に対する支援として、房南小学区及び館山中学校区においてスクールバスを運行した。 [運行台数] 4台 1 房南小学校 1台(布良・相浜・大神宮・竜岡・中里・犬石の一部) 2 館山中学校・豊房小学校 3台(館野地区の一部,九重地区)(神余・畑地区)(西岬地区の下校時のみ) [使用範囲] 1 通常運行 登下校運行 2 臨時運行 各中学校における部活動の各種大会への参加 3 校外学習 小中学校の学習活動 ・スクールバス運行委託料 (通常運行10,670千円/臨時運行277千円/校外学習202千円)
	定期健康診断委託事業 【 P205 小学校運営事業 】 【 P209 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	4,318	3,798	3,838	△1.0%	児童生徒及び職員の健康の維持・増進を図るため、各学校で定期健康診断を行った。 [小学校] 2,858千円 [中学校] 940千円 [検査項目] ・3Dスコリオ検診(小学5年生) ・心電図(小学1,6年生) ・低線量X線検診(3Dスコリオ検診の有所見者) ・尿検査(全員) ・胃部X線(40歳以上の教職員) ・教職員定期健診(35歳以上の教職員)

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	生活習慣病予防検診委託事業 【 P205 小学校運営事業 】 【 P209 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	2,097	1,871	1,919	△2.5%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 小学5年生及び中学2年生を対象に検診を実施し、アフターケアを通じて生活習慣病の予防に努めた。 [検査項目] 脂質・肝機能・貧血・糖代謝 [検査対象] 小学5年生 295人 中学2年生 297人
	遠距離通学児童生徒通学費補助金 【 P205 小学校運営事業 】 【 P209 中学校運営事業 】 【 教育総務課 】	4,573	4,546	2,602	+74.7%	遠距離通学の児童生徒に通学費を補助し、保護者負担軽減を図った。 [補助対象者] 小学校2km以遠又は中学校4km以遠から通学する児童生徒 ※ 学区外通学者除く 1 小学校 2,556千円（登下校に要する路線バス運賃の補助） ① 館山小：58名 ② 西岬小：29名 ③ 房南小：10名 2 中学校 1,990千円 ① 登下校に要する自転車の維持管理費 館山中：3名 ※ 重複してスクールバスの乗車はできない ② 登校に要する路線バス運賃の額 館山中：28名 (西岬地区) ③ 休業期間中の登下校に要する路線バス運賃の額 館山中：68名 (神余・畑地区) (西岬地区) (館野地区の一部, 九重地区) ◆ バス事業者との協議により、令和3年度から通学定期券を導入したことによる増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	学校等施設管理事業 【 P205 小学校施設管理事業 】 【 P211 中学校施設管理事業 】 【 P217 公立幼稚園施設 管理事業 】 【 建築施設課 】	93,888	74,765	37,605	+98.8%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 小学校、中学校及び幼稚園の建物及び工作物の修繕、施設整備、施設改修を行った。 [小学校] 59,146千円 1 修繕料 建物、電気機械設備などの修繕 2 施設整備工事請負費 プール解体工事(船形小学校) 落石防護工事(那古小学校) 3 施設改修工事請負費 防災設備改修工事 外 [中学校] 13,056千円 1 修繕料 建物、電気機械設備などの修繕 2 施設改修工事請負費 照明設備改修工事(第一中学校) 外 [幼稚園] 2,563千円 1 園舎木製建具塗装工事(北条幼稚園) 2 園舎屋上笠木防水工事(那古幼稚園) ※ 予算現額には、令和4年度への繰越分3,491千円を含む ◆ 令和2年度とは事業実施箇所及び内容が異なることによる増
	新型コロナウイルス対策費事業 【 P207 新型コロナウイルス 対策費(繰越明許費) 】 【 P211 新型コロナウイルス 対策費(繰越明許費) 】 【 建築施設課 】	26,106	22,340	0	皆増	新型コロナウイルス対策費に係る整備改修を行った。 [小学校] ・ 遮熱フィルム貼り工事 15,119千円(繰越明許費) (船形小・那古小・北条小・館山小・西岬小・房南小・豊房小・館野小) [中学校] ・ 遮熱フィルム貼り工事 7,221千円(繰越明許費) (第一中・館山中・房南中) ◆ 令和2年度からの繰越事業であり、令和2年度では支出がなかったため。
	要保護及び準要保護児童生徒援助 事業 【 P207 小学校教育振興 管理事業 】 【 P211 中学校教育振興 管理事業 】 【 教育総務課 】	22,299	19,370	20,366	△4.9%	経済的な理由により就学困難な児童生徒に対し、義務教育が円滑に受けられるよう必要 な援助を行った。 [対象経費] 学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・新入学学用品費等 通学費・医療費・学校給食費・体育実技用具費(中学校のみ) [認 定 者] 小学校 162人 中学校 102人 (令和4年3月末日時点) [支 給 額] 小学校 10,101千円 中学校 9,269千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	特別支援教育就学奨励事業 【 P207 小学校教育振興 管理事業 】 【 P211 中学校教育振興 管理事業 】 【 教育総務課 】	8,634	5,937	3,118	+90.4%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学に必要な経費の一部を補助し、特別支援教育の普及奨励を図った。</p> <p>[対象経費] 学用品等購入費・新入学学用品費等・修学旅行費・通学費 校外活動等参加費・学校給食費・交流及び共同学習交通費 職場実習交通費（中学校のみ）・体育実技用具費（中学校のみ）</p> <p>[支給対象者] 小学校 157人 中学校 36人 （令和4年3月末日時点） [支給額] 小学校 4,283千円 中学校 1,654千円</p> <p>◆ 令和2年度は、房総半島台風の影響による簡易給食の提供等で給食費の支給が低額となったことによる。</p>
	児童生徒心理検査事業 【 P207 小学校教育振興事業 】 【 P213 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	1,823	1,780	1,823	△2.4%	<p>児童生徒を対象とした心理テスト（hyper-QU）を小中学校で実施し、客観的・多面的な診断結果によって、いじめの早期発見や学級状態の現状把握及び問題点の改善を図った。</p> <p>[実施対象] 小学校（4～6年生）918千円 中学校（全年）862千円 [実施回数] 年2回</p> <p>・アンケート調査委託料 1,780千円</p>
	国際理解教育推進事業 【 P207 小学校教育振興事業 】 【 P213 中学校教育振興事業 】 【 教育総務課 】	15,895	15,895	17,298	△8.1%	<p>民間委託による外国語指導講師を小中学校に配置し、児童生徒の英語力向上や教員の指導力向上及び負担軽減を図った。</p> <p>・英語指導講師業務委託料 15,895千円 小学校 3～6年生 9,537千円（配置人数3人） 中学校 1～3年生 6,358千円（配置人数2人）</p> <p>◆ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校に伴い、夏季期間における授業実施など講師の配置時間等が増加したことによる。</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	学校施設環境改善事業 【 P209 小学校施設環境改善事業 (繰越明許費) 】 【 P213 中学校施設環境改善事業 (繰越明許費) 】 【 建築施設課 】	186,871	127,097	52,195	+143.5%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 老朽化した学校施設トイレ改修及び校舎に設置された非構造部材の耐震対策を行った。  1 学校施設トイレ改修事業 (繰越明許費) 119,365千円 [事業対象] 那古小学校, 西岬小学校, 第一中学校 [事業概要] 男女別区分け, 洋式化, 乾式化, 給排水管改修等 2 非構造部材耐震対策事業 (繰越明許費) 7,732千円 [事業対象] 那古小学校校舎 [事業概要] ガラスブロック改修工事等  ◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増
	館山中学校整備事業 【 P213 館山中学校整備事業 】 【 P213 館山中学校整備事業 (繰越明許費) 】 【 建築施設課 】	155,861	154,035	34,313	+348.9%	館山中学校新校舎等建設に伴う、整備改修を行った。  [主な改修内容] 1 旧第三中学校校舎等施設解体工事等 133,749千円 2 工事監理委託料, 不動産等調査委託料 3,883千円 3 空調機移設工事(旧第三中学校からの移設) 16,403千円(繰越明許費)  ◆ 校舎等施設解体工事の実施に伴う増
	預かり保育運営事業 【 P217 預かり保育運営事業 】 【 こども課 】	17,343	14,839	13,192	+12.5%	幼稚園における教育時間の開始前や終了後、また夏休みなどの幼稚園休業日に預かり保育を実施することで、子育て環境の充実を図った。  [実 施 園] 館山市立北条幼稚園 [利用状況] 延べ682人  ・会計年度任用職員報酬等 13,084千円 ・消耗品費外 1,755千円  ◆ 正職員の追加雇用及び会計年度職員の勤務日数の増による
	幼稚園空調機整備事業 【 P217 預かり保育運営事業 】 【 こども課 】	1,300	1,107	0	皆増	令和4年度から那古幼稚園において実施する預かり保育事業を行う保育室について、新たに空調機を設置し、園内での感染防止対策を図った。  那古幼稚園空調機設置工事 [施工箇所] 那古幼稚園保育室 54㎡ [工事概要] 天吊り型空調機1台設置  ◆ 新規事業による皆増

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	子育て施設感染症対策費 【 P217 新型コロナウイルス 対策費 】 【 こども課 】	2,736	2,436	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として、幼稚園における設備改修や衛生用品等の購入を行い、園内での感染防止対策を図った。</p> <p>1 消耗品費（衛生・消毒用品等） 1,872千円 2 施設改修（網戸設置等） 304千円 3 備品購入（空気清浄機） 260千円</p> <p>◆ 新規事業による皆増</p>
	施設等利用費負担金 【 P217 幼稚園教育振興事業 】 【 こども課 】	26,780	26,700	19,975	+33.7%	<p>1 幼児教育無償化の新制度に移行しない私立幼稚園利用者の利用料等を負担することで、幼児教育の増進を図った。</p> <p>[対象施設] 館山白百合幼稚園ほか [負担内容] 保育料等 89人 22,728千円 預かり保育 27人 959千円 副食費 13人 693千円</p> <p>◆ 利用者の増加による増</p> <p>2 国が実施する「地域子ども・子育て支援事業」について、「多様な集団活動事業の利用支援事業」の追加に伴い、対象施設の利用者に対し利用料の一部を負担した。</p> <p>[対象施設] 森のようちえんはっぴー（南房総市） [利用児童数] 10人（館山市在住） [負担額] 児童1人当たり月額20千円×12カ月</p> <p>◆ 令和3年4月から事業を開始したことによる皆増</p>
	放課後子ども教室推進事業 【 P219 放課後子ども教室 運営事業 】 【 生涯学習課 】	5,438	3,227	3,218	+0.3%	<p>放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域住民の参画を得て、勉強や体験活動、地域住民との交流活動等を実施し、子どもたちの安全安心な居場所づくりを推進した。</p> <p>なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施期間は4カ月間となった。</p> <p>[開催教室数] 10教室（市内全小学校） [参加児童] 令和3年度 延べ1,946人</p> <p>・ 会計年度任用職員報酬等1,761千円 ・ 子ども教室委託料1,041千円 外</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
10 教育費	児童遊園管理事業 【 P219 児童遊園管理事業 】 【 生涯学習課 】	2,682	1,297	268	+384.0%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市内18カ所に設置している児童遊園の維持管理に努め、児童の健全で安全な遊び場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上仲町児童遊園フェンス修繕工事 583千円</li> <li>・ 南条児童遊園遊具撤去工事・遊具購入 593千円</li> <li>・ その他(修繕料, 原材料費など) 121千円</li> </ul> <p>◆ 通常の維持補修のほか、フェンスの修繕及び遊具の撤去・購入を実施したため。</p>
	地区花壇運営事業 【 P221 地区花壇運営事業 】 【 生涯学習課 】	1,291	1,279	991	+29.1%	<p>地域ボランティア団体(町内会・老人会・コミュニティ委員会等)の参画によって、市内28カ所の地区花壇に花苗を植栽し、花のある美しいまちづくり及びそれに係る人づくりを推進した。</p> <p>[実施状況] 春・秋の年2回配布 (団体数: 25団体 花壇数: 28カ所)            春: ポーチュラカ苗・マリーゴールド苗 5,500株 外            秋: ポピー苗・パンジー苗 5,145株 外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花苗購入費 1,036千円 外</li> </ul>
	青少年相談員連絡協議会補助金 【 P221 青少年健全育成事業 】 【 生涯学習課 】	1,221	550	694	△20.7%	<p>青少年健全育成の推進のため、青少年相談員活動に対する補助を行い、親子写生大会・市内一斉パトロール・館山キッズフェスタ等各種レクリエーションが計画されていたが、多くの事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 館山市青少年相談員連絡協議会主催事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生絵画コンクール (応募作品数: 223作品)</li> <li>・ 市内一斉パトロール (緊急事態宣言発令のため中止)</li> <li>・ 第6回キッズフェスタ (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止)</li> </ul> </li> <li>2 各地区活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区青少年相談員活動費 292千円 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による事業縮小)</li> </ul> </li> </ol>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明																																	
10 教育費	地区公民館運営事業 【 P221 地区公民館運営事業 】 【 中央公民館 】	24,233	20,526	20,902	△1.8%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>市内10カ所の地区公民館の適正な管理運営を図り、利用者へのサービス向上、市民の社会教育活動の推進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、利用人数の制限やマスク着用、手指消毒の徹底等の対策を講じた。</p> <p>[利用状況]</p> <table border="0"> <tr> <td>館山地区公民館</td> <td>411件</td> <td>5,192人</td> </tr> <tr> <td>那古地区公民館</td> <td>246件</td> <td>2,304人</td> </tr> <tr> <td>船形地区公民館</td> <td>211件</td> <td>1,120人</td> </tr> <tr> <td>西岬地区公民館</td> <td>102件</td> <td>954人</td> </tr> <tr> <td>西岬地区公民館分館</td> <td>63件</td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>神戸地区公民館</td> <td>321件</td> <td>2,939人</td> </tr> <tr> <td>富崎地区公民館</td> <td>63件</td> <td>779人</td> </tr> <tr> <td>豊房地区公民館</td> <td>430件</td> <td>3,263人</td> </tr> <tr> <td>館野地区公民館</td> <td>322件</td> <td>3,520人</td> </tr> <tr> <td>九重地区公民館</td> <td>782件</td> <td>7,445人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,951件</td> <td>28,046人</td> </tr> </table> <p>[施設管理]（会計年度任用職員報酬等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区公民館館長・副館長・書記 12,879千円 外</li> </ul>	館山地区公民館	411件	5,192人	那古地区公民館	246件	2,304人	船形地区公民館	211件	1,120人	西岬地区公民館	102件	954人	西岬地区公民館分館	63件	530人	神戸地区公民館	321件	2,939人	富崎地区公民館	63件	779人	豊房地区公民館	430件	3,263人	館野地区公民館	322件	3,520人	九重地区公民館	782件	7,445人	合 計	2,951件	28,046人
館山地区公民館	411件	5,192人																																					
那古地区公民館	246件	2,304人																																					
船形地区公民館	211件	1,120人																																					
西岬地区公民館	102件	954人																																					
西岬地区公民館分館	63件	530人																																					
神戸地区公民館	321件	2,939人																																					
富崎地区公民館	63件	779人																																					
豊房地区公民館	430件	3,263人																																					
館野地区公民館	322件	3,520人																																					
九重地区公民館	782件	7,445人																																					
合 計	2,951件	28,046人																																					

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明																																																																																											
10 教育費	生涯学習講座事業 【 P223 公民館講座等事業 】 【 中央公民館 】	8,282	6,751	6,293	+7.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>いつでも、どこでも、だれでも楽しく学習し、成果が社会に活かされる生涯学習の拠点として、また、施設利用者同士が交流を図る場となるよう市民を対象とした各種事業を実施し、生涯学習の推進を図った。</p> <p>1 中央公民館生涯学習講座事業(講師謝礼 84千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>① 成人対象事業</td> <td>2講座</td> <td>5回</td> <td>延べ参加者</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>② 家庭教育事業</td> <td>2講座</td> <td>10回</td> <td>延べ参加者</td> <td>431人</td> </tr> <tr> <td>③ 家庭教育学級</td> <td>7学級</td> <td>12回</td> <td>延べ参加者</td> <td>185人</td> </tr> <tr> <td>④ 青少年対象事業</td> <td>2講座</td> <td>13回</td> <td>延べ参加者</td> <td>90人</td> </tr> </table> <p>2 地区公民館生涯学習講座事業(講師謝礼 646千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>① 館山地区公民館</td> <td>8講座</td> <td>26回</td> <td>延べ参加者</td> <td>290人</td> </tr> <tr> <td>② 北条地区公民館</td> <td>3講座</td> <td>15回</td> <td>延べ参加者</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>③ 那古地区公民館</td> <td>9講座</td> <td>19回</td> <td>延べ参加者</td> <td>229人</td> </tr> <tr> <td>④ 船形地区公民館</td> <td>4講座</td> <td>5回</td> <td>延べ参加者</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 西岬地区公民館</td> <td>6講座</td> <td>12回</td> <td>延べ参加者</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 神戸地区公民館</td> <td>1講座</td> <td>4回</td> <td>延べ参加者</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>⑦ 富崎地区公民館</td> <td>4講座</td> <td>8回</td> <td>延べ参加者</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>⑧ 豊房地区公民館</td> <td>6講座</td> <td>7回</td> <td>延べ参加者</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>⑨ 館野地区公民館</td> <td>12講座</td> <td>17回</td> <td>延べ参加者</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>⑩ 九重地区公民館</td> <td>14講座</td> <td>29回</td> <td>延べ参加者</td> <td>218人</td> </tr> </table> <p>【 総 合 計 】 73講座 182回 延べ参加者 2,191人 7学級</p> <p>3 総合事業</p> <table border="0"> <tr> <td>① サークルフェスティバルの開催</td> <td>委託料(ふれあい誌、ポスター等印刷)</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>② 成人式の開催</td> <td>事業費(講師謝礼、印刷製本費、会場借上料外)</td> <td>449千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[開催日]</td> <td>令和4年1月9日(日)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[会場]</td> <td>千葉県南総文化ホール(大ホール)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[参加者数]</td> <td>対象者 421人 出席者 324人 出席率 77.0%</td> </tr> </table> <p>4 会計年度任用職員報酬等 5,368千円 家庭教育に関する相談や指導、家庭教育学級の企画運営及び学習内容について指導助言を行う。(菜の花ホールにおいては、利用者受付、施設管理等の業務も含む。)</p> <table border="0"> <tr> <td>① 社会教育指導員</td> <td>4,010千円/年</td> <td>3名(中央公民館1名、菜の花ホール2名)</td> </tr> <tr> <td>② 家庭教育指導員</td> <td>1,358千円/年</td> <td>1名(中央公民館1名)</td> </tr> </table>	① 成人対象事業	2講座	5回	延べ参加者	110人	② 家庭教育事業	2講座	10回	延べ参加者	431人	③ 家庭教育学級	7学級	12回	延べ参加者	185人	④ 青少年対象事業	2講座	13回	延べ参加者	90人	① 館山地区公民館	8講座	26回	延べ参加者	290人	② 北条地区公民館	3講座	15回	延べ参加者	149人	③ 那古地区公民館	9講座	19回	延べ参加者	229人	④ 船形地区公民館	4講座	5回	延べ参加者	63人	⑤ 西岬地区公民館	6講座	12回	延べ参加者	68人	⑥ 神戸地区公民館	1講座	4回	延べ参加者	25人	⑦ 富崎地区公民館	4講座	8回	延べ参加者	69人	⑧ 豊房地区公民館	6講座	7回	延べ参加者	81人	⑨ 館野地区公民館	12講座	17回	延べ参加者	183人	⑩ 九重地区公民館	14講座	29回	延べ参加者	218人	① サークルフェスティバルの開催	委託料(ふれあい誌、ポスター等印刷)	100千円	② 成人式の開催	事業費(講師謝礼、印刷製本費、会場借上料外)	449千円	[開催日]		令和4年1月9日(日)	[会場]		千葉県南総文化ホール(大ホール)	[参加者数]		対象者 421人 出席者 324人 出席率 77.0%	① 社会教育指導員	4,010千円/年	3名(中央公民館1名、菜の花ホール2名)	② 家庭教育指導員	1,358千円/年	1名(中央公民館1名)
① 成人対象事業	2講座	5回	延べ参加者	110人																																																																																													
② 家庭教育事業	2講座	10回	延べ参加者	431人																																																																																													
③ 家庭教育学級	7学級	12回	延べ参加者	185人																																																																																													
④ 青少年対象事業	2講座	13回	延べ参加者	90人																																																																																													
① 館山地区公民館	8講座	26回	延べ参加者	290人																																																																																													
② 北条地区公民館	3講座	15回	延べ参加者	149人																																																																																													
③ 那古地区公民館	9講座	19回	延べ参加者	229人																																																																																													
④ 船形地区公民館	4講座	5回	延べ参加者	63人																																																																																													
⑤ 西岬地区公民館	6講座	12回	延べ参加者	68人																																																																																													
⑥ 神戸地区公民館	1講座	4回	延べ参加者	25人																																																																																													
⑦ 富崎地区公民館	4講座	8回	延べ参加者	69人																																																																																													
⑧ 豊房地区公民館	6講座	7回	延べ参加者	81人																																																																																													
⑨ 館野地区公民館	12講座	17回	延べ参加者	183人																																																																																													
⑩ 九重地区公民館	14講座	29回	延べ参加者	218人																																																																																													
① サークルフェスティバルの開催	委託料(ふれあい誌、ポスター等印刷)	100千円																																																																																															
② 成人式の開催	事業費(講師謝礼、印刷製本費、会場借上料外)	449千円																																																																																															
[開催日]		令和4年1月9日(日)																																																																																															
[会場]		千葉県南総文化ホール(大ホール)																																																																																															
[参加者数]		対象者 421人 出席者 324人 出席率 77.0%																																																																																															
① 社会教育指導員	4,010千円/年	3名(中央公民館1名、菜の花ホール2名)																																																																																															
② 家庭教育指導員	1,358千円/年	1名(中央公民館1名)																																																																																															

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
10 教育費	新型コロナウイルス感染症対策事業 【 P223 新型コロナウイルス 対策費 】 【 中央公民館 】	1,953	1,953	0	皆増	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染対策に配慮した公民館事業を行った。</p> <p>1 成人式代替事業 946千円 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった令和3年成人式の代替事業として、ふるさと納税返礼品を活用した『ふるさと産品贈呈事業』を実施し、二十歳の門出を祝うとともに、地域産業の振興を図った。 [事業概要] ふるさと納税返礼品（1万円コース）24品目から1品目を贈呈</p> <p>2 備品購入（密集対策） 1,007千円 [購入品目] 65型ディスプレイ2台、ノートパソコン2台、Webカメラ1台 外</p> <p>◆ 新規事業による皆増</p>
	図書館運営事業 【 P223 図書館運営事業 】 【 図書館 】	14,914	13,903	12,030	+15.6%	<p>市民の多様な読書要求や学習要求に幅広く応えられるような資料の整備、また生涯学習への支援を行うことで、利用しやすい図書館を目指し、図書館サービスの向上に努めた。</p> <p>[利用実績] 貸出者数：延べ24,283件 貸出冊数：95,409点 登録者数：5,843件 [主催事業] おはなし会等の実施 児童向け 実施回数：9回 参加者：延べ116人 幼児向け 実施回数：1回 参加者：延べ15人 乳児・幼児・児童を対象に豊かな創造力と言語力を育てるため、おはなし会やわらべうたの会を開催し、読書普及及び子育て支援に努めた。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども向け講座は中止</p> <p>◆ 図書館システム用PCの更新等を実施したことによる増</p>
	図書館書庫修繕事業 【 P225 図書館施設管理事業 】 【 図書館 】	1,403	1,353	0	皆増	<p>図書館書庫の雨漏りを解消するため、改修工事を行った。</p> <p>[建物概要] 図書館書庫 昭和61年築 鉄骨造 延床面積147㎡ [工事内容] 改修工事（縦樋、換気口、外壁、天井及び内壁張替等）</p> <p>・ 図書館書庫雨漏り修理等工事請負費 1,353千円</p> <p>◆ 新規事業による増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
10 教育費	図書館資料整備事業 【 P225 図書館資料整備事業 】 【 図書館 】	7,276	7,026	6,611	+6.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市民の学習や課題解決に 대응するため、新刊図書・郷土資料及び視聴覚資料等を購入し、図書館資料の整備充実に努めた。</p> <p>[購入図書] 2,562冊(一般書:1,500冊 児童書:829冊 電子図書:233冊) [購入視聴覚資料] 18点(紙芝居:18点) [購入逐次刊行物] 41タイトル(新聞:8紙 雑誌:33誌)</p>
	博物館指定管理委託事業 【 P227 博物館運営事業 】 【 博物館 】	4,788	4,788	4,656	+2.8%	<p>館山城・城山公園を併せた管理・運営業務を指定管理者により実施し、更に魅力的な城山エリアの創出を図った。</p> <p>[指定管理者] 株式会社塚原緑地研究所 [指定期間] 令和元年12月1日～令和6年11月30日(5カ年) [業務] ① 館山城(八大伝博物館)運営業務(学芸員業務を除く) ② 本館受付業務 [自主事業] 館山城での展示、イベント開催 外 ① 展示 井上文太展:令和3年3月31日～令和4年3月31日 ② イベント 謎解きゲーム 外</p>
	博物館展示・学習支援事業 【 P227 博物館展示・ 学習支援事業 】 【 博物館 】	1,257	1,034	879	+17.6%	<p>博物館の豊富な知識や資料の有効活用を努めることで、郷土を知る手掛かりを提供し、市民の歴史に対する興味関心に対応するとともに、内外に向けた情報発信を行った。</p> <p>[総入館者数] 本館・館山城 61,606人 渚の博物館 189,844人 [事業概要] 1 企画展示事業 4回(1回あたりの期間:約2カ月間) ・開催期間中の入館者数 延べ41,365人 2 教育普及事業 全41回 参加者数 延べ1,140人 古文書を読んでみよう、展示解説会、なつやすみ宿題大作戦(図書館合同企画)等の実施 3 印刷物の発行 年報(令和2年度版)、館報(第96号)、図録 外 ・印刷製本費 555千円 外 4 たてやまフィールドミュージアムの公開 ・閲覧者数26,294人 ページビュー数86,678回 5 展示解説動画の制作・公開 ・制作本数 5本</p>
	展示資料購入事業 【 P229 博物館資料収集 調査事業 】 【 博物館 】	600	378	390	△3.1%	<p>館山市をはじめとする安房地域の歴史・民俗、南総里見八大伝に関する資料を購入し保存した。また、それらの資料を公開・調査研究することにより、展示・教育普及事業の充実に努めた。</p> <p>展示資料購入費 378千円(万里小路通房書簡 外 全65点)</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
						◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)
10 教育費	新型コロナウイルス感染症対策費 【 P229 新型コロナウイルス 対策費 】 【 博物館 】	3,454	3,410	389	+776.6%	新型コロナウイルスの感染防止対策として、博物館設備の改修を行った。  館山市立博物館本館トイレ洋式改修等工事 3,410千円 〔事業概要〕 本館来館者用、職員用トイレ洋式化改修 5カ所 自動洗浄器設置 7カ所  ◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増
	東京オリンピック・パラリンピック等スポーツ観光推進事業 【 P231 東京オリンピック・ パラリンピック等 スポーツ観光推進事業 】 【 スポーツ課 】	11,679	10,858	1,335	+713.3%	2020東京オリンピックに向けて、オランダトライアスロン及びOWSの事前キャンプを受け入れ、スポーツ観光の推進を図った。  1 会計年度任用職員報酬等(1人) 1,143千円 2 事前キャンプ等受入業務委託料 5,620千円 3 会場借上料 3,726千円 4 水質検査委託料 外 369千円  ◆ 東京オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期されたことにより、事前キャンプ受入事業が令和3年度に実施となったことによる増
	社会体育団体育成事業 【 P233 社会体育団体育成事業 】 【 スポーツ課 】	6,872	3,743	3,702	+1.1%	社会体育団体に対し、補助金を交付し、市民の健康増進・体力向上、青少年の健全育成及び生涯スポーツ・競技スポーツの振興を図った。  1 館山市スポーツ協会補助金 3,127千円 競技スポーツ及び生涯スポーツの推進 2 館山市スポーツ少年団育成助成金 616千円 スポーツによる青少年の健全育成
	若潮マラソン大会事業 【 P233 新型コロナウイルス 対策費 】 【 スポーツ課 】	6,000	4,846	0	皆増	コロナ禍において、スマートフォンのランニングアプリを利用した分散型イベントとして、第42回館山若潮マラソンリアルオンラインを開催し、市民の運動習慣の機運醸成及びスポーツ観光による地域経済の活性化を図った。  〔エントリー者数〕 901人 〔開催期間〕 令和4年1月17日～2月13日 〔種 目〕 フルマラソンの部、10kmの部  ・館山若潮マラソン大会委託料 4,846千円  ◆ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことによる

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	社会体育施設整備事業 【 P233 社会体育施設運営事業 】 【 スポーツ課 】	41,662	41,108	8,668	+374.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>市民の生涯スポーツ・競技スポーツの活動の場として、また、スポーツ合宿等での利用促進のため、社会体育施設等について、適切な維持管理と整備・改修を行った。</p> <p>[利用状況] (延べ人数) ・市民運動場 19,308人 ・出野尾多目的広場 6,881人 ・市民体育館 3,229人 ・第一柔剣道場 2,486人 ・弓道場・遠的射場 4,526人(指定管理)</p> <p>[整備・改修工事概要] ① 市民体育館天井撤去、ブレース補強工事等 28,315千円 ② 西岬市民体育館1階屋根防水改修工事 1,760千円 ③ 温水プール柱補強、ボイラー補水タンク交換工事 9,317千円 ④ 市民運動場旧トイレ棟解体、電気設備移設工事 1,716千円</p> <p>◆ 令和2年度とは実施箇所、内容が異なることによる増</p>
	市営プール指定管理事業 【 P233 社会体育施設運営事業 】 【 スポーツ課 】	17,400	17,400	17,400	0.0%	<p>市営プール施設(25m室内・50m屋外)について、老人福祉センター(湊・出野尾)と併せて一体的かつ、効率的な管理運営を行い、市民サービスの向上に努めた。</p> <p>[指定管理者] 特定非営利活動法人つくばアクアライフ研究所 [指定期間] 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5カ年) [利用状況] 25m室内温水プール 延べ22,687人 50mプール 延べ3,648人</p>
	学校給食センター維持管理運営事業 【 P235 学校給食事業 】 【 学校給食センター 】	167,985	167,287	59,027	+183.4%	<p>P F I 事業者による学校給食センターの施設管理運営を行い、安全かつ安定した事業運営を図った。</p> <p>[委託期間] 令和2年度～令和22年度 [業務内容] 施設管理業務(施設・設備・厨房機器等)、運営業務(調理・搬送)</p> <p>・維持管理運営業務委託 167,287千円</p> <p>◆ 令和2年度途中から実施した事業を通年実施したことによる増</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
10 教育費	学校給食センター整備事業 【 P237 給食センター 施設整備事業 】 【 学校給食センター 】	93,030	91,095	1,181,927	△92.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>PFI方式による学校給食センターの整備運営を行ったほか、旧学校給食センターの施設設備等の解体を行った。</p> <p>1 学校給食センター整備運営事業 25,397千円            ① 給食センター施設整備費負担金 20,337千円            [支払期間] 令和2年度～令和22年度            [事業内容] 令和2年に完成した学校給食センター整備費の割賦払い            ② PFIモニタリング支援業務委託 5,060千円            [委託期間] 令和元年度～令和3年度            [業務内容] 維持管理業務モニタリング（検証及びその他事業支援）            運営事業モニタリング（検証及びその他事業支援）</p> <p>2 旧学校給食センター施設解体事業 65,698千円            ・ 解体工事，工事監理費 外            [工事期間] 令和3年5月31日～令和3年11月30日</p> <p>◆ 令和2年度とは事業内容が異なることによる減</p>
11 災害復 旧費	農業施設災害復旧事業 【 P237 災害復旧事業 】 【 農水産課 】	19,200	11,432	49,378	△76.8%	<p>令和3年7月豪雨による災害に伴い被災した農道及び水路について、災害復旧工事を実施した。</p> <p>1 災害復旧工事請負費 11,113千円            ・ 農道補修 6,223千円（9件）            ・ 水路補修 4,890千円（5件）            2 原材料費 319千円</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分7,387千円を含む</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
11 災害復 旧費	土木施設災害復旧事業 【 P237 災害復旧事業 】 【 P237 災害復旧事業 (繰越明許費) 】  【 建設課 】	415,080	279,793	273,729	+2.2%	<p>◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)</p> <p>令和元年房総半島台風及び令和3年7月豪雨による災害に伴い被災した道路及び河川について、災害復旧工事を実施した。 ※一部(国)公共土木施設災害復旧事業</p> <p>1 災害復旧測量設計業務委託料 7,497千円 ・普通河川茂名川 河川災害測量業務委託(その2) 外11件</p> <p>2 家屋調査業務委託料 814千円 ・普通河川長田川護岸復旧工事に伴う家屋(事前・事後)調査業務委託</p> <p>3 災害復旧工事請負費 73,222千円 ① 普通河川茂名川河川護岸復旧工事(茂名地内) 外5件 49,136千円 ② 応急復旧工事等 24,086千円 ・倒木等撤去 10,201千円(19件) ・土砂撤去等 5,467千円(14件) ・市道等復旧 1,978千円(3件) ・河川等復旧 4,279千円(4件) ・その他 2,161千円(3件)</p> <p>(以下、繰越明許費) 1 災害廃棄物処理業務委託料 3,468千円 2 災害復旧工事請負費 194,792千円 ・普通河川巴川河川護岸復旧工事(神余・竜岡地内) 外19件</p> <p>※ 予算現額には、令和4年度への繰越分 92,000千円を含む</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増</p>
	社会体育施設災害復旧事業 【 P237 災害復旧事業 】 【 スポーツ課 】	7,092	6,688	12,841	△47.9%	<p>令和元年房総半島台風等による災害に伴い被災した社会体育施設について、災害復旧工事を実施した。</p> <p>1 市民運動場公衆トイレ屋根復旧工事(隅棟取り直し工事) 803千円 2 温水プール2階内装復旧工事(天井、壁紙、ふすま等改修) 5,885千円</p> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

款	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
11 災害復 旧費	観光施設災害復旧事業 【 P237 災害復旧事業 】 【 観光みなと課 】	10,461	10,384	1,634	+535.5%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>令和元年房総半島台風により被災した観光施設の復旧工事等を行った。</p> <p>1 倒木等撤去業務委託料 1,265千円 [事業内容] 那古山遊歩道の倒木撤去及び危険木等の剪定業務委託</p> <p>2 災害復旧工事請負費 9,119千円 [事業内容] 市内公衆トイレの屋根の修繕工事 (那古海岸, 八幡海岸, 坂田海岸, 旧南館山花摘みセンター)</p> <p>◆ 災害復旧箇所増加による増</p>

II 特別会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
国民健康 保険特別 会計	徴収対策事務 【 P265 徴収事務 】 【 税務課 】	1,270	1,200	1,174	+2.2%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>徴収率の向上と納税者の利便性の向上を図るため、納付環境の整備等を実施し、税収の確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国保税徴収率 77.96%（令和2年度 77.52%） 現年度 93.16%（令和2年度 92.40%） 滞納繰越 16.97%（令和2年度 20.54%）</li> </ul> <p>[収納方法別収納額（件数）]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 口座振替 320,842千円（16,226件）</li> <li>② コンビニエンスストア収納 228,155千円（14,573件）</li> <li>③ スマホアプリ収納 18,105千円（740件）</li> <li>④ クレジット収納 6,940千円（249件）</li> </ul>
	療養給付費支給事務 【 P265 一般被保険者 療養給付費支給事務 】 【 P265 退職被保険者等 療養給付費支給事務 】 【 市民課 】	3,806,171	3,647,260	3,545,861	+2.9%	<p>1 被保険者の疾病、負傷に対して保険給付を行った。</p> <p>① 療養給付費の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総件数 208,503件</li> <li>・ 費用額 4,936,883千円</li> <li>・ 給付額 3,647,260千円</li> </ul> <p>② 療養給付費（費用額）の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院（食事を含む） 3,140件 1,982,029千円</li> <li>・ 入院外 109,821件 1,926,148千円</li> <li>・ 歯科 23,003件 286,137千円</li> <li>・ 調剤 72,539件 742,569千円</li> <li>・ 一人当たり費用額 397,815円</li> </ul> <p>2 診療報酬明細書を点検し、給付の適正化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第三者行為による請求に基づくもの 3,127千円</li> <li>② 被保険者から給付費の返還を求めたもの 323千円</li> </ul> <p>◆ 支給件数の増加に伴う療養給付費支給額の増</p>
	療養費支給事務 【 P267 一般被保険者 療養費支給事務 】 【 P267 退職被保険者等 療養費支給事務 】 【 市民課 】	27,731	21,668	39,979	△45.8%	<p>療養費の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総件数 2,873件 ・ 支給額 21,668千円</li> </ul> <p>◆ 台風被災者に対する一部負担金還付額の減</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
国民健康 保険特別 会計	高額療養費支給事務 【 P267 一般被保険者 高額療養費支給事務 】 【 P267 退職被保険者等 高額療養費支給事務 】 【 市民課 】	583,494	536,877	485,664	+10.5%	◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象) 高額療養費の状況 ・ 総件数 10,252件 ・ 支給額 536,877千円 ◆ 支給件数の増加に伴う高額療養費支給額の増
	葬祭費支給事務 【 P267 葬祭費支給事務 】 【 市民課 】	4,500	3,600	3,450	+4.3%	一件当たり支給額 50千円：72件
	出産育児一時金支給事務 【 P269 出産育児一時金 支給事務 】 【 市民課 】	13,440	10,920	7,643	+42.9%	一件当たり支給額 420千円：26件 ◆ 支給件数の増加に伴う出産育児一時金の増
	生活習慣病等予防対策事業 【 P271 生活習慣病予防事業 】 【 健康課 】 【 市民課 】	46,101	21,932	17,127	+28.1%	糖尿病等の生活習慣病の発症・重症化を予防するため、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・若年健康診査や生活習慣改善のための保健指導を行った。感染対策や予約制などの通常と違う環境での実施となり、受診率を維持するため、利用者負担額の軽減を行った。  [主な内容] ① 特定健康診査(40歳以上) 16,698千円 2,187人 ② 若年健康診査(35～39歳) 448千円 53人 ③ 特定保健指導 1,902千円(動機づけ支援 103人 積極的支援 18人)  ◆ 新型コロナウイルス感染症による事業中止から再開による増
	短期人間ドック補助事業 【 P271 疾病予防事業 】 【 市民課 】	5,600	4,000	3,684	+8.6%	疾病の早期発見、早期治療のため40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、人間ドック及び脳ドックの検査費用の7割(限度額20千円)を補助し、被保険者の健康保持増進を図った。  ・ 人間ドック補助：200件 4,000千円
後期高齢 者医療特 別会計	短期人間ドック補助事業 【 P287 後期高齢者医療事務費 】 【 市民課 】	1,400	1,040	1,140	△8.8%	疾病の早期発見、早期治療のため後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック及び脳ドックの検査費用の7割(限度額20千円)を補助し、被保険者の健康増進を図った。  ・ 人間ドック補助：52件 1,040千円

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説明
						◆印は、金額の主な増減理由(対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象)
後期高齢者医療特別会計	保健事業・介護予防一体的実施推進事業 【 P289 保健事業・介護予防一体的実施推進事業 】 【 健康課 】	160	72	3	+2300.0%	高齢者の健康保持増進のため、地域の健康課題を把握し、その解消に向けて保健事業と介護予防を一体的に実施した。 [主な内容] 通いの場等での健康教育・健康相談 健康不明確者の家庭訪問 需用費 72千円 ◆ 新型コロナウイルス感染症による事業中止から再開による増
	後期高齢者医療広域連合納付金支払事務 【 P289 後期高齢者医療広域連合納付金支払事務 】 【 市民課 】	765,424	757,298	726,949	+4.2%	千葉県後期高齢者医療広域連合に対し、後期高齢者保険料及び保険基盤安定繰入金を納付した。 ・ 後期高齢者医療保険料 590,685千円 ・ 保険基盤安定繰入金 166,613千円 ◆ 被保険者数の増に伴う保険料納付金の増
介護保険特別会計	介護認定事業 【 P313 介護認定審査会運営事業 】 【 P313 介護認定調査事務 】 【 高齢者福祉課 】	62,691	47,694	39,762	+19.9%	介護認定審査会の運営及び介護認定調査に係る事務経費 1 介護認定審査会委員報酬 8,175千円 2 会計年度任用職員報酬等(介護認定調査員) 28,249千円 3 医師意見書作成料・介護認定用健康診断手数料 10,174千円 4 要介護認定調査委託料 168千円 5 その他(介護認定用車両購入 外) 928千円 ◆ 介護認定申請件数の増加及び調査員1名増による
	居宅介護サービス等給付 【 P313 介護サービス支給事務 】 【 高齢者福祉課 】	5,062,000	4,912,806	4,874,344	+0.8%	要介護1～5と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 [給付額(総件数)] ① 居宅介護サービス給付費 1,750,291千円(38,741件) ② 地域密着型介護サービス給付費 927,759千円(7,074件) ③ 施設介護サービス給付費 1,974,261千円(7,489件) ④ 居宅介護福祉用具購入費 5,219千円(206件) ⑤ 居宅介護住宅改修費 9,983千円(124件) ⑥ 居宅介護サービス計画給付費 245,293千円(17,885件) ◆ 居宅介護サービス費・居宅介護サービス計画給付費の増による

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	介護予防サービス等給付 【 P315 介護予防 サービス支給事務 】 【 高齢者福祉課 】	136,500	125,177	126,118	△0.7%	◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象） 要支援と認定された被保険者に対して適正な保険給付を行った。 [給付額（総件数）] ① 介護予防サービス給付費 95,795千円（6,019件） ② 地域密着型介護予防サービス給付費 770千円（ 11件） ③ 介護予防福祉用具購入費 1,735千円（ 79件） ④ 介護予防住宅改修費 5,533千円（ 76件） ⑤ 介護予防サービス計画給付費 21,344千円（4,731件）
	高額介護(予防)サービス費 【 P315 高額介護サービス費 支給事務 】 【 P315 高額介護予防 サービス費支給事務 】 【 高齢者福祉課 】	130,050	122,382	117,004	+4.6%	介護(予防)サービスの利用に係る自己負担額（1割、2割又は3割）が上限を超える場合にその超過分を支給した。 [給付額（総件数）] ① 高額介護サービス費 122,360千円（11,161件） ② 高額介護予防サービス費 22千円（ 32件） ◆ 高額介護サービス費の増
	高額医療合算介護(予防)サービス費 【 P315 高額医療合算介護 サービス費支給事務 】 【 P315 高額医療合算介護予防 サービス費支給事務 】 【 高齢者福祉課 】	20,100	13,089	13,720	△4.6%	医療費と介護サービス費の自己負担額が一定の額を超える場合にその超過分を支給した。 [給付額（総件数）] ① 高額医療合算介護サービス費 13,088千円（491件） ② 高額医療合算介護予防サービス費 1千円（ 1件）
	特定入所者介護(予防)サービス費 【 P317 特定入所者介護 サービス費支給事務 】 【 P317 特定入所者介護予防 サービス費支給事務 】 【 高齢者福祉課 】	200,050	138,820	168,013	△17.4%	特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設の入所者及びショートステイ利用者の食費・居住費について、所得の少ない要介護者への補足給付を行った。 [給付額（総件数）] ① 特定入所者介護サービス費 138,818千円（4,398件） ② 特定入所者介護予防サービス費 2千円（ 1件） ◆ 制度変更に伴う給付対象者数の減

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	介護予防・日常生活支援総合事業 【 P317 介護予防・生活支援 サービス事業 】 【 P317 介護予防 ケアマネジメント事業 】 【 P317 介護予防普及啓発事業 】 【 P317 地域介護予防活動 支援事業 】 【 P319 地域リハビリテーション 活動支援事業 】 【 高齢者福祉課 】	157,705	137,050	141,696	△3.3%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>地域の实情に応じて、住民等の多様な主体が参加し、多様なサービスを充実することにより、地域の支えあいの体制づくりを推進し、介護保険の要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指し取り組んだ。</p> <p>1 介護予防・生活支援サービス事業 118,310千円 2 介護予防ケアマネジメント事業 13,545千円 3 介護予防普及啓発事業 237千円 4 地域介護予防活動支援事業 4,850千円 5 地域リハビリテーション活動支援事業 108千円</p> <p>◆ 要支援者に対する給付費の減</p>
	地域包括支援事業 【 P319 地域包括支援事業 】 【 高齢者福祉課 】	79,065	78,558	78,482	+0.1%	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう、介護、福祉、健康、医療等の面から総合的に支援していく拠点として、市内3箇所「地域包括支援センター」を設置・運営委託し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門的なスタッフを配置し、互いに連携をとり、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務などを行った。</p> <p>1 総合相談事業委託料 23,803千円 2 権利擁護事業委託料 6,907千円 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業委託料 47,706千円 4 地域包括支援センター運営協議会 142千円</p>
	地域包括ケアシステム構築事業 【 P319 在宅医療・介護連携 推進事業 】 【 P319 生活支援体制整備事業 】 【 P319 認知症総合支援事業 】 【 高齢者福祉課 】	9,965	8,857	8,595	+3.0%	<p>団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが、一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を目指し取り組んだ。</p> <p>1 在宅医療・介護連携の推進 40千円 2 生活支援サービスの体制整備 4,962千円 3 認知症施策の推進 3,855千円</p>

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び事業名

(単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
介護保険 特別会計	地域支援事業（任意事業分） 【 P319 介護給付費等 費用適正化事業 】 【 P321 家族介護支援事業 】 【 P321 地域支援事業 】  【 高齢者福祉課 】	29,114	22,038	24,111	△8.6%	<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p> <p>1 介護保険サービスを利用した者に対し、介護給付費の額等の実績を通知するとともに、介護給付適正化総合支援パッケージシステムにより、給付実績と認定調査状況から点検を行い、介護保険事業の適正な運営に努めた。            ① 介護給付適正化総合支援システム保守 1,320千円            ② 介護給付費等費用適正化事業 103千円</p> <p>2 低所得者の高齢者に対し家族介護用品を支給することにより、家族介護負担の軽減を図った。            ① 家族介護用品配送委託料 452千円            ② 家族介護支援事業委託料 25千円            ③ 家族介護用品支給扶助費 1,616千円</p> <p>3 高齢者に対し配食サービスを行うことにより、食生活の改善及び健康の増進を図るとともに安否の確認を行い、高齢者の福祉の増進を図った。            ① 口座振替委託料 8千円            ② 配食サービス事業委託料 16,927千円</p> <p>4 成年後見人等への報酬を扶助することにより、高齢者福祉の増進を図った。            ① 成年後見制度利用助成費 1,418千円 外</p> <p>◆ 配食サービス件数及び成年後見制度利用助成件数の減による</p>

地方自治法第241条第5項の規定による定額運用基金の運用状況調書

基金名	主要な施策の成果			
土地開発基金	<p>令和3年度において、本基金によって先行取得した土地はなかった。また、基金の運用利子相当額を積み立てた。</p> <p>土地購入 該当なし</p> <p>土地売却 (一般会計へ) 該当なし [参考]</p> <p>一般会計からの繰入金 (利子相当額) 2千円</p> <p>令和2年度末基金残高 100,752千円</p> <p>令和3年度末基金残高 100,754千円</p>			
ふるさと創生奨学基金	<p>向学心を持ちながら、経済的理由によって修学が困難な者に対し、奨学資金の貸し付けを行い、有用な人材の育成を図った。</p> <p>貸付金 (12人) 3,360千円</p> <p>返還金 (45人) 7,036千円 [参考]</p> <p>減免措置額 (11人) 584千円</p> <p>一般会計からの繰入金 (利子相当額及び寄附金) 3,072千円</p> <p>令和2年度末基金残高 83,741千円</p> <p>令和3年度末基金残高 86,229千円</p> <p>(うち 現金51,904千円 貸付金34,325千円)</p>			
文化振興基金	<p>令和3年度において、本基金によって展示資料の購入・売却はなかった。</p> <p>博物館展示資料購入 該当なし [参考]</p> <p>博物館展示資料売却 該当なし</p> <p>令和2年度末基金残高 30,000千円</p> <p>令和3年度末基金残高 30,000千円</p>			
看護師等修学資金貸付基金	<p>将来安房郡市内において看護師等の業務に従事しようとする修学者に対し、修学資金の貸し付けを行い、看護師等の人材の育成を図った。</p> <p>貸付金 (25人) 9,000千円</p> <p>返還金 (7人) 2,430千円 [参考]</p> <p>減免措置額 (12人) 12,540千円</p> <p>一般会計からの繰入金 (利子相当額及び寄附金) 10,568千円</p> <p>令和2年度末基金残高 108,746千円</p> <p>令和3年度末基金残高 106,773千円</p> <p>(うち 現金39,273千円 貸付金67,500千円)</p>			

## 目的税（入湯税・都市計画税）の使途に関する説明書

### 1 入湯税

入湯税は、地方税法第701条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるため、課税するものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、鉱泉浴場における入湯に対し一人一日150円（宿泊を伴わない場合は50円）を課税しており、令和3年度決算における収入済額は、2,395万4千円となっている。

一方、入湯税を充当すべき事業については、環境衛生施設整備事業、消防用建物整備事業や消防自動車整備事業などの消防施設整備事業、観光地整備事業や観光イベントの開催などの観光振興事業があり、令和3年度決算における事業費総額は、2億5,507万円となっている。これらの事業に対し、入湯税として収入した2,395万4千円のうち2,184万5千円を充当し、環境衛生施設及び消防施設整備の充実と観光振興を図った。

なお、入湯税収入済額と事業費への充当額の差額210万9千円については、観光振興基金に積立て、当該事業の財源として活用する。

#### (1) 令和3年度入湯税について

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	9 入湯税	21,845	23,954

#### (2) 令和3年度入湯税充当事業について

(単位：千円)

事 業 区 分	事 業 内 容 等	事業費総額	財 源 内 訳				
			国 県 支出金	地方債	その他	一般財源	うち入湯税
環境衛生施設整備事業	一般廃棄物処理施設の整備を行い、廃棄物処理に努めた。	179,844		21,100	77,918	80,826	3,818
消防施設整備事業	消防車両、消火栓及び消防団詰所等の整備を行い、消防力の充実を図った。	40,021	703	14,300		25,018	1,182
観光振興基金へ積立	観光振興に資する事業の財源とするため、館山市観光振興基金へ積立を行った。	35,205			17,107	18,098	16,845
合 計		255,070	703	35,400	95,025	123,942	21,845

差額（税収入済額 － 事業充当額）：翌年度繰越額	2,109
--------------------------	-------

2 都市計画税

都市計画税は、地方税法第702条第1項の規定により、都市計画法に基づいて行う都市計画事業に要する費用に充てるため、課税することができるものとされている。館山市においては、地方税法に基づく館山市市税条例の規定により、都市計画区域として設定された市域全域のうち、農業振興地域の整備に関する法律第8条の規定により定められた農用地区域以外の区域に所在する土地及び家屋に対して、税率0.3%で課税しており、令和3年度決算における収入済額は、4億8,481万4千円となっている。

一方、都市計画税を充当すべき都市計画事業については、館山市都市計画ごみ焼却場事業館山市清掃センター、館山都市計画道路事業船形館山線、館山都市計画下水道事業館山市第1号公共下水道及び過去に実施した都市計画道路事業に係る地方債償還があり、令和3年度決算における事業費総額は、6億2,857万1千円となっている。これらの事業の一般財源に対し、都市計画税として収入した4億8,481万4千円を充当し、都市基盤の充実と高質な生活環境の創出を図った。

(1) 令和3年度都市計画税について

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
1 市税	10 都市計画税	473,722	484,814

(2) 令和3年度都市計画事業について

(単位：千円)

都市計画事業の種類 及び名称等	事業内容等	都市計画事業に要した経費					
		事業費総額	財 源 内 訳				
			国 県 支出金	地方債	その他	一般財源	うち都市計画税
館山市都市計画ごみ焼却場事業 館山市清掃センター	館山市清掃センターの基幹的設備改良事業を行い、 施設の延命化を推進した。	165,765	41,000	91,600		33,165	32,844
館山都市計画道路事業 船形館山線道路整備事業	船形館山線の整備を推進した。	61,055	611	5,800		54,644	54,114
館山都市計画下水道事業 館山市第1号公共下水道	公共下水道事業に対し充当した。	358,680				358,680	355,203
地方債償還（一般会計分）	過去に実施した都市計画道路事業に係る地方債償還 を行った。	43,071				43,071	42,653
合 計		628,571	41,611	97,400		489,560	484,814

(参考) 都市計画税収入済額と事業費への充当額の差額を積み立てている都市計画事業基金の令和3年度取り崩し額は5,068万2千円で、下水道事業会計における企業債償還金へ充当した。

## 森林環境譲与税の使途に関する説明書

森林環境譲与税（平成31年4月1日施行）は、その使途について森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第1項の規定により、「森林の整備に関する施策」及び「森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策」に要する費用に充てるものとされている。館山市における森林環境譲与税の令和3年度決算額は610万9千円となっている。

一方、森林環境譲与税を充当すべき事業については、森林管理事業や災害復旧事業などがあり、令和3年度決算における事業費総額は、610万9千円となっている。これらの事業に対し、森林環境譲与税として収入した610万9千円を充当し、財源確保を図った。

### (1) 令和3年度 森林観光譲与税について

(単位：千円)

款	項	予 算 現 額	収 入 済 額
2 地方譲与税	3 森林環境譲与税	6,109	6,109

### (2) 令和3年度 森林環境譲与税充当事業について

(単位：千円)

事 業 区 分	事 業 内 容 等	事業費総額	財 源 内 訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 うち森林環境譲与税
森林管理事業	自然災害や病害虫による被害から森林機能の保全を図るための補助事業を実施するとともに、森林クラウドの活用や千葉県森林経営管理協議会への参加により、効率的な事業の推進を図った。	500				500 500
災害復旧事業	令和元年房総半島台風により被災した那古山遊歩道の、危険木等の伐採及び剪定を行った。	1,265				1,265 1,265
森林環境譲与税基金へ積立	森林整備及びその促進に資する事業の財源とするため、館山市森林環境譲与税基金へ積立を行った。	4,344				4,344 4,344
合 計		6,109				6,109 6,109

## 消費税率引上げ分に係る地方消費税交付金の使途に関する説明書

平成26年4月1日から消費税率（国・地方）は、段階的に引き上げられたが、その趣旨は、今後も増加が見込まれる「社会保障4経費」（年金、医療及び介護の社会保障給付費並びに少子化に対処する施策に要する経費）の財源確保にあることから、その使途について地方税法により「社会保障施策に要する経費」に充てるものとされている。

館山市における地方消費税交付金の令和3年度決算額は11億6,551万5千円であり、そのうち「社会保障施策に要する経費」に充てるものとされている額は、5億9,323万9千円となり、その使途については下記のとおりである。

### (1) 令和3年度 地方消費税交付金について

(単位：千円)

款	項	予算現額	収入済額
6 地方消費税交付金	1 地方消費税交付金	1,103,000（うち社会保障財源化分563,000）	1,165,515（うち社会保障財源化分593,239）

### (2) 令和3年度 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費について

(単位：千円)

事業区分	事業概要	事業費総額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源 うち地方消費税交付金	
障害者福祉	障害福祉給付事業、地域生活支援事業、自立支援関連事業 など	1,572,081	1,105,428	0	57,815	408,838	80,316
高齢者福祉	高齢者生活支援事業、老人措置事業、老人福祉センター運営事業 など	155,773	1,741	0	70,711	83,321	16,368
児童福祉	子育て支援対策事業、子ども医療費支給事業、保育所・こども園関連事業 など	1,464,322	750,989	0	245,508	467,825	91,904
生活保護	自立支援事業、生活保護事業	1,041,240	784,280	0	32,763	224,197	44,044
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金	2,021,808	402,303	0	0	1,619,505	318,153
保健衛生	母子健康診査事業、地域医療推進体制推進事業、各種健診事業、予防接種事業 など	722,736	404,600	0	102,033	216,103	42,454
合 計		6,977,960	3,449,341	0	508,830	3,019,789	593,239

令和 3 年 度

館山市下水道事業会計

決算参考資料

下水道事業会計

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び目・節

(税込み 単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p>						
<p>収益的収入及び支出</p>						
<p>1 款：下水道事業費用</p>						
<p>1 項：営業費用</p>						
	鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理 業務包括的民間委託事業  【 P364・365 】 【 2目：処理場・ポンプ施設費 】	77,880	77,880	77,880	0.0%	鏡ヶ浦クリーンセンターの施設管理、設備の保守点検、各種消耗品や資材等の調達に加え、施設の簡易修繕の実施までを業務委託内容に含むことにより、受託者の持つ技術を最大限に活用し、業務の効率化及び維持管理に係る費用の削減を図った。  ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター維持管理業務包括的民間委託料 77,880千円 [委託業者] ミザック株式会社千葉支店 [委託期間] 平成30年4月～令和5年3月
	機械等修繕料  【 P364・365 】 【 2目：処理場・ポンプ施設費 】	22,918	21,773	7,157	+204.2%	鏡ヶ浦クリーンセンター機械設備点検及び場外マンホールポンプ等の修繕を行った。  ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター機械設備定期点検 19,676千円 ・ 鏡ヶ浦クリーンセンター最終沈殿池スカムパイプ軸部修繕 1,613千円 ・ No.3 場外マンホールポンプ逆止弁交換修理 外 484千円  ◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増
	建物等修繕料  【 P364・365 】 【 2目：処理場・ポンプ施設費 】	9,570	9,570	3,234	+195.9%	令和元年房総半島台風等で破損した鏡ヶ浦クリーンセンター管理棟・水処理棟・汚泥棟の屋根瓦補修及び電灯分電盤、自動火災報知器等の修繕を行った。  ・ 屋根瓦補修工事 9,015千円、補修面積 60㎡ ・ 電灯分電盤及び自動火災報知設備修繕 外 555千円  ◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる増
	水洗化普及促進事業  【 P364・365 】 【 3目：普及促進費】	600	275	340	△19.1%	公共下水道の普及促進を図るため、くみ取り便所の水洗化及び浄化槽廃止による下水道接続工事を行う者に対し補助金を交付した。  ・ 水洗便所改造資金補助金 275千円 [補助対象] 建築物の所有者又は所有者の同意を得た使用者 [補助額] くみ取り便所水洗化（大便器1個30千円、2個以降10千円を加算） 浄化槽廃止（大便器1個20千円、2個以降5千円を加算） [補助件数] 延べ8件（くみ取り便所1件、浄化槽7件）

※ 事業欄の下段【 】内は、決算書におけるページ番号及び目・節

(税込み 単位：千円)

会計	事業	令和3年度 予算現額	令和3年度 決算額	令和2年度 決算額	決算額 増減比	説 明
<p>◆印は、金額の主な増減理由（対前年度比30%以上又は100万円以上の増減が対象）</p>						
<p>収益的収入及び支出</p> <p>1 款：下水道事業費用</p> <p>1 項：営業費用</p>						
	<p>下水道使用料賦課徴収業務委託事業</p> <p>【 P364・365 】 【 4 目：業務費 】</p>	4,393	4,384	4,367	+0.4%	<p>下水道使用料の収納事務を民間に委託し、業務の効率化及び収納率の向上を図るとともに、多様化する生活様式に対応した納付環境を整備し、納付者の利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道使用料収納業務委託料 3,943千円</li> <li>コンビニエンスストア収納事務委託料 441千円 件数：4,347件/年（コンビニ納付分） 件数：331件/年（スマホアプリ納付分）</li> </ul>
<p>資本的収入及び支出</p> <p>1 款：資本的支出</p> <p>1 項：建設改良費</p>						
	<p>下水道計画策定事業</p> <p>【 P370・371 】 【 1 目：管渠費 】</p>	4,290	4,290	0	皆増	<p>下水道事業全体計画に係る汚水処理構想見直しの基礎検討業務を委託した。</p> <p>[委託業者] 日本水工設計（株）千葉事務所 [委託期間] 令和3年7月12日～令和4年3月25日</p> <p>◆ 新規事業による皆増</p>
	<p>公共下水道整備事業</p> <p>【 P370・371 】 【 1 目：管渠費 】 【 節：工事請負費～補償費 】</p>	35,929	32,199	16,367	+96.7%	<p>公共下水道による海や川の水質汚濁防止や衛生的で快適な住環境の確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道普及のための汚水管渠築造工事請負費 32,071千円、整備延長 303m</li> <li>その他（水質検査手数料 外） 128千円</li> </ul> <p>◆ 令和2年度とは実施個所、内容が異なることによる増</p>
	<p>固定資産購入費</p> <p>【 P370・371 】 【 3 目：固定資産購入費 】</p>	4,287	4,287	9,507	△54.9%	<p>鏡ヶ浦クリーンセンター及び場外マンホールポンプの計器類、備品を更新し、施設整備の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>No.1, No.3 場外マンホールポンプ投込圧力式水位計交換（2カ所） 1,980千円</li> <li>鏡ヶ浦クリーンセンター汚泥棟排気ファン更新（1台） 990千円</li> <li>鏡ヶ浦クリーンセンター汚泥貯水槽攪拌機更新（1台） 828千円</li> <li>水質試験機器（1台）購入 外 489千円</li> </ul> <p>◆ 令和2年度とは実施内容が異なることによる減</p>